

東京歯科大学研究ブランディング事業

顎骨疾患の集学的研究拠点形成：

包括的な顎口腔機能回復によるサステナブルな健康長寿社会の実現

（顎骨疾患プロジェクト）

Multidisciplinary Research Center for Jaw Disease (MRCJD):
Achieving Longevity and Sustainability by Comprehensive Reconstruction
of Oral and Maxillofacial Functions

(Jaw Bone Disease Project)

活動報告書（2022 年度）

2023 年 6 月

顎骨疾患プロジェクト推進委員会

目次

I. はじめに	1
II. 事業実施内容と成果	1
1. 事業目的	1
2. 実施体制	1
3. 本プロジェクトの活動と成果	2
1) 研究活動の活性化支援	2
2) プロジェクト全体の研究成果	3
3) 各研究ラボの研究成果	3
4) 若手・次世代研究者育成支援	5
5) 科学研究費獲得への貢献	7
6) 同窓会との連携構築	8
7) 各賞受賞者	9
8) 社会への情報発信	9
III. 事業収支決算	10
IV. おわりに	11

参考資料

1. 研究業績	13
a) 英文原著論文	13
b) 和文原著論文	18
c) 英文総説	18
d) 和文総説	19
e) 症例報告	20
f) 単行図書	22
g) 解説論文及び報告書等	23
h) 招待講演・シンポジウム	24
i) 学会発表	26
2. 顎骨疾患プロジェクト共催セミナー（実施内容）	42
3. 若手サイエンスアカデミー参加者リスト	43
4. TDC Journal Club（紹介論文リスト）	43

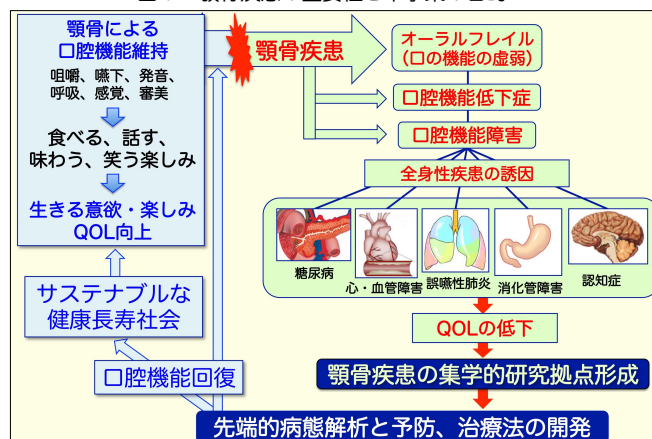
I. はじめに

顎骨は、食べる、話す、笑うなどの口腔機能を維持し、我々の基本的生活を支えるために必要な組織である。一方、顎骨に発症する疾患はオーラルフレイル、口腔機能低下症、口腔機能障害などを惹起することがあり、それらは全身疾患の発症にも関与することがある。そのため種々の顎骨疾患の病態や発生機序を理解し、治療法、予防法の開発などを含めた総括的研究を推進することが現在の歯科医学の重要な課題となっている。

東京歯科大学では、1996年に文部科学省の私立大学戦略的研究基盤形成事業に採択されたのを契機に、2012年まで3-5年の研究期間で8つの研究プロジェクト(hrc-1～hrc-8)を継続的に実施し、研究基盤を構築してきた。その後、暫く研究プロジェクトは実施されなかったが、2017年度に9つ目の研究プロジェクトとして文部科学省私立大学研究ブランディング事業に「顎骨疾患の集学的研究拠点形成：包括的な顎口腔機能回復によるサステナブルな健康長寿社会の実現」（顎骨疾患プロジェクト）という研究課題で応募し、世界展開型（タイプB）として採択され、2021年度までの5年間、文部科学省と本学の支援を受けて本事業を実施・終了した。詳細な活動内容は<https://www.tdc.ac.jp/Portals/0/images/college/activity/branding/sokatsu2017-2021-1.pdf>と<https://www.tdc.ac.jp/Portals/0/images/college/activity/branding/sokatsu2017-2021-2.pdf>を参照していただきたい。

本学では全学的な研究プロジェクトを継続的に推進し、研究レベルの向上を図ることを目指しているので、2022年度は「顎骨疾患プロジェクト」を1年間延長継続した。本稿ではその成果を報告する。

図1 顎骨疾患の重要性と本事業の目的



II. 事業実施内容と成果

1. 事業目的

今年度は、2017-2021年度までに行なった「顎骨疾患プロジェクト」の研究を継続するとともに、次期の全学的な研究プロジェクトの構想を立案することを目的とした。

2. 実施体制

1) 事業実施体制

今年度も学長のリーダーシップの下、全学的に事業を推進する体制とした。具体的な研究活動は顎骨疾患プロジェクト推進委員会の下で、口腔科学研究センターを中心として多くの研究者が参加して全学的に推進した。

2) 研究推進体制

本事業では「講座の壁を超えた異分野連携・共同研究体制」を構築して研究を推進するために、2022年度も「分子・細胞ラボ（リーダー：大野建州）」、「感染制御ラボ（澁川義幸）」、「ファブラ

ボ（菅原圭亮）」、「咀嚼嚥下ラボ（溝口利英）」の4グループで研究を推進した。2017年度に31名の構成員で本事業を開始したが、2022年度には全学的・学際的なメンバー構成となり、構成員は59名となった。表1に2022年度の本事業構成員を示す。

表1 2022年度 研究推進体制



3. 本プロジェクトの活動と成果

1) 研究活動の活性化支援

今年度も前年度までと同様に研究活動活性化のために以下の支援を行なった。

a) 各ラボ（グループ）内の研究活性化支援

各ラボに400万円の研究費を配分した。今年度は各ラボ全体の活性化を図るために、グループ内で研究費の配分を十分に考慮して使用するようにした。

b) 競争的研究資金支援

2021年度に公表した論文のImpact Factor (IF) 合計値の上位20名で支援研究費400万円を按分して配分した。2022年の受賞者を表2に示す。2018年度から始めたこの支援により、本学でもIF値に着目して良い研究を推進している研究者が増加してきており、本研究支援制度の効果が出てきたと考えられる。今までの支援システムだと共著者全員が同じIF値を得ることになるので、今後は第一著者／責任著者と他の共著者に与えるIF値に差を付けることも考慮したらどうかとの意見もあったので、次年度からの検討事項とした。

c) 英文校正費助成

IF2以上の雑誌に投稿する場合には、投稿用原稿の英文校正費を事業で支援した。今年度は3論文の英文校正を支援した。

表2 2022年度競争的資金受賞者

講座	氏名
口腔科学研究センター	大野建州
解剖学講座	阿部伸一
口腔科学研究センター	溝口利英
解剖学講座	山本将仁
歯周病学講座	齋藤淳
パーシャルデンチャー補綴学講座	田坂彰規
口腔インプラント学講座	佐々木穂高
微生物学講座	石原和幸
歯科矯正学講座	石井武展
薬理学講座	高橋有希
生理学講座	澁川義幸
口腔顎顔面外科学講座	恩田健志
解剖学講座	松永智
保存修復学講座	村松敬
歯周病学講座	今村健太郎
衛生学講座	杉原直樹
生化学講座	中村貴
衛生学講座	佐藤涼一
薬理学講座	伊藤慎一郎
解剖学講座	廣内英智

d) 科学研究費申請支援補助費

科学研究費助成事業の採択件数増加を目的とした支援。本助成の応募資格は、当該年度科学研究助成事業に不採択となった研究課題のうち、審査結果のおおよその順位が【A】であり、基本的に同じ研究内容で当該年度の翌年に科学研究費助成事業に応募する教授以外の研究者とした。今年度は4名が応募し、2名が2023年度の科学研究費に採択された。

- e) その他に若手・次世代研究者育成支援を実施したので、本件に関しては5ページの3-4)「若手・次世代研究者育成支援」に記載した。

2) プロジェクト全体の研究成果

研究成果の発表は、「論文発表」と「学会発表」で行われる。参考資料1に2022年度に発表した論文と学会発表を記載した。

近年、学術論文は「数」とともに「質」が評価対象となっているため、本事業では英文論文を対象として、論文の「数」と「質」の向上を目指した。

表3に2017年度-2022年度における英文論文数とIF値の変動をまとめた。総英文誌数は2017年度より経年的に増加していたが、2022年度は2021年度より減少していた。しかし、総英文誌論文における1論文平均IF値は2022年度まで経年的に増加し、2022年度は2021年度より上昇していた。IF2以上及びIF3以上の論文数も2017年度から経年的に増加していたが、2022年度は2021年度より減少していた。しかし、1論文平均IF値は2017-2022年度まで経時的に経年的に上昇していた点は高く評価できる。これらの結果は、本学でもIF値に着目して良い研究を推進している研究者が増加していることを示唆し、論文の「数」から「質」への変換は順調に進行したと考えられる。今後、査読体制のしっかりした信頼されている学術誌への投稿が増加し、研究の「質」がさらに上がることを期待している。

表3 2017-2022年度における英文論文数と1論文平均IF値の変動

	2017 論文数 (1論文平均IF)	2018 論文数 (1論文平均IF)	2019 論文数 (1論文平均IF)	2020 論文数 (1論文平均IF)	2021 論文数 (1論文平均IF)	2022 論文数 (1論文平均IF)
総英文誌論文	64 (1.60)	58 (2.06)	40 (2.25)	82 (2.03)	131 (3.01)	93 (4.66)
IF 2以上の論文	26 (2.62)	27 (3.23)	16 (3.31)	39 (3.50)	87 (4.20)	53 (5.10)
IF 3以上の論文	8 (4.58)	13 (5.17)	8 (3.94)	23 (4.15)	50 (5.53)	44 (5.60)
IFなしの論文	26	19	7	20	23	33

(参考資料 1a) 参照)

3) 各研究ラボの研究成果（文中の上付数字は参考資料1a）の論文番号を示す）

a) 分子・細胞学ラボ成果報告（グループリーダー：大野建州）

分子・細胞学ラボでは、①疾患特異的 iPS 細胞を使用した骨芽細胞分化における転写因子 Runx2 および核膜構成タンパク質 Lamin A/C と Nesprin 1/3 の機能解析、②骨芽細胞分化・運動の制御因子 Semaphorin 4D の歯周炎における骨吸収・形成への役割の解明、③上皮由来サイトカイン IL-33 の歯周炎病態形成への役割解明、④チタンが高い生体親和性を示す理由の解明の4テーマを中心に、分子細胞学的・免疫学的および組織学的手法を用いて研究を実施した。研究成果として、①では骨芽細胞分化誘導に伴って発現する Runx2 が核膜タンパク質 Lamin A/C と Nesprin1 を発現させ、核形態と骨芽細胞分化に伴う遺伝子発現制御をコントロールしていることが解明された。②では歯周炎病態形成過程において破骨細胞由来 sSema4D が骨形成抑制と骨吸収促進という二重の機能を持つことが発見された²⁶。③では歯肉組織由来 IL-33 が T 細胞活性を増強し、歯周炎

における歯槽骨吸収を増悪させることが明らかにされた¹⁾。④ではチタンが樹状細胞による自然免疫応答を強く誘導できないため、T細胞主体の獲得免疫応答が増強されないことが、チタンが高い生体親和性を示す理由のひとつであることが解明された。

b) 感染制御ラボ（グループリーダー：澁川義幸）

慢性歯周炎は、壮年期以降の成人において非常に罹患率が高く、その予防が急務である。そこで、本研究部門では、細菌学的観点からの歯周炎発症メカニズムの解明を行なってきた⁸⁷⁾。加えて、硬組織再生技術の開発を視野に入れ、象牙質欠損後の反応象牙質形成機構および象牙芽細胞再生機構に着目し解析を行ってきた。

- 1) *Treponema denticola* は、歯周炎の病因に重要な役割を果たしている。病原因子である dentipain⁴²⁾ は、outer sheath において dentilisin により分解され、その分泌に Msp が関わる事が示唆された。また外膜に輸送され dentilisin によって Ig-like domain と peptidase domain との間で切断され、peptidase domain が細胞外に分泌され細胞表層で機能していることが示唆された。
- 2) 象牙芽細胞は transient receptor potential channel subfamilies (TRPV1, TRPV2, TRPV4, TRPA1) ・ Piezo1 チャネルなど、様々な機械感受性イオンチャネルを発現している^{44, 52, 92)}。象牙芽細胞の Piezo1 活性化の下流シグナルは、TRPV1 と TRPA1 チャネル活性を調節することが示され、象牙芽細胞 whole-cell レベルで、機械感受性イオンチャネルの活性化ヒエラルキーが存在することが示唆された。
- 3) 歯髄炎症反応の本質的メカニズムを解明するため、神経原性炎症に伴う神経圧迫を模した三叉神経節細胞への機械刺激をおこなった。機械刺激は CGRP 放出を活性化し、象牙芽細胞の G_s タンパク質共役型 CGRP 受容体の活性化に続く、アデニル酸シクラーゼ活性・cAMP レベル増加を誘発した。CGRP は歯髄神経原性炎症において軸索反射に関連していることが示唆された⁵⁹⁾。

c) ファブラボ（グループリーダー：菅原圭亮）

【口腔外科学分野・補綴学分野】

XR 技術および CAD/CAM 技術を用いた手術支援に関する研究、骨質解析を推進してきた。東京歯科大学で開発した新規手術法は、従来法よりも高精度な手術を実現した。本法を再建手術に応用した報告は *Quantitative Imaging in Medicine and Surgery* に掲載された。各手術での精度検証まで行うことにより、単なる手法に留まらない手術支援システムを確立した^{35, 36, 71)}。補綴学分野において、口腔内スキャンの精確さを向上させるため新たなスキャン法の有用性を検討した。マーカーを顎堤部に応用することでスキャンの精確さが向上することを示した⁶⁹⁾。また、金属プリンタで積層造形した局部床義歯フレームワークの造形角度の及ぼす影響を検討した結果、造形角度の違いによるサポート材の数とプラットフォームに対する造形体の配置がフレームワークの形状真度、内部欠陥および表面粗さに影響を及ぼすことを明らかにした^{54, 55, 80, 81)}。

教育への応用では、仮想空間上で臨床解剖を 3 次元的に学修するシステムを開発し、教育へ応用することで習熟度が向上することを検証した。

【口腔と脳機能】

味覚感受性検査と脳機能 MRI を使用し味覚の認知の解明を行った結果、高齢者は塩味を若年者よりも有意に低く、緩やかに認知していることが明らかになった⁶¹⁾。現在は脳内のネットワークについて解析を進めている。FabLab グループは、基礎研究および臨床研究の成果を用い、科学的根拠を持った臨床直結型の研究を実現した。

d) 咀嚼嚥下ラボ（グループリーダー：溝口利英）

口腔は、生命維持を司ることに加え、人間らしい豊かな暮らしをもたらす重要な器官である。したがって、未曾有の超高齢化社会を迎えた本邦において、生涯に亘り健康な口腔機能を維持することは、健康と幸福寿命の延伸に繋がる喫緊の課題である。そこで、咀嚼嚥下ラボでは、基礎と臨床に所属する専門性の異なるメンバーで研究グループを構築し、咀嚼嚥下機能を司る口腔組織の発生と機能維持、病態メカニズムの解明を目的とする研究を推進した。今年度は、①咀嚼嚥下機能を維持する筋腱連関メカニズム^{3, 8, 9, 11, 12, 24, 30, 85, 89, 90}、②歯根膜幹細胞の同定とその口腔における硬組織維持機構^{49, 53, 66, 70}、③脂肪酸における味覚情報伝達機構、④インプラントの表面処理が及ぼすオッセオインテグレーションに対する効果¹³、⑤変形性顎関節症の発症機序、⑥口腔機能における筋評価法の構築、⑦エナメル質付着水含有成分の分析による死後の水中浮遊時間推定法の開発²¹などの研究成果を得た。2023 年度から新たに開始する東京歯科大学研究プロジェクトでは、引き続き、咀嚼嚥下機能の維持と回復を目指した研究に取り組む。これまで得られた研究成果をさらに融合・発展させることにより、新たな予防法および治療法の切り口を見出し、健康福祉社会を実現するイノベーションに繋がる基盤研究に取り組む。

4) 若手・次世代研究者育成支援

a) 顎骨疾患プロジェクト研究助成

応募年度に大学卒業後 15 年以内の東京歯科大学研究者（専任教員、リサーチレジデント、レジデント、ポストドクトラルフェロー）を対象とした助成。選出法は、推進委員会委員が各応募者の申請書類を基に評価し、その平均値が高い順に受賞者を選び、各受賞者には年間 50 万円の研究助成費を与えた。今年度は 9 名が応募し、評価が上位だった 7 名を受賞者とした（表 4）。各受賞者は年度終了前に開催した研究報告会で進捗状況を報告し、推進委員会委員が適切なアドバイスを与える機会を設けた。また、本助成受賞者は、2023 年 6 月 3 日に開催された第 315 回東京歯科大学学会・例会で研究成果をポスター発表し、活発な討論が行われた（図 2）。



表4 2022年度 顎骨疾患プロジェクト研究助成受賞者

講座名	氏名	職名	研究課題
生理学講座	黄地 健仁	助教	象牙芽細胞のERストレスと細胞運命制御
薬理学講座	伊藤 慎一郎	助教	抜歯窩と大腿骨骨欠損部の治癒過程から探る骨格部位依存的な幹細胞の多様性
歯科理工学講座	笠原 正彰	講師	スーパーエンジニアリングプラスチックPEKKの表面改質への検討
歯科理工学講座	染屋 智子	講師	CAD/CAM製カスタムメイドポストの臨床応用実現への可能性の探求
衛生学講座	佐藤 涼一	講師	モノフルオロリン酸ナトリウム（MFP）歯面塗布による象牙質耐酸性の向上
歯周病学講座	今村 健太郎	講師	喫煙モデルマウスの歯周炎病所におけるPD-1/PD-L1機構と歯槽骨吸収の関連
口腔病態外科学講座	星野 照秀	助教	メタボローム解析を用いたBRONJ発症予測因子の探索

b) 大学院生研究助成

リサーチマインドを持った歯科医師を育成する目的で実施した本学大学院生を対象とする助成。対象者は、本学の大学院歯学研究科に在籍する大学院生とした。応募者は計画内容を記載した申請書を提出し、推進委員会で選考した。今年度は26名の応募があり、評価が上位だった10名を受賞者とし、研究費として40万円の研究助成を与えた（表5）。各受賞者は年度終了前に開催した研究報告会で進捗状況を報告し、推進委員会委員が適切なアドバイスを与える機会を設けた。多くの大学院生が応募し、大学院生時代から競争的資金を獲得する重要性を学ばせるのに有意義であった。また、本助成受賞者は、2023年6月3日に開催された第315回東京歯科大学学会・例会で研究成果をポスター発表し、活発な討論が行われた（図2）。

表5 2022年度 大学院生研究助成受賞者

所 属	氏 名	学 年	研究課題
微生物学講座	安藤 雄太郎	3年	骨免疫学による異所性石灰化の病態解明および新規制御法の確立
薬理学講座	徳山 彰秀	3年	新規歯根膜幹細胞におけるマーカー遺伝子の同定
保存修復学講座	五十嵐 章智	2年	歯髄血管再生療法（パルプ・リバスクラリゼーション）の治癒過程におけるType H血管の局在と硬組織形成への寄与
歯科麻酔学講座	千代 侑香	3年	T細胞が関連する炎症応答におけるTSP0（18kDa Translocator protein）の役割
歯科麻酔学講座	金子 瑠実	3年	神経障害性疼痛におけるMerkel細胞-神経突起複合体の関連：神経障害性疼痛は末梢性機能変調で生じるだろうか？
口腔病態外科学講座	岩崎 亮	3年	三叉神経節ニューロン-血管内皮細胞間の機械刺激誘発性CGRP-CALCRL axis活性化によるcAMP依存性軸索反射
歯周病学講座	久永 理央	3年	Treponema denticola の病原性発現におけるtranscriptional regulator 様遺伝子の役割の解明
歯科麻酔学講座	権 洗真	3年	歯根膜固有感覚を支配する三叉神経中脳路核ニューロンの機械感受性-感覚機能変調関連
歯内療法学講座	古澤 誉彰	4年	Wasabi sulfinyl誘導体 6-MSITCで活性化される象牙芽細胞のCa ²⁺ シグナル-HC03-輸送共関を介した新規象牙質再生療法薬剤の分子基盤
歯科矯正学講座	山下 悠	2年	骨芽細胞におけるメカニカルストレス応答分子機構の解明

c) Travel Award

外国での学会へのTravel Awardを設定し、2022年度は2名（表6）に25万円を支給し、フェニックスで開催されたアメリカ歯周病学会で表6に示す演題を発表した。

表6 2022年度Travel Award受賞者

所属	氏 名	職 名	参加学会	発表演題
歯周病学講座	小谷地（中根）咲	レジデント	アメリカ歯周病学会	The potential mechanism of CTLA-4-Ig-mediated osteoclast differentiation
歯周病学講座	村上 侑	レジデント	アメリカ歯周病学会	Combined effects of FGF-2+DBBM on periodontal healing of poorly-contained defects

d) 学内セミナーなどの共催（参考資料2参照）

大学院生に研究の重要性、楽しさを知ってもらうために本事業では大学院歯学研究科と大学院セミナーを共催した。今年度は8件の大学院セミナーを共催した。これらには最先端の生命科学研究の他に本学教員の長期海外出張報告などが含まれていた。また、歯科医学教育セミナーと共催で、WaShPresso Company 代表の小川修功氏に『「聞かされる」から「聞きたい」へ：広告的講義術』という演題で、学会、講義に有用なプレゼンテーションに関する講演をしていただいた。さらに、SD（スタッフ・ディベロップメント）を共催し、福岡市の医師である伊藤瑞子先生に『「育児の共有」で豊かな社会に～画期的な我が国の育児休業制度から考える～』という演題で「育児」における男女共同参画の重要性をご講演していただいた。多くの教員・職

員が参加し、有意義なSDであった。

e) 若手サイエンスアカデミーの活動

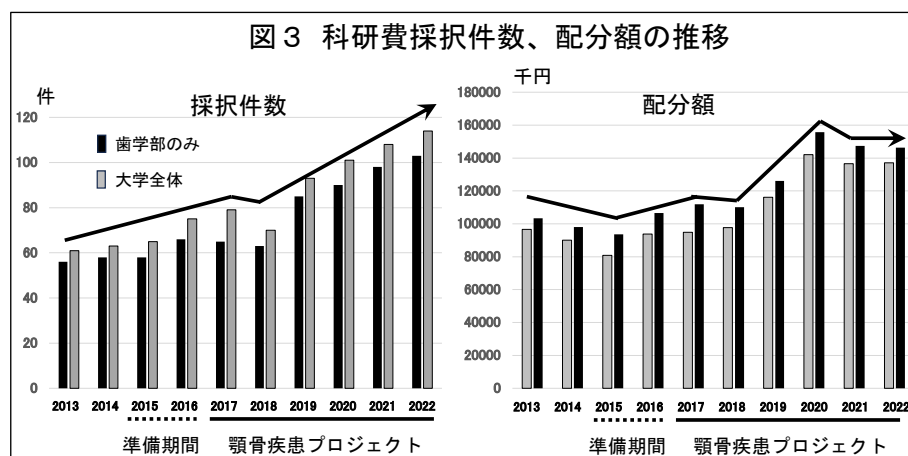
若手・中堅研究者の自主的な勉強会として若手サイエンスアカデミーを設置し、以下の活動を行った。種々の講座の研究者が参加して実施されており、2022年3月末の時点で49名が参加している（参考資料3参照）。

活動内容

- ・TDC Journal Club（抄読会）：幅広い研究領域の知識を広げ、世界の研究動向および最新の研究技術を学び、論文および助成金申請書を作成するための知識向上に繋げることを目的としている。2022年度に紹介された論文を参考資料4にまとめた。
- ・TDC 1st Author（研究報告会）：会に参加している研究者が既に発表した自分の論文を紹介し、本学で実施されている研究内容の相互理解を深め、その発展および共同研究の発案に繋げて、研究活動をさらに活性化することを目的としている。
- ・Asia Rising Stars Symposium：今年度は実施できなかったため、2023年7月29日に次期プロジェクトの一環として行う計画を立案した。
- ・2019年度から開催している東京大学医学部口腔顎顔面外科講座と若手サイエンスアカデミーとの合同研究発表会を3月28日にZoom開催し、他大学の講座の研究内容の進め方、進み方が理解でき、有意義な会であった。
- ・若手サイエンスアカデミー奨励賞：今年度は、大学院生受賞者は徳山彰秀先生（薬理学講座）で、教員受賞者は伊藤慎一郎先生（薬理学講座）であった。

5) 科学研究費獲得への貢献

研究を進めるには研究者自身が文部科学省（日本学術振興会）から科学研究費を獲得することが必須である。2013年度から2022年度までの本学における科学研究費の採択件数と配分額を歯学部のみと大学全体に分けて経時的にまとめた（図3）。



2013年度から2022年度までの本学における科学研究費の採択件数と配分額を歯学部のみと大学全体に分けて経時的にまとめた（図3）。2013年度から2022まで、採択件数及び配分額が順調に増加した。特に2019年度からは本学で初めて歯学部のみで1億円を超えることができた。2021, 2022年度の配分額は2020年度よりやや減少していたので、今後以下の点に留意する必要がある。

- 基盤研究(B)、挑戦的萌芽研究の採択件数を上げるとともに、基盤研究(A)、(S)にチャレンジできる研究者を育成すること。
- 研究活動スタート支援、若手研究の採択をさらに上げる戦略が必要。
- 基盤研究(C)の採択率をさらに採択件数を増加させる戦略が必要。
- 日本学術振興会特別研究員(PD, DC1, DC2)などに採択されるような若手研究者を輩出でき

るような大学院の研究指導体制の構築が必要。

6) 同窓会との連携構築

本事業では「ヒューマニズムとリサーチマインドを堅持する歯科医師を育成する大学」をブランド化することを目指しているため、大学と同窓会を中心とした歯科開業医間の情報交換により、この目的に対応する以下の活動を行なった。

- a) **リカレント教育セミナー**：2022年度は10月15日に開催された第314回東京歯科大学学会・総会において東京歯科大学リカレント教育セミナーを実施した。本セミナーは東京歯科大学ブランディング事業(顎骨疾患プロジェクト)主催で、東京歯科大学同窓会と東京歯科大学学会の共催で実施した。今回は『「歯周病」をめぐる基礎と臨床の架け橋～「顎骨疾患プロジェクト」と臨床医との医療情報交換～』と題して、ハイブリッド形式(対面とZoom)で開催し、教職員、大学院生、学部学生、同窓生などの計243名が参加し、大変有意義なセミナーとなった。

セミナーでは基礎系と臨床系から6名の演者が発表した。基礎系では、初めに石原和幸先生(微生物学講座教授)が「歯周病とマイクロバイーム」と題して口腔内細菌の最新情報を講演した。次いで塚崎雅之先生(東京大学医学部免疫学特任助教、東京歯科大学微生物学講座非常勤講師)が「歯周病と骨免疫学」について、大野建州講師(口腔科学研究センター)が「歯周病とサイトカイン」について講演し、宿主の観点から最新情報を提供した。臨床系では、まず中川種昭先生(慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室教授、東京歯科大学歯周病学講座客員教授)が「基礎疾患を考慮した歯周病治療について」と題して糖尿病を含めた全身疾患を持たれる患者様の歯周病治療について講演した。次いで、二階堂雅彦先生(二階堂歯科医院院長、東京歯科大学水道橋病院臨床教授)が「歯周組織再生療法の役割」について、齋藤淳先生(歯周病学講座教授)が「塩基性線維芽細胞増殖因子(FGF-2)製剤を使用した歯周組織再生療法」について講演した。今回のリカレント教育セミナーには多くの方がご参加くださり、多くの質疑応答が行われ、有意義な時間を過ごすことができた。このように大学と同窓会で特定のテーマでリカレント教育セミナーを行なっている大学は本学以外にはないので、このスタイルのセミナーをさらに継続し、大学と同窓会が連携してさらに優れた歯科医療の推進に貢献できることを期待している。

- b) **開業している同窓生による大学院セミナー**：本学の大学院生は将来、開業医を目指す方が多いので、2020年度からは同窓で開業医としてご活躍なさっている先生方にも大学院セミナー

図4 2022年度リカレント教育セミナー

第314回東京歯科大学学会・総会
東京歯科大学 リカレント教育セミナー

「歯周病」をめぐる基礎と臨床の架け橋
～「顎骨疾患プロジェクト」と臨床医との医療情報交換～

日時：2022年10月15日(土) 13:00 - 16:30
会場：東京歯科大学 水道橋校舎 新館5階 第3講義室 参加費無料

対面 / Zoom ハイブリッド開催

時間	講演者	所属
13:05-13:15	山口 朗	東京歯科大学口腔科学研究センター 客員教授
13:15-13:40	石原 和幸	東京歯科大学微生物学講座 教授
13:40-14:05	塚崎 雅之	東京大学大学院医学系研究科免疫学講座 特任助教 東京歯科大学微生物学講座 非常勤講師
14:05-14:30	大野 建州	東京歯科大学口腔科学研究センター 講師
14:40-15:05	中川 種昭	慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室 教授 東京歯科大学歯周病学講座 客員教授
15:05-15:30	二階堂 雅彦	二階堂歯科医院 院長 東京歯科大学水道橋病院 臨床教授
15:30-15:55	齋藤 淳	塩基性線維芽細胞増殖因子(FGF-2)製剤を使用した 歯周組織再生療法 東京歯科大学歯周病学講座 教授
15:55-16:25	総合討論	
16:25-16:30	閉会挨拶	渋谷 國男 東京歯科大学 同窓会長

参加費：無料
申し込み：氏名・フリガナ・勤務先を
メールにてお知らせください
メール: kenkyubu@tdc.ac.jp

主催：東京歯科大学ブランディング事業
共催：東京歯科大学同窓会
共催：東京歯科大学学会

を行なっていただくことにした。しかし、2022 年度は残念ながら開業医の先生のセミナーの開催がなかったので、今後、このようなセミナーを含めることにより、多くの大学院生の将来設計に役立つと期待している。

- c) **大学・同窓会の双方向性情報交換**: 大学が同窓会に歯学の先端的研究動向を提供することは、同窓会会員が世代を越えて「知識の共通基盤」を学び、その成果を地域医療に貢献するのに有益であろう。一方、開業医（同窓会会員）から日常臨床の問題点を提供してもらうことにより、大学での新たな研究シーズが芽生え、それらは研究力強化や大学の研究の多様性に繋がる可能性がある。そのため、このような大学・同窓会の双方向性情報交換は両者に大きなメリットがあるので、今後も両者の有益な連携の構築がさらに強固になることを期待する。

7) 各賞受賞者

・佐藤涼一

第71回 日本口腔衛生学会・総会 優秀発表賞

アパタイトコーティングによる象牙質耐酸性強化法の検討

岩崎美友、佐藤涼一、杉原直樹

・田坂彰規

令和 4 年度 公益社団法人 日本補綴歯科学会・学会論文賞

Retentive force of telescopic crowns combining fiber-reinforced composite and zirconia. J Prosthodont Res. 2022;66:265-71

・笠原正彰

日本歯科理工学会 第 79 回学術講演会 企業賞受賞 5/21~22 (岩手県盛岡市)

異なる接着性レジンセメントと表面処理が PEKK-根管象牙質間の接着強さに及ぼす影響

笠原正彰、染屋智子、籠浦弘城、棟方里花、服部雅之

8) 社会への情報発信

a) 「歯科学報」に「顎骨疾患プロジェクトからの情報発信」シリーズ掲載

2018 年度から本シリーズを開始しており、2022 年度は以下の先生方が情報発信を行なった。

- 1) 佐藤涼一、澁川義幸、杉原直樹：顎下腺における唾液分泌量サーカディアンリズム機構の解明、歯科学報 122(1)1-7, 2022
- 2) 中島純子：顔面エピテーゼ製作における口腔内スキャナ応用の試み、歯科学報 122(2)113-119, 2022
- 3) 山口朗：東京歯科大学研究ブランディング事業（顎骨疾患プロジェクト）5 年間の研究成果報告、歯科学報 122(3)277-287, 2022
- 4) 渡邊章、柴野正康、加藤宏、高野正行：口唇裂・口蓋裂の原因遺伝子の追究、歯科学報 122(4)399-403, 2023

b) 「東京歯科大学同窓会会報」に「東京歯科大学研究ブランディング事業からの情報発信」シリーズ掲載

2018 年度から本シリーズを開始しており、2022 年度は以下の先生方が情報発信を行なった。

- 1) 山口 朗：「東京歯科大学研究ブランディング事業」5 年間の成果報告、東京歯科大学同窓会会報 428:6-8, 2022
- 2) 田坂 彰規：デジタル技術のパーシャルデンチャーへの応用、東京歯科大学同窓会会報 429:8-

11, 2022

- 3) 松永 智：歯槽骨の健康を守るために歯科医師が意識しはじめた「骨質」の実際とは？－歯工連携研究によって解明されていく顎骨の新常識－、東京歯科大学同窓会会報 430:6-11, 2022
- 4) 佐藤涼一：唾液分泌量サーカディアンリズム機構の解明：顎下腺時計遺伝子による唾液の制御、東京歯科大学同窓会会報 431:15-17, 2022

c) 新聞等掲載

安松啓子

- ・時事通信 2023. 03. 12 掲載【岡山大学】食塩に含まれる塩化物イオンは、甘味受容体に作用し甘味を引き起こす ～薄い塩水はほんのり甘い～
- ・科学新聞 2023. 03. 17 掲載 「薄い塩水は甘い」不思議 岡山大など解明 塩化物イオンが甘味受容体に作用
- ・National geographic 2023.03.23 掲載 食塩に実は隠れた甘さ、塩化物イオンによる味覚を発見

佐藤涼一

- ・東京歯科大学「新う蝕予防法公表 従来の APF 法と比較」
日本歯科新聞，第 2237 号（6）（2023. 02. 14），2023
- ・東歯大とイェテボリ大「う蝕予防効果が高まる歯磨き方法を共同開発」
日本歯科新聞，第 2238 号（5）（2023. 02. 21），2023
- ・専門家に聞きました【第 12 回】食品やサプリメントで歯が溶ける？酸蝕症をご存じですか？
国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 FNet 専門家コラム，2023

III 事業収支決算

今年度も大学の支援により、以下の予算でプロジェクトを推進した（表 7）。

1) 顎骨疾患プロジェクト研究助成

成（50 万円×7 名）

9 名が応募し、評価順位上位 7 名の研究者を助成した（表 4）。

2) 顎骨疾患プロジェクト大学院生研究助成

（40 万円×10 名）
26 名が応募し、今年度は 9 名を採択する予定であったが、評価結果の 9 位が同点で 2 名いたため 10 名の研究者を助成した（表 5）。

3) 顎骨疾患プロジェクトトラベルアワード

（20 万円×4 名）
今年度は前期（1～9 月）と後期（10～3 月）までの 2 期に分けて応募した。その結果、前期に 2 名の応募があり、後期は公募者がいなかったために、2 名

表7 2022年度予算執行状況

顎骨疾患プロジェクト共通経費	予算	執行額
顎骨疾患プロジェクト研究助成(50万×7名)	3,500,000	3,465,026
顎骨疾患プロジェクト大学院生研究助成(40万×9名)	3,600,000	3,572,279
顎骨疾患プロジェクトトラベルアワード(20万×4名)	800,000	500,000
顎骨疾患プロジェクト英文校正費助成	500,000	253,125
顎骨疾患プロジェクト報告書作成費(教:印刷製本費)	200,000	424,600
顎骨疾患プロジェクト外部評価委員会室料他(教:賃借料)	200,000	0
謝金、交通費等(国際シンポジウム、アジアシンポジウム含む)	4,000,000	1,229,824
科学研究費申請支援補助費	2,000,000	1,614,281
若手サイエンスアカデミー研究奨励賞	200,000	194,600
Highly cited paper awardの盾費用	30,000	41,030
予備費	470,000	470,720
小計	15,500,000	11,765,485
分子・細胞生物学ラボ研究費	4,000,000	3,498,575
感染制御ラボ研究費	4,000,000	3,999,818
ファブラボ研究費	4,000,000	3,988,059
咀嚼嚥下ラボ研究費	4,000,000	3,835,259
IF値による競争的資金	4,000,000	3,847,793
小計	20,000,000	19,169,504
合計	35,500,000	30,934,989

の応募者を助成した（表6）。また、航空運賃が値上がりしているため、今年度は1人25万円の補助を行った。

4) 顎骨疾患プロジェクト英文校正費(50万円)

今年度は3件の応募があったが、さらに本助成の活用が期待される。

5) 顎骨疾患プロジェクト外部報告書作成費 (20万円)

2017-2021年に継続して実施した顎骨疾患プロジェクト報告書を作成した。200冊を製本し、歯学部関係者などに配布した。

6) 顎骨疾患プロジェクト評価委員会室料他 (20万円)

今年度はCOVID-19の影響などにより外部評価委員会を開催することができなかったため、執行しなかった。

7) 謝金、交通費等 (国際シンポジウム、アジアシンポジウム含む) (400万円)

今年度はCOVID-19の影響で国際シンポジウム、アジアシンポジウムを対面で実施できなかったため、本予算は主に大学院セミナーなどの謝金、旅費に使用した。

8) 科学研究費申請支援補助費 (200万円)

今年度から、教授及び昨年度の本補助金採択者は申請できないこととした。補助額は基盤研究(B):50万円以下、基盤研究(C):40万円以下、若手研究:30万円以下とした。今年度は4名が応募した（基盤研究(C):3名、若手研究:1名）。その内、2名が2023年度の科学研究費に採択された（基盤研究(C):1名、若手研究:1名）。

9) 若手サイエンスアカデミー研究奨励賞 (2名、20万円)

大学院生1名、教員1名を若手サイエンスアカデミーのコアメンバーで選出した。

10) Highly cited paper award の盾費用

2021年度に、2017-2021年の5年間で発表された全ての英文論文のFWCIを調べ、最高値の研究者に与えるHighly Cited Paper Awardを設定した。2021年度に原著論文、総説、症例報告の3つのカテゴリー別に各1名選出したため、今年度の予算で各受賞者に学長から盾を授与した。

11) 4つの研究ラボ（グループ）への基盤研究費配分 (400万円×4)

各グループ内にはいくつかの研究内容があるので、年度初めにリーダーがグループ内で研究費の配分・使用方法などを検討してから使用した。

12) IF値による競争的資金 (400万円)

2021年度に発表した論文のImpact Factor(IF)合計値の上位20名を対象とし、IF合計値で400万円を按分した金額を配分した（表2）。

IV. おわりに

2017-2021年度の5年間実施した「顎骨疾患プロジェクト」と今年度の研究により、東京歯科大学の研究ブランド力を強化し、「最先端の教育と医療をもって社会に貢献する」という本学の「将来ビジョン」を具現化することに多少なりとも貢献できた。

近年、研究活動の評価はいくつかの数値化された指標で評価される時代となってきた。本プロジェクトの推進により、より多くの研究者がこれらの指標に注視して研究活動を推進するようになってきたことは、本学の研究活動のさらなる活性化が期待できる。今後は、口腔科学にとどまらず広く生命科学、生命医科学、生命医科学工学、社会医学などの分野にも貢献できるイノベーションシー

ズの探索に傾注することが重要である。その結果、それらを社会実装へと発展させ、健康・医療の発展に貢献できることが可能となるであろう。そのためには、論文の数値的評価に惑わされずに、自由で楽しく、新しい発見の喜びを味わえる研究体制を強化して、研究活動を推進することにより、二番煎じでない「新たな発見」を目指す心意気のある若手研究者を育成することが重要である。

2023年4月からは、溝口利英教授（推進委員会委員長、組織再生ラボリーダー）、澁川義幸教授（常態―病態機能解析ラボリーダー）、菅原圭亮准教授（生体医工学ラボリーダー）、大野建州講師（生体防御ラボリーダー）の4名のリーダーシップにより新たな東京歯科大学研究プロジェクト「各ライフステージにおける口腔顎顔面機能維持・改善を目指すウェルビーイング社会の実現」が3年計画で開始している。このプロジェクトにより、東京歯科大学の研究体制がさらに充実し、優れた研究成果を創成して社会貢献できることを期待している。

参考資料

1. 研究業績

a) 英文原著論文

1. Aida N, Takeda K, Nakae S, Saito H, Okumura K, Azuma T, Ohno T.: IL-33 deficiency suppresses alveolar bone loss in a ligature-induced periodontitis model. *Biomed Res.* 2023;44(1):9-16. doi: 10.2220/biomedres.44.9. PMID: 36682799.
2. Akashi Y, Shimoo Y, Hashiguchi H, Nakajima K, Kokubun K, Matsuzaka K.: Effects of excimer laser treatment of zirconia disks on the adhesion of L929 fibroblasts. *Materials (Basel)*. 16:115, 2022. doi: 10.3390/ma16010115
3. Amemiya H, Yamamoto M, Higa K, Watanabe G, Taniguchi S, Kitamura K, Jeong J, Yanagisawa N, Fukuda K, Abe S.: Effects of myostatin on nuclear morphology at the myotendinous junction. *Int J Mol Sci*, 24(7):6634, 2023. doi.org/10.3390/ijms24076634.
4. Aoki H, Suzuki E, Nakamura T, Onodera S, Saito A, Ohtaka M, Nakanishi M, Nishimura K, Saito A, Azuma T.: Induced pluripotent stem cells from homozygous Runx2-deficient mice show poor response to vitamin D during osteoblastic differentiation. *Med Mol Morphol*. 2022 Sep;55(3):174-186. doi: 10.1007/s00795-022-00317-w.
5. Ariizumi D, Sakamoto T, Yamamoto M, Nishii Y.: External root resorption of second molars due to impacted mandibular third molars during orthodontic retention. *Bull Tokyo Dent Coll.* 63:129-138, 2022. doi: 10.2209/tdcpublication.2021-0044.
6. Asahara F, Yamazaki M, Kokubun K, Matsuzaka K, Kishizawa H, Matsui J, Nomura T.: Correlation between lifestyles of tobacco smoking and alcohol drinking, and expression of p53 and GLUT1 in synchronous oral squamous cell carcinoma with colorectal cancer. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol*. 34:817-822, 2022. doi: 10.1016/j.ajoms.2022.05.003.
7. Atsumi N, Yasumatsu K, Takashina Y, Ito C, Yasui N, Margolskee RF, Yamashita A.: Chloride ions evoke taste sensations by binding to the extracellular ligand-binding domain of sweet/umami taste receptors. *eLife*, 12:e84291, 2023. doi: 10.7554/eLife.84291.
8. Cho KH, Machida T, Yamamoto M, Kitamura K, Shimazaki J, Iimura J, Higa K, Murakami G, Abe S.: Lost or fragmented bony septum of the optic canal facing the sphenoid sinus: a histological study using elderly donated cadavers. *Surg Radiol Anat.* 44(4):511-519, 2022. doi: 10.1007/s00276-022-02910-1.
9. Cho KH, Sato N, Yamamoto M, Watanabe G, Taniguchi S, Murakami G, Abe S.: Histology of the optic nerve head with special reference to the layer-specific distribution of composite fibers at and near the lamina cribrosa. *Ann Anat*, 2023. doi:10.1016/j.aanat.2023.152051.
10. Furukawa Y, Odashima A, Hoshino T, Onodera S, Saito A, Ichinohe T, Azuma T.: Effects of knockout serum replacement on differentiation of mouse-induced pluripotent stem cells into odontoblasts. *Bull Tokyo Dent Coll.* 2022 Jun 15;63(2):75-83. doi: 10.2209/tdcpublication.2021-0042.
11. Hanada S, Kim JH, Taniguchi S, Yamamoto M, Murakami G, Rodríguez-Vázquez JF, Abe S.: Changing the topographical anatomy among the maxilla, palatine bone, and greater palatine nerve: a histological study using human fetuses. *Surg Radiol Anat*, 2023. doi.org/10.1007/s00276-023-03081-3.
12. Hayashi S, Kim JH, Jin ZW, Murakami G, Abe S.: Cavitation processes in a space filled with loose mesenchymal tissues: a comparison between the retrosternal space and the middle ear tympanic cavity in human fetuses. *Folia Morphol*, 2022. doi:10.5603/FM.a2022.0026.
13. Hirano T, Miura T, Otsu Y, Harada A, Asami Y, Iijima N, Oda Y, Furuya Y, Ito T, Sasaki H, Sekine H.: The effect of super-hydrophilic treatment on zirconia implant osseointegration in rats. *J Hard Tissue Biol.* 31(4):223-230, 2022
14. Hojo H, Saito T, He X, Guo Q, Onodera S, Azuma T, Koebis M, Nakao K, Aiba A, Seki M, Suzuki Y, Okada H, Tanaka S, Chung UI, McMahon AP, Ohba S.: Runx2 regulates chromatin accessibility to direct the osteoblast program at neonatal stages. *Cell Rep.* 2022 Sep 6;40(10):111315. doi: 10.1016/j.celrep.2022.111315.
15. Ide F, Sakamoto S, Miyazaki Y, Kikuchi K, Muramatsu T, Ito Y.: Direct evidence supporting a periodontal ligament origin for central cemento-ossifying fibroma. *J Oral Pathol Med*, 51(6):582-583, 2022. doi:10.1111/jop.13319.

16. Ide F, Sakamoto S, Miyazaki Y, Kikuchi K, Muramatsu T, Ito Y.: Direct evidence supporting a periodontal ligament origin for central cemento-ossifying fibroma. *J Oral Pathol Med*, 51(6):582-583, 2022. doi:10.1111/jop.13319.
17. Ide F, Sakamoto S, Miyazaki Y, Kikuchi K, Muramatsu T, Ito Y.: The true history of cementoblastoma. *Head Neck Pathol*, 2023 doi:10.1007/s12105-022-01499-6.
18. Imai H, Sakurai A, Shintani S.: Reconsideration of Leeway space calculated using models from same patients at different growth stages. *Bull Tokyo Dent Coll*. 63: 167-175, 2022, doi: 10.2209/tdcpublish.2021-0046.
19. Imamura K, Hamada Y, Yoshida W, Murakami T, Nakane-Koyachi S, Yoshikawa K, Saito A.: Investigating the effects of dehydrated human amnion-chorion membrane on periodontal healing. *Biomolecules*. 2022 12(6), 857. doi:10.3390/biom12060857
20. Ishii T, Ruiz-Torruella M, Yamamoto K, Yamaguchi T, Heidari A, Pierrelus R, Leon E, Shindo S, Rawas-Qalaji M, Pastore MR, Ikeda A, Nakamura S, Mawardi H, Kandam U, Hardigan P, Witek L, Coelho PG, Kawai T.: Locally secreted semaphorin 4D is engaged in both pathogenic bone resorption and retarded bone regeneration in a ligature-induced mouse model of periodontitis. *Int J Mol Sci*. 23:5630.2022. doi:10.3390/ijms23105630.
21. Ishikawa N, Nakamura Y, Kitamura K, Kuroda H, Ono K, Hashimoto M.: A method for estimating time since death through analysis of substances deposited on the surface of dental enamel in a body immersed in freshwater. *J Forensic Leg Med*. 92:102447, 2022. doi: 10.1016/j.jflm.2022.102447.
22. Ishizuka H, Hamba H, Nakamura K, Miyayoshi Y, Kumura H, Muramatsu T.: Effects of bovine milk osteopontin on *in vitro* enamel remineralization as a topical application prior to immersion in remineralizing solutions with/without fluoride. *Dent Mater J*, 42(1):140-146, 2023.
23. Iwasaki M, Satou R, Sugihara N.: Development of root caries prevention by nano-hydroxyapatite coating and improvement of dentin acid resistance. *Materials*, 15(22), 8263, 2022. doi: 10.3390/ma15228263
24. Jin ZW, Kim JH, Yamamoto M, Murakami G, Abe S, Rodríguez-Vázquez JF.: Topographical relationships of the yolk sac remnant and vitelline vessels with the midgut loop in the extra-embryonic coelom of human embryos. *Anat Cell Biol*, 55(3):356-366, 2022.
25. Kakuta W, Matsunaga S, Ootsu M, Kitamura K, Abe S, Yajima Y, Sekine H.: Regeneration of sensory nerve branches in extraction socket and surrounding alveolar bone in rat-Immunohistochemical observation of the axon and myelin sheath changes-. *Odontology*, 2023. doi.org/10.1007/s10266-022-00772-y
26. Kamei H, Ishii T, Nishii Y.: Semaphorin 3A regulates alveolar bone remodeling on orthodontic tooth movement. *Sci Rep*. 12(1):9243. 2022. doi: 10.1038/s41598-022-13217-x.
27. Kasahara M, Someya T, Hattori M.: Effect of surface treatments of polyetherketoneketone as a post material on shear bond strength to root dentin using two types of resin cement. *J Adhes Dent*. 28;24(1): 435-443, 2022. doi: 10.3290/j.jad.b3608791.
28. Kikuchi M, Kadena M, Fukamachi H, Takaki T, Matsui S, Hoashi-Takiguchi S, Morisaki H, Trtić N, Mori M, Kurosawa M, Itsumi M, Funatsu T, Sakurai A, Shintani S, Kato H, Fujita T, Maruoka Y, Kuwata H.: Melatonin suppresses the antiviral immune response to EMCV infection through intracellular ATP deprivation caused by mitochondrial fragmentation. *Heliyon*, 8(10): e11149, 2022. doi: 10.1016/j.heliyon.2022.e11149.
29. Kikuchi N, Kitamura K, Kasahara N, Ogawa Y, Ishikawa N, Yamamoto M, Yamamoto H.: Three-dimensional observation of the furcation area during multi-rooted tooth formation in rat. *J Hard tissue biol*, 31(3)163-170, 2022.
30. Kitamura K, Watanabe T, Yamamoto M, Ishikawa N, Kasahara N, Abe S, Yamamoto H.: A newly discovered tendon between the genioglossus muscle and epiglottic cartilage identified by histological observation of the pre-epiglottic space. *Dysphagia*. 38(1):315-329, 2022. doi: 10.1007/s00455-022-10469-7.
31. Kokubun K, Nakajima K, Yamamoto K, Akashi Y, Matsuzaka K.: Evaluation of oral brush liquid-based cytology for oral squamous cell carcinoma: a comparative study of cytological and histological diagnoses at a single center. *BMC Oral Health*. 23:145, 2023. doi: 10.1186/s12903-023-02839-w.
32. Komada T, Mitomo K, Ikarashi T, Jung HS, Simono M, Muramatsu T.: Periodontal ligament cells are involved in the formation of intracanal cementum-like tissue after regenerative endodontic procedures: a mouse *in situ* model. *Front Dent Med*, 2022 doi: 10.3389/fdmed.2022.864406.
33. Kondo Hiraga C, Komatsu M, Ito Y, Sato K, Yoshida Y, Nakajima T, Imura J, Matsuura N, Nomura T.: Clinical analysis of patients who dropout in oral appliance therapy in obstructive sleep apnea. *Oral Sci Int*. 2022 doi: 10.1002/osi2.1162

34. Koresawa K, Matsunaga S, Hikita A, Okudera H, Yamaguchi A, Yajima Y, Abe S.: Micro/nanostructural properties of peri-implant jaw bones: a human cadaver study. *Int J Dent*, 8(1):17, 2022. doi.org/10.1186/s40729-022-00417-3
35. Koyachi M, Sugahara K, Tachizawa K, Nishiyama A, Odaka K, Matsunaga S, Sugimoto M, Katakura A.: Mixed-reality and computer-aided design/computer-aided manufacturing technology for mandibular reconstruction: a case description. *Quant Imaging Med Surg* (in press) doi: 10.21037/qims-22-1118
36. Koyama Y, Sugahara K, Koyachi M, Tachizawa K, Iwasaki A, Wakita I, Nishiyama A, Matsunaga S, Katakura A.: Mixed reality for extraction of maxillary mesiodens. *Maxillofac Plast Reconstr Surg*. 45:1, 2023. doi: 10.1186/s40902-022-00370-6.
37. Kyogoku K, Someya T, Kasahara M, Hasegawa K, Takemoto S, Hattori M.: Effect of bone defect width and a ferrule on the fracture characteristics of vertically fractured teeth reattached with adhesive resin cement: An in vitro study. *Dent Mater J*. 41(4):552-559, 2022. doi: 10.4012/dmj.2021-287
38. Maekawa K, Ikeuchi T, Shinkai S, Hirano H, Ryu M, Tamaki K, Yatani H, Kuboki T, Kimura-Ono A, Kikutani T, Suganuma T, Ayukawa Y, Gonda T, Ogawa T, Fujisawa M, Ishigaki S, Watanabe Y, Kitamura A, Taniguchi Y, Fujiwara Y, Eda Hiro A, Ohara Y, Furuya J, Nakajima J, Umeki K, Igarashi K, Horibe Y, Kugimiya Y, Kawai Y, Matsumura H, Ichikawa T, Ohkawa S, Baba K.: Impact of number of functional teeth on independence of Japanese older adults. *Geriatr Gerontol Int*. 22: 1032-1039, 2022. doi: 10.1111/ggi.14508
39. Matsumoto T, Matsunaga S, Kasahara M, Kasahara N, Nakano T, Ishimoto T, Nishii Y.: Evaluation of the microstructural characteristics of bone surrounding anchor screws placed under a Horizontal load by exploring the orientation of biological apatite crystals and collagen fiber anisotropy. *J Hard Tissue Biol*. 31(2):79-86, 2022.
40. Matsunaga S, Yamada M, Kasahara N, Noguchi T, Morita S, Kitamura K, Suzuki M, Tamiya Y, Yamamoto H, Abe S, Furusawa M.: Japanese maxillary first molar root canal morphology: An ultrastructural study using micro-computed tomography. *J Hard Tissue Biol*. 31:1-6, 2022. <https://doi.org/10.2485/jhtb.31.109>.
41. Mitsutake S, Ishizaki T, Eda Hiro A, Kitamura A, Hirata T, Saito A.: The effects of dental visits on the occurrence of acute hospitalization for systemic diseases among patients aged 75 years or older: A propensity score-matched study. *Arch Gerontol Geriatr* 107:104876, 2022. <https://doi.org/10.1016/j.archger.2022.104876>
42. Miyai-Murai Y, Okamoto-Shibayama K, Sato T, Kikuchi Y, Kokubu E, Potempa J, Ishihara K.: Localization and pathogenic role of the cysteine protease dentipain in *Treponema denticola*. *Mol Oral Microbiol*. 38(3):212-223, 2023. doi: 10.1111/omi.12406.
43. Morozumi T, Nakayama Y, Shirakawa S, Imamura K, Nohno K, Nagano T, Miyazawa H, Hokari T, Takuma R, Sugihara S, Gomi K, Saito A, Ogata Y, Komaki M.: Effect of Locally Delivered Minocycline on the Profile of Subgingival Bacterial Genera in Patients with Periodontitis: A Prospective Pilot Study. *Biomolecules*. 2022 18;12(5):719. doi: 10.3390/biom12050719.
44. Nagai S, Kitamura K, Kimura M, Yamamoto H, Katakura A, Shibukawa Y.: Functional expression of mechanosensitive Piezo1/TRPV4 channels in mouse osteoblasts.: *Bull Tokyo Dent Coll*. 7;64(1):1-11, 2023. doi: 10.2209/tdcpublish.2022-0015.
45. Nagasaka A, Sakiyama K, Bando Y, Yamamoto M, Abe S, Amano O.: Spatiotemporal gene expression regions along the anterior–posterior axis in mouse embryos before and after palatal elevation. *Int J Mol Sci*, 23(9):5160, 2023. doi: 10.3390/ijms23095160.
46. Nakamura Y, Kasahara N, Hashimoto M.: New method of dental personal identification of disaster victims using oral scanner. *Bull Tokyo Dent Coll*. 63(2):67-73. doi: 10.2209/tdcpublish.2021-0035.
47. Nakata H, Masaki Y, Watanabe Y, Ohkubo M, Sugiyama T, Kobayashi K.: Relationship between knowledge and attitude toward oral function in middle-aged and older adults. *Int J Dent*. Aug 18;2022:3503644. 2022, doi: 10.1155/2022/3503644.
48. Nakazawa K, Nakajima J, Ishizaki K, Nomura T, Ueda T.: Consideration of mouth opening when using positioning stents during radiotherapy for tongue cancer: a retrospective study. *Rep Pract Oncol Radiother*, 27(6):982–989, 2022 DOI: 10.5603/RPOR.a2022.0107
49. Nazmus S, Seki Y, Takebe H, Fujii S, Mizoguchi T, Nakamura H, Yoshiba N, Yoshiba K, Iijima M, Shimo T, Irie K, Hosoya A.: Gli1⁺-PDL cells contribute to alveolar bone homeostasis and regeneration. *Journal of Dental Research*. 101(12):1537, 2022 doi: 10.1177/00220345221106921.
50. Nishimura T, Matsunaga S, Kasahara M, Kasahara N, Nakano T, Ishimoto T, Nishii Y.: Bone structure surrounding orthodontic anchor screws in growing rat. *Dent Mater J*. (in press). doi: 10.4012/dmj.2022-209.

51. Odaka K, Kamiyama S, Takizawa H, Takano N, Matsunaga S.: Comparison of the fatigue life of pure titanium and titanium alloy clasps manufactured by laser powder bed fusion and its prediction before manufacturing. *J Prosthodont Res.* (in press) doi: 10.2186/jpr.JPR_D_22_00207
52. Ohyama S, Ouchi T, Kimura M, Kurashima R, Yasumatsu K, Nishida D, Hitomi S, Ubaidus S, Kuroda H, Ito S, Takano M, Ono K, Mizoguchi T, Katakura A, Shibukawa Y.: Piezo1-pannexin-1-P2X3 axis in odontoblasts and neurons mediates sensory transduction in dentinal sensitivity. *Frontiers in Physiology*, 13:891759, 2022.
53. Oka H, Ito S, Kawakami M, Sasaki H, Abe S, Matsunaga S, Morita S, Noguchi T, Kasahara N, Tokuyama A, Kasahara M, Katakura A, Yajima Y, Mizoguchi T.: Subset of the periodontal ligament expressed leptin receptor contributes to part of hard tissue-forming cells. *Sci Rep.* 13(1):3442, 2023. doi: 10.1038/s41598-023-30446-w
54. Okano H, Tasaka A, Matsunaga S, Kasahara M, Wadachi J, Hattori M, Abe S, Yamashita S.: Effects of hollow structures added by selective laser sintering on the mechanical properties of Co-Cr alloy. *J Prosthodont Res.* 2022 Nov 19. doi: 10.2186/jpr.JPR_D_22_00150.
55. Okano H, Tasaka A, Matsunaga S, Wadachi J, Hattori M, Abe S, Yamashita S.: Effects of inner structure on mechanical properties of Co-Cr alloy fabricated by selective laser sintering. *J Prosthodont Res.* doi: 10.2186/jpr.JPR_D_22_00150. (in press)
56. Ono T, Denda R, Tsukahara Y, Nakamura T, Okamoto K, Takayanagi H, Nakashima T.: Simultaneous augmentation of muscle and bone by locomimeticism through calcium-PGC-1 α signaling. *Bone Res.* 10:52, 2022. doi.org/10.1038/s41413-022-00225-w
57. Oomura Y, Matsunaga S, Okamura M, Suzuki T, Kasahara N, Abe S, Nomura T.: Effect of zoledronic acid on bone structure of the mandible in ovariectomized mice. *J Hard Tissue Biol*, 31(4):207-214, 2022 doi: 10.2485/jhtb.31.207
58. Otsuru M, Yanamoto S, Yamada S, Nakashiro K, Harazono Y, Kohgo T, Nakamura M, Nomura T, Kasamatsu A, Tanaka S, Kirita T, Kioi M, Ogawa M, Sasaki M, Ota Y, Umeda M.: Radiotherapy plus cetuximab for squamous cell carcinoma of the oral cavity: A multicenter retrospective study of 79 patients in Japan. *Int J Environ Res Public Health*, 20(5):4545, 2023 DOI: 10.3390/ijerph20054545
59. Saito N, Kimura M, Ouchi T, Ichinohe T, Shibukawa Y.: $G\alpha_s$ -Coupled CGRP receptor signaling axis from the trigeminal ganglion neuron to odontoblast negatively regulates dentin mineralization. *Biomolecules*. 2022; 12(12):1747. doi.org/10.3390/biom1212174
60. Satake K, Ishii T, Morikawa T, Sakamoto T, Nishii Y.: Quercetin reduces the development of 2,3,7,8-tetrachlorodibenzo-P-dioxin-induced cleft palate in mice by suppressing CYP1A1 via the aryl hydrocarbon receptor. *Nutrients*. 14(12):2448. 2022. doi:10.3390/nu14122448.
61. Sato H, Wada H, Matsumoto H, Takagiwa M, Goto TK.: Differences in dynamic perception of salty taste intensity between young and older adults. *Sci Rep.* 9;12(1):7558, 2022. doi: 10.1038/s41598-022-11442-y.
62. Satou R, Iwasaki M, Kamijo H, Sugihara N.: Improved enamel acid resistance using biocompatible nano-hydroxyapatite coating method. *Materials*, 15(20), 7171, 2022. doi: 10.3390/ma15207171
63. Satou R, Yamagishi A, Takayanagi A, Higuchi T, Oyama T, Suzuki S, Sugihara N.: Relationship between toothpaste dilution ratio and droplets generated during tooth-brushing. *Int J Environ Res Public Health*, 19(7), 4157, 2022. doi: 10.3390/ijerph19074157
64. Satou R, Yamagishi A, Takayanagi A, Iwasaki M, Kamijo H, Sugihara N.: Improved enamel acid resistance by highly concentrated acidulated phosphate sodium monofluorophosphate solution. *Materials*, 15(20), 7298, 2022. doi:10.3390/ma15207298
65. Satou R, Yamagishi A, Takayanagi A, Suzuki S, Birkhed D, Sugihara N.: Comparison of interproximal delivery and flow characteristics by dentifrice dilution and application of prepared toothpaste delivery technique. *PLoS One*, 17(10):e0276227, 2022. doi: 10.1371/journal.pone.0276227
66. Seki Y, Takebe H, Mizoguchi T, Nakamura H, Iijima M, Irie K, Hosoya A.: Differentiation ability of Gli1+ cells during orthodontic tooth movement. *Bone*. 166:116609, 2023 doi: 10.1016/j.bone.2022.116609.
67. Seshima F, Bizenjima T, Aoki H, Imamura K, Kita D, Irokawa D, Matsugami D, Kitamura Y, Yamashita K, Sugito H, Tomita S, Saito A.: Periodontal regenerative therapy using rhFGF-2 and deproteinized bovine bone mineral versus rhFGF-2 alone: 4-year extended follow-up of a randomized controlled trial. *Biomolecules*. 2022 12(11), 1682. doi: 10.3390/biom12111682.

68. Shigematu M, Takeda K, Matsunaga S, Sendai Y, Matuura N, Suzuki R, Azuma T, Sasaki H, Okumura K, Sekine H, Yajima Y, Ohno T: Subgingival titanium wire implantation induces weak inflammatory responses but does not promote substantial T cell activation. *Dent Mater J*. (in press)
69. Shimizu T, Tasaka A, Wadachi J, Yamashita S.: A new proposal for improving the accuracy of intraoral scanning for partially edentulous residual ridge. *J Prosthodont Res*. 67:246-254, 2023 doi: 10.2186/jpr.JPR_D_22_00088. Epub 2022 Aug 29
70. Shin M, Mori S, Mizoguchi T, Arai A, Kajiya H, Okamoto F, Bartlett JD, Matsushita M, Udagawa N, Okabe K.: Mesenchymal cell TRPM7 expression is required for bone formation via the regulation of chondrogenesis. *Bone*. 166:116579, 2023 doi: 10.1016/j.bone.2022.116579.
71. Sugahara K, Koyachi M, Tachizawa K, Iwasaki A, Matsunaga S, Odaka K, Sugimoto M, Abe S, Nishii Y, Katakura A.: Using mixed reality and CAD/CAM technology for treatment of maxillary non-union after Le Fort I osteotomy: a case description. *Quant Imaging Med Surg*. 13(2): 1190-9, 2023. doi: 10.21037/qims-22-414
72. Suzuki M, Kasahara N, Matsunaga S, Yamada M, Abe S, Furusawa M.: Microstructural analysis of accessory canals in the furcation area of the mandibular first molar using micro-computed tomography. *Saudi Endod J*. 13:135-141, 2023. DOI: 10.4103/sej.sej_156_22.
73. Suzuki T, Katsumata A, Mastumoto Y, Komatsu M, Oomura Y, Okamura M, Mizuno S, Anazawa U, Nomura T.: Features of mandibular cortical bone morphology in osteoporotic fracture patients. *Oral Radiol*, 38(4):550-557, 2022
74. Taira K., Watanabe Y., Okada K., Kondo M., Takeda M., Ito K., Nakajima J., Iwasaki M., Itoda M., Inohara K., Sasaki R., Nishi Y., Furuya J., Watanabe Y., Umemoto G., Kishima M., Tohara T., Sato Y., Yoshida M. and Yamazaki Y.: Association between denture use and food form in older adults requiring long term care: A multicenter cross-sectional study. *J Prosthodont Res*. 2022 19. doi: 10.2186/jpr.JPR_D_21_00161.
75. Takada K, Odashima A, Onodera S, Saito A, Aida N, Furusawa M, Azuma T.: The effect of BMP4, FGF8 and WNT3a on mouse iPS cells differentiating to odontoblast-like cells. *Med Mol Morphol*. 2022 Sep;55(3):199-209. doi: 10.1007/s00795-022-00318-9.
76. Takeda M, Okada K, Kondo M, Taira K, Watanabe Y, Ito Kayoko, Nakajima J, Ozaki Y, Sasaki R, Nishi Y, Furuya J, Akino K, Ohta H, Ohno T, Kodama T, Sakaguchi H, Hanagata T, Sato Y, Yoshida M, Yamazaki Y.: Factors associated with food form in long-term care insurance facilities. *Dysphagia*. 2022 Apr. doi:10.1007/s004
77. Takeda M, Watanabe Y, Matsushita T, Taira K, Miura K, Ohara Y, Iwasaki M, Ito K, Nakajima J, Iwasa Y, Itoda M, Nishi Y, Furuya J, Watanabe Y, Umemoto G, Kishima M, Hirano H, Sato Y, Yoshida M, Yamazaki Y.: Observational variables for considering a switch from a normal to dysphagia diet among older adults requiring long-term care: A one-year multicenter longitudinal study. *Int J Environ Res Public Health*. 2022 May;19(11):6586. Doi:10.3390/ijerph19116586.
78. Tani S, Okada H, Onodera S, Chijimatsu R, Seki M, Suzuki Y, Xin X, Rowe DW, Saito T, Tanaka S, Chung UI, Ohba S, Hojo H.: Stem cell-based modeling and single-cell multiomics reveal gene-regulatory mechanisms underlying human skeletal development. *Cell Rep*. 2023 Mar 20:112276. doi: 10.1016/j.celrep.2023.112276.
79. Tanzawa S, Kitamura K, Ishikawa N, Tamiya Y, Sako R, Furusawa M, Yamamoto.: Immunohistochemical observation on the distribution and morphological changes of GAP-43 positive Structures in the formation of experimental apical periodontitis of rat molars. *J Hard tissue biol*, 31(3)155-162, 2022.
80. Tasaka A, Rues S, Schwindling FS, Rammelsberg P, Yamashita S.: Retentive force of conical crowns combining zirconia and fiber-reinforced composite. *J Dent*. 2022 Sep;124:104222. doi: 10.1016/j.jdent.2022.104222. Epub 2022 Jul 9.
81. Tasaka A, Shimizu T, Ito K, Wadachi J, Odaka K, Yamashita S.: Digital technology for fabrication of removable dental prosthesis with double crowns combining fiber-reinforced composite and zirconia. *J Prosthodont Res*. 2022. doi: 10.2186/jpr.JPR_D_22_00064
82. Togo T, Sanjo Y, Sakai K, Nomura T.: Brain activity in healthy elderly persons when presented with swallowing-related videos: A functional magnetic resonance imaging study. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol*, 34(6):823–832, 2022
83. Tojima T, Ishii T, Sakamoto T, Nishii Y.: Cephalometric characteristics of patients with unilateral cleft lip and palate treated using either one- or two-stage palatoplasty, *Clin invest Orthod*, 81(3), 137-143, 2022.

84. Tsukasaki M, Komatsu N, Negishi-Koga T, Huynh NC, Muro R, Ando Y, Seki Y, Terashima A, Pluemsakunthai W, Nitta T, Nakamura T, Nakashima T., Ohba S, Akiyama H, Okamoto K, Baron R, Takayanagi H.: Periosteal stem cells control growth plate stem cells during postnatal skeletal growth. *Nat Commun.* 13:4166, 2022
85. Wang S, Hayashi S, Jin ZW, Kim JH, Yamamoto M, Murakami G, Abe S.: Distally-extending muscle fibers across involved joints: study of long muscles and tendons of wrist and ankle in late-term fetuses and adult cadavers. *Anat Cell Biol*, 56(1):46-53, 2023.
86. Yamada M, Matsunaga S, Kasahara N, Kitamura K, Suzuki M, Tamiya Y, Takeuchi Y, Takahashi A, Yamamoto H, Abe S, Furusawa M.: The microscopic structure of the root canal morphology of the distobuccal root of the maxillary first molar in Japanese people: A micro-computed tomography study. *J Hard Tissue Biol*, 32: 35-40, 2023. <https://doi.org/10.2485/jhtb.32.35>.
87. Yamaguchi-Kuroda Y, Kikuchi Y, Kokubu E, Ishihara K.: *Porphyromonas gingivalis* diffusible signaling molecules enhance *Fusobacterium nucleatum* biofilm formation via gene expression modulation. *J Oral Microbiol.* 10;15(1):2165001, 2023. doi:10.1080/20002297.2023.2165001.
88. Yamakawa N, Umeda M, Yoshii Y, Mitsudo K, Noguchi M, Kusukawa J, Katakura A, Nakayama H, Sasaki M, Noguchi T, Ueda M, Bukawa H, Yagihara K, Horie A, Miyazaki A, Chikazu D, Tomihara K, Mishima K, Otsuru M, Asoda S, Fujiwara S, Ohyama Y, Kurita H, Kawamata H, Fukuda M, Shintani Y, Kobayashi T, Kanno T, Oh-iwa I, Kawano K, Yamashita Y, Kobayashi W, Ohiro Y, Uzawa K, Ota Y, Kirita T.: Multicenter retrospective study of nivolumab for recurrent / metastatic oral squamous cell carcinoma. *Oral Dis.* 00:1-12, 2022.
89. Yamamoto M, Hayashi S, Honkura Y, Hirano-Kawamoto A, Katori Y, Murakami G, Rodríguez-Vázquez JF, Abe S.: Nasal capsule ossification: a histological study using human fetuses to find an association between the foetus and adult morphologies of the nasal wall. *J Anat*, 2023. doi.org/10.1111/joa.13867.
90. Yamamoto M, Hirota Y, Watanabe G, Taniguchi S, Murakami G, Rodríguez-Vázquez JF, Abe S.: Development and growth of median structures in the human tongue: a histological study using human fetuses and adult cadavers. *Anat Rec*, 2023. doi.org/10.1002/ar.25198.
91. Yanamoto S, Yasuyuki Michi Y, Otsuru M, Inomata T, Nakayama H, Nomura T, Hasegawa T, Yamamura Y, Yamada S, Kusukawa J, Yamakawa N, Hasegawa O, Ueda M, Kitagawa Y, Hiraki A, Hasegawa T, Ohiro Y, Kobayashi W, Asoda S, Kobayashi T, Iino M, Fukuda M, Ishibashi-Kanno N, Kawaguchi K, Aijima R, Noguchi K, Okura, M, Tanaka A, Sugiura T, Shintani Y, Yagihara K, Yamashiro M, Ota Y, Miyazaki A, Takeshita A, Kawam H, Iwabuchi H, Uchida K, Umeda M, Kurita H, Kirita T.: Protocol for a multicentre, prospective observational study of elective neck dissection for clinically node-negative oral tongue squamous cell carcinoma (END-TC study). *BMJ Open*:12(9), e059615, 2022 DOI: 10.1136/bmjopen-2021-059615
92. Yazaki T, Kuroda H, Kimura M, Ohyama S, Ichinohe T, Shibukawa Y.: Direct mechanical stimulation mediates cell-to-cell interactions in cultured trigeminal ganglion cells. *Bull Tokyo Dent Coll*, 63:109-117, 2022. doi:10.2209/tdcpublish.2021-0034
93. Yoshida S, Watanabe A, Akashi Y, Matsuzaka K, Takano M.: A case of myoepithelioma in the upper lip. *Oral Maxillofac Surg Cases.* 9, 2023. doi.org/10.1016/j.omsc.2022.10

b) 和文原著論文

1. 河角久美子、森川泰紀、有泉大、石井武展、坂本輝雄、西井康、吉田秀児、渡邊章、成田真人：片側性唇顎口蓋裂患者における一段階および二段階口蓋形成術による歯・歯列弓形態への影響の比較・検討、*日本口蓋裂学会雑誌*、47：11-19、2022
2. 笠原清弘、星野照秀、杉浦慧、西山明宏、吉田秀児、高野正行、片倉朗：当科における下骨関節突起骨折 29 症例に関する臨床的検討、*日口外傷誌*、21：1-5、2022
3. 高橋彩記子、立木千恵、武笠友里香、高木多加志、西井康：骨格性上顎前突症における外科的矯正治療の長期的変化、*歯科学報*、122：49-57、2022.

c) 英文総説

1. Aida N, Ohno T, Azuma T.: Progress and current Status in Hajdu-cheney syndrome with focus on novel genetic research. *Int J Mol Sci.* 23:11374, 2022. doi: 10.3390/ijms231911374.
2. Katakura A.: Necessity of providing dental care to medically compromised patients in Japan's super-aged society and the way forward. *Jpn Dent Sci Rev* 58, 279-285, 2022

3. Weng Z, Wang Y, Ouchi T, Liu H, Qiao X, Wu C, Zhao Z, Li L, Li B.: Mesenchymal Stem/Stromal cell senescence: Hallmarks, mechanisms, and combating strategies. *Stem Cells Transl Med.* 2022 Apr 29;11(4):356-371. doi:10.1093/stcltm/szac004. PMID: 35485439; PMCID: PMC9052415.
4. Yasumatsu K, Tokita K.: Fat taste nerves and their function in food intake regulation. *Current Oral Health Reports* 9:75-80, 2022v

d) 和文総説

1. 井坂栄作、杉浦貴則、橋本和彦、菊田一貴、穴澤卯圭、野村武史、亀山昭彦：電気泳動で何をしよう【医学】唾液腺腫瘍の糖鎖解析 粘表皮癌と腫瘍関連 MUC1、**電気泳動**(2189-2628)66 巻 2 号 Page67-70(2022.11)
2. 石原和幸：最新知識をアップデート **学び直し微生物学** 42: 973-977, 1107-1110, 1212-1215, 1354-1355, 2022, 43: 74-78, 2023
3. 石原和幸：歯周病とマイクロバイオーム 「歯周病」をめぐる基礎と臨床の架け橋 —2022 東京歯科大学リカレント教育セミナーより—, **歯界展望**, 141(3):448-54, 2023
4. 梅原一浩, 四ツ谷護, 関根秀志：インプラントシミュレーション, デジタルワークフローの現状と将来展望, **日本口腔インプラント学会誌**, 35 : 291-299, 2022.
5. 黄地健仁, 倉島竜哉, 木村麻記, 澁川義幸：細胞内外シグナリング連関による歯痛と象牙質形成の制御機構, 特集 メカニカルストレス疾患の理解と治療法開発の新視点, **BIO Clinica**, 38(4), 37-44
6. 大野建州, 中江進：「アレルギーの主役?脇役?上皮細胞と免疫細胞のクロストークに着目して」総説炎症の起点としての上皮細胞, **Allos Ergon**, 2:422-427, 2022.
7. 大野建州, 中江進：ILC2 の制御機構, **アレルギーの臨床**, 43:5-9, 2023.
8. 北村啓, 山本将仁, 阿部伸一, 山本仁：「おいしさ」を感知する舌背の構造と機能, **歯界展望**, 141(3):518-522, 2023.
9. 木村麻記, 澁川義幸：優しく寄り添いたいお口の痛み 第3回 私の悩み「歯科医院で使われている薬にはどんなものがあるの・・・?」, **デンタルハイジーン**, 42: 768-777
10. 木村洋朗, 黄地健仁, 芝田晋介, 岡野栄之, 中村雅也：iPS 細胞を用いた末梢神経再生. **末梢神経**, 33 (1) 10-15, 2022.
11. 齋藤淳：3.歯周病治療の考え方 1)ホームケア, プロフェッショナルケア, 長期管理の重要性. 特集歯周病—看過できない口腔感染症—, **Progress in Medicine** 42:373-377, 2022.
12. 齋藤淳：塩基性線維芽細胞増殖因子 (FGF-2) 製剤を使用した歯周組織再生療法, 「歯周病」をめぐる架け橋—2022 東京歯科大学リカレント教育セミナーより—, **歯界展望**141 : 490—495.
13. 齋藤淳：歯周病と宿主免疫応答—治療における意義— 総合診療歯科治療のための細菌学・免疫学講座, **歯科医療**36:37-45, 2022.
14. 櫻井敦朗, 新谷誠康：乳歯の歯内療法, **日本歯科医師会雑誌** 75(2),4-13,2022.
15. 櫻井敦朗：MIH の原因と対応. **大阪府学校歯科医会雑誌**, 27(3): 1-5, 2023.
16. 佐藤涼一, 澁川義幸, 杉原直樹：「顎骨疾患プロジェクトからの情報発信」18.顎下腺における唾液分泌量サーカディアンリズム機構の解明. **歯科学報**, 122-1:1-7, 2022.
17. 佐藤涼一：「顎骨疾患プロジェクトからの情報発信」唾液分泌量サーカディアンリズム機構の解明—顎下腺時計遺伝子による唾液の制御—. **東京歯科大学同窓会会報** No.431:15-17, 2023
18. 澁川義幸, 木村麻記：象牙質知覚過敏が生じるサイエンス, **歯科衛生士**, 545: 26-30, 2022
19. 澁川義幸, 木村麻記：象牙質知覚過敏が生じるサイエンス—もう痛みを繰り返さない 知覚過敏のズキッ!から歯を守る, **歯科衛生士**, 46 (5) : 24-30, 2022
20. 澁川義幸：優しく寄り添いたいお口の痛み 第1回 私の悩み 患者さまは色々な痛みを訴えるけど, **デンタルハイジーン**, 42 (6) : 602-608, 2022
21. 澁川義幸：優しく寄り添いたいお口の痛み 第4回 「歯が痛い」というけれど・・・, **デンタルハイジーン**, 42 (9) : 1010-1017, 2022
22. 澁川義幸：優しく寄り添いたいお口の痛み 第5回 どうやって見分ければ・・・噛むと痛い・キーンと痛い・ズキズキ痛い??, **デンタルハイジーン**, 42 (10) : 1128-1136, 2022
23. 澁川義幸：優しく寄り添いたいお口の痛み 第6回 痛みの特徴って?, **デンタルハイジーン**, 42 (11) : 1236-1245, 2022
24. 澁川義幸：優しく寄り添いたいお口の痛み 第8回 優しく寄り添いたいお口の痛み, **デンタルハイジーン**, 43 (1) : 84-92, 2023
25. 澁川義幸：老年医歯科学を理解する高齢者の臨床口腔生理, **北海道歯科医師会誌**, 78 : 17-21, 2023

26. 新谷誠康, 辻野啓一郎, 浜野美幸:「指しゃぶり」 幼児期後半から就学後の対応, *日本歯科医師会雑誌* 75(付録),33-37,2022.
27. 鈴木大貴、森瑞穂、勝又明敏、野村武史:【AI・Deep Learning と歯科】AI を用いた歯科パノラマ X 線画像による骨粗鬆症スクリーニング、*日本歯科技工学会誌*(1884-4421)41 巻 2 号 Page103-106(2022.05)
28. 中島純子:咀嚼と嚥下と誤嚥性肺炎 咀嚼、嚥下、誤嚥性肺炎の検査 咀嚼・口腔機能の検査. *JOHNS* 38(5):506-510,2022.
29. 中島純子:歯学の進歩・現状 顎骨疾患プロジェクトからの情報発信 顔面エピテーゼ製作における口腔内スキャナ応用の試み. *歯科学報* 122(2):113-119,2022.
30. 西井康:歯科矯正アンカースクリュー時代における外科的矯正治療の選択基準と安定性、*中・四国矯正歯科学会雑誌* 34:25-29, 2022.
31. 野村武史:身近な臨床・これからの歯科医のための臨床講座 抜歯の臨床決断 超高齢社会に遭遇する全身疾患と歯科的対応、*日本歯科医師会雑誌*(0047-1763)75:7,547-556,2022
32. 備前島崇浩, 河野誠之, 齋藤淳:サポータティブペリオドンタルセラピー (SPT) の考え方と臨床 *日本歯科医師会雑誌* 75:43-51, 2022.
33. 水口俊介、小笠原正、會田英紀、有友たかね、伊藤加代子、大渡凡人、菅野亜紀、村田比呂司、中根綾子、石黒幸枝、草間里織、阪口英夫、須田牧夫、高柳久与、藤原千尋、藤原ゆみ、森下志穂、小原由紀:老年歯科医学 歯科衛生士教育基準. *老年歯学* 37(supplement) 1-7, 2022
34. 山本将仁, 北村啓, 阿部伸一, 山本仁:上顎洞の機能的役割, *歯界展望*, 141(1):64-69, 2023.
35. 渡邊章、柴野正康、吉田秀児、加藤宏、高野正行:歯学の進歩・現状 顎骨疾患プロジェクトからの情報発信 口唇裂・口蓋裂の原因遺伝子の追究, *歯科学報*, 122:431-435, 2023
36. 渡邊章:治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 構音障害(解説), *日本医事新報*, 5100:47-48, 2022

e) 症例報告

1. Aoki Y, Minabe M, Inada J, Akiyama Y, Hashimoto K, Kouno M, Takahashi S, Nomura T.: Two cases of oral steroid and local tacrolimus combination therapy for oral lichen planus ineffective with local steroid therapy. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol*, 35(1):70-75, 2022 DOI: 10.1016/j.ajoms.2022.07.009
2. Baba Y, Kamata A, Kouno M, Takahashi S.: Autoimmune hemolytic anemia associated with herpes zoster. *J Dermatol*. 50(3): e94-95, 2023
3. Hiraga,(Kondo) C, Suzuki T, Yamazaki F, Kawaida M, Baba A, Sato K, Nomura T.: Metastatic neuroblastoma in the oral cavity of a toddler. *J Dent Child* (Chic), 89(1):52–56, 2022 DOI: 10.1002/osi2.1162
4. Hoshino T, Yoshida S, Katakura A.: Atypical multiple simple bone cysts in the maxilla and mandible. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol* 35(2):178-183, 2023.
5. Iguchi N, Minabe M, Akira Y, Inada J, Akiyama Y, Hashimoto K, Takahashi S, Nomura T, Kouno M.: Dipeptidyl peptidase-4 inhibitor-associated bullous pemphigoid with oral mucosal lesions: A case report. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol*, 2023(In press)
6. Imamura K, Suzuki E, Takeuchi T, Saito A.: Clinical outcomes of periodontal regenerative therapy using rhFGF-2 with a Modified Minimally Invasive Surgical Technique for intrabony defects: case series with a 12-month follow-up. *Int J Periodontics Restorative Dent* 42:503-513, 2022. doi: 10.11607/prd.5572.
7. Iwaki J, Imamura K, Tanaka K, Sugito H, Saito A.: Treatment of stage III grade C periodontitis with periodontal regenerative therapy including guided tissue regeneration (GTR) and recombinant human fibroblast growth factor (rhFGF)-2: A case report. *Bull Tokyo Dent Coll* 63:189-198, 2022. <https://doi.org/10.2209/tdcpublication.2022-0017>
8. Iwamoto M, Ariizumi T, Watanabe M, Yamamoto M, Narita M, Koyachi M, Akashi Y, Matsuzaka K, Shibahara T, Takano M, Katakura A.: Second primary metachronous malignancies occurring in oral cavity of young adults. *Bull Tokyo Dent Coll*. 64(1):23-30, 2022.
9. Koyachi M, Sugahara K, Tachizawa K, Nishiyama A, Odaka K, Matsunaga S, Sugimoto M, Katakura A.: Mixed-reality and computer-aided design/computer-aided manufacturing technology for mandibular reconstruction: a case description. *Quant Imaging Med Surg*. 2023 doi: 10.21037/qims-22-1118
10. Koyama Y, Sugahara K, Koyachi M, Tachizawa K, Iwasaki A, Wakita I, Nishiyama A, Matsunaga S, Katakura A.: Mixed reality for extraction of maxillary mesiodens. *Maxillofac Plast Reconstr Surg*, 45(1):1. doi: 10.1186/s40902-022-00370-6. 2023

11. Minabe M, Inada J, Akiyama Y, Hashimoto K, Minabe M, Nomura T, Kouno M.: Two cases of plasma cell mucositis successfully treated with antibacterial therapy based on periodontal bacterial test. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol*, 2023 (In press)
12. Murakami T, Imamura K, Watanabe-Egawa N, Tomita T, Saito A.: Surgical periodontal therapy using recombinant human fibroblast growth factor-2 in combination with carbonate apatite granules for Stage III Grade B periodontitis: A case report with 1-year follow-up. *Bull Tokyo Dent Coll* 63:145-153, 2022. <https://doi.org/10.2209/tdcpublish.2022-0008>
13. Nakane-Koyachi S, Imamura K, Saito A.: Treatment of chronic periodontitis with periodontal surgery including regenerative therapy using recombinant human fibroblast growth factor-2 and papilla preservation technique: a case report with a two-year follow-up. *Bull Tokyo Dent Coll* 63:95-103, 2022. <https://doi.org/10.2209/tdcpublish.2021-0048>
14. Nakao K, Sakamoto Y, Miwa T, Wakabayashi K, Ishii T, Kishi K.: An elderly patient with crouzon syndrome treated with Monobloc distraction. *J Craniofac Surg*. 33(8):e871-e874.2022. doi: 10.1097/SCS.00000000000008806.
15. Ogane S, Hiraga C, Suzuki T, Takano M, Katakura A, Nomura T.: Acinic cell carcinoma of the buccal mucosa with reconstruction by submental island flap. *Oral Sci Int*, 19(2): 117-122, 2022
16. Ogane S, Kawano T, Hiraga (Kondo) C, Suzuki T, Hashimoto K, Nomura T.: Oral collision cancer: A case report and literature review of simultaneous squamous cell and adenoid cystic carcinoma of the oral mucosa. *Oral Sci Int*, 19(2): 123-128, 2022
17. Onda T, Hayashi K, Katakura A, Takano M.: Compound odontoma obstructing the eruption of a mandibular premolar. *Oxf Med Case Reports*. 26;2022(9): omac102. doi: 10.1093/omcr/omac102.
18. Onda T, Hayashi K, Katakura A, Takano M.: Fissured tongue: Tongue with numerous deep grooves. *Int J Case Rep Images*. 13(2): 128-129, 2022. doi:10.5348/101342Z01TO2022CI.
19. Onda T, Hayashi K, Katakura A, Takano M.: Geographic tongue: A tongue that changes appearance. *Int J Case Rep Images*. 13(2) 135-136 2022. doi:10.5348/101344Z01TO2022CI
20. Onda T, Hayashi K, Katakura A, Takano M.: Mucous lesion diagnosed as a Blandin-Nuhn cyst. *Oxf Med Case Reports*. 24;2022(11): omac117. doi: 10.1093/omcr/omac117.
21. Onda T, Hayashi K, Katakura A, Takano M.: Oral leukoplakia and oral cancer. *Cleve Clin J Med*. 90(2): 79-80, 2023. doi: <https://doi.org/10.3949/ccjm.90a.22044>
22. Onda T, Hayashi K, Katakura A, Takano M.: Spontaneous oral hematoma diagnosed as angina bullosa hemorrhagica. *Cleve Clin J Med*. 1;89(11): 615-616, 2022. doi: 10.3949/ccjm.89a.22040.
23. Onda T, Hayashi K, Katakura A, Takano M.: Tongue haemangioma with fading colour due to compression. *Oxf Med Case Reports*. 26;2022(9):omac100. doi: 10.1093/omcr/omac100.
24. Onda T, Hayashi K, Takano M.: Dorsal pigmentation of tongue. *Eur J Intern Med*. 104:105-106, 2022. doi: 10.1016/j.ejim.2022.08.006.
25. Sugahara K, Koyachi M, Tachizawa K, Iwasaki A, Matsunaga S, Odaka K, Sugimoto M, Abe S, Nishii Y, Katakura A.: Using mixed reality and CAD/CAM technology for treatment of maxillary non-union after Le Fort I osteotomy: a case description. *Quant Imaging Med Surg*. 2023 Feb 1;13(2):1190-1199. doi.org/10.21037/qims-22-414
26. Tasaka A, Shimizu T, Ito K, Wadachi J, Odaka K, Yamashita S.: Digital technology for fabrication of removable dental prosthesis with double crowns combining fiber-reinforced composite and zirconia. *J Prosthodont Res*. 2022 Aug 27. doi: 10.2186/jpr.JPR_D_22_00064. Online ahead of print.
27. Watanabe A, Yoshida S, Kato H, Ariizumi T, Takano M.: Practical orthognathic surgery approach to the old bilateral mandibular condylar head fractures. *Journal of Surgery*. 8(1):1-7, 2023. doi.org/10.29011/2575-9760.001707
28. Yamashita K, Seshima F, Kigure T, Tomita S, Saito A.: Treatment of chronic periodontitis with smoking cessation care and periodontal surgery in an elderly patient: A case report including a 4-year follow-up. *Bull Tokyo Dent Coll* 63:31-40, 2022. <https://doi.org/10.2209/tdcpublish.2021-0033>.
29. Yoshida S, Watanabe A, Akashi Y, Matsuzaka K, Takano M.: A case of myoepithelioma in the upper lip. *Oral and Maxillofacial Surgery Case*, 9:1-5, 2023, <https://doi.org/10.1016/j.omsc.2022.100288>
30. 飯島由貴, 立木千恵, 高木多加志, 西井康: 歯科矯正用アンカープレートを用いて上顎大臼歯の圧下を行った骨格性開咬症例. *歯科学報* 122:173-182, 2022.

31. 岡嶋伶奈, 野嶋邦彦, 西井康: ハーブスト装置を用いて二段階治療を行った骨格性上顎前突症例. **歯科学報** 122:203-212, 2022.
32. 尾島賢治, 檀知里, 熊谷友理子, 渡邊仁資, 渡邊章, 菅原準二, Nanda Ravindra: アライナー矯正治療における開咬の治療レベル別アプローチ(後編). **Journal of Aligner Orthodontics**, 2:77-93, 2022
33. 尾島賢治, 檀知里, 熊谷友理子, 渡邊仁資, 渡邊章, 菅原準二, Nanda Ravindra: アライナー矯正治療における開咬の治療レベル別アプローチ(前編). **Journal of Aligner Orthodontics**, 1:67-83, 2022
34. 嶋翼, 有泉大, 林幸央, 亀山敦史, 西井康: 変則設計の Nance のホールディングアーチを用いて口蓋側埋伏犬歯の開窓牽引および大臼歯の遠心移動を行った過蓋咬合症例. **歯科学報** 122:191-202, 2022.
35. 鈴木大貴, 大金寛, 吉田成緒, 平賀智豊, 中島純子, 橋本和彦, 高野正行, 片倉朗, 野村武史: 集学的治療を行った巨大な中顔面多形腺腫由来癌の一例. **日本口腔腫瘍学会雑誌** 35(1)7-15, 2023.
36. 武笠友里香, 森川泰紀, 西井康: 歯科矯正用アンカースクリューを用いた上下顎大臼歯の近心移動により先天性部分無歯症患者の空隙歯列を治療した症例. **歯科学報** 122:183-190, 2022.
37. 中谷脩子, 今村健太郎, 勢島典, 齋藤淳: 広汎型重度慢性歯周炎に対し歯肉剥離搔爬術および遊離歯肉移植術を行った一症例, **歯科学報**, 122(3): 357-365
38. 松田祐明, 中島一憲, 大野啓介, 渡邊章, 武田友孝, 高野正行: BP 製剤服用経験者の下顎頭骨折に対し、下顎枝矢状分割術のバイトプレートの製作・術前後に補綴処置した症例、**スポーツ歯学**, 25: 59-60, 2022
39. 吉田成緒, 鈴木大貴, 秋山友理恵, 野村武史, 大金寛: クロイツフェルト・ヤコブ病患者 2 例に対する抜歯経験、**日本口腔内科学会雑誌** 28 (1) : 20-25、2022
40. 四ツ谷護, 武内崇博, 武田侑大, 栗林伸之, 栗澤重樹, 木村峻輔, 石川暁美, 大塚景子, 鈴木智美, 梅原一浩, 関根秀志, 佐藤亨: 1 歯中間欠損に熱可塑性樹脂材アバットメントを用いて上部構造を製作した 1 症例, **日本口腔インプラント学会誌**, 35 : 308-313, 2022.
41. 四ツ谷護: 著しい咬耗症に対して金属床義歯を用いて機能および審美回復した一症例, **日本補綴歯科学会誌**, 14 : 379-382, 2022.

f) 単行図書

1. 阿部伸一 (分担執筆): サイナスフロアエレベーション、クインテッセンス出版株式会社、東京、9-18、2023.
2. 石井武展, 坂本好昭, 他(分担執筆): コンパス顔面骨骨折の治療、207-217、272-276、克誠堂出版 ISBN978-4-7719-0558-0. 2022
3. 石原和幸 (分担執筆): 歯周病の細菌学. 沼部幸博、齋藤淳、梅田誠、山本松男、岩田隆紀編. ザ・ペリオドントロジー. 4 版 ed. 京都: 永末書店; 2023. p. 14-9.
4. 石原和幸 (分担執筆): 日本脊椎関節炎学会編 掌蹠膿疱症性骨関節炎診療の手引き 2022 p. 151-153 歯性病巣感染 ②基礎研究から—口腔環境、分光堂、東京、2022
5. 石原和幸、阿部修: 細菌学的アプローチによる歯内療法の臨床 バイオフィルム感染症として捉え解決に導く P. 6-27、36-47、66-76、医歯薬出版株式会社、東京、2023 (共著)
6. 笠原正貴: 第 12 章 循環器に作用する薬物、ポイントがよく分かるシンプル歯科薬理学第 3 版、P72-76、永末書店、京都、2023
7. 笠原正貴: 第 18 章 麻酔に用いる薬物、ポイントがよく分かるシンプル歯科薬理学第 3 版、P94-103、永末書店、京都、2023
8. 笠原正貴: 第 27 章 和漢薬 (漢方薬)、ポイントがよく分かるシンプル歯科薬理学第 3 版、P164-167、永末書店、京都、2023
9. 片倉朗 (著分担): 「歯科におけるくすりの使い方」株式会社デンタルダイヤモンド社、文京区、2022
10. 片倉朗 (著分担): 「歯科の処方に役立つ本 一般社団法人 日本歯科薬物療学会編 日本歯科用医薬品集 改訂第 5 版」、株式会社永松書店、京都市、2022
11. 片倉朗 (編集委員): 「口腔内科学」株式会社永松書店、京都市、2023 年 2 月 27 日
12. 後藤多津子 (分担執筆): 絵で学ぶ歯科放射線学、第 5 章 画像診断、砂書房、2022
13. 佐々木穂高, 松坂賢一 (分担執筆): よくわかる口腔インプラント学 第 4 版、第 2 章口腔インプラントのための基礎医学、1. オッセオインテグレーション、P31-35、医歯薬出版、東京、2022
14. 齋藤淳 (分担執筆): 「歯周病のリスク評価」「歯科衛生ケアプロセスに基づく歯科衛生士の臨床」「スクレーピング」、口腔衛生学 2022、東京、一世出版、2022 pp 246-254、pp. 264-266、pp 295-297

15. 新谷誠康 (分担執筆)、金子明寛、富野康日己、小林真之、飯田征二、北川善政、一戸達也、篠原光代：歯科におけるくすりの使い方 2023-2026、デンタルダイヤモンド社、東京、2022
16. 新谷誠康 (分担執筆)、白川哲夫、福本敏、岩本勉、森川和政：小児歯科学 第6版、医歯薬出版、東京、2023
17. 新谷誠康 (編集主幹)、木本茂成、黒木淳子、齊藤一誠、齊藤正人、島村和弘、星野倫範：小児歯科学クリニカルテキスト 第3版、永末書店、京都、2023
18. 新谷誠康 (編集主幹)、木本茂成、黒木淳子、齊藤一誠、齊藤正人、島村和弘、星野倫範：小児歯科学ベーシックテキスト 第3版、永末書店、京都、2023
19. 澁川義幸：生理学実習書 第3版、岩田幸一・井上富雄・船橋誠・加藤隆史・重村憲徳・篠田雅路・小野聖太郎編、医歯薬出版、2022、ISBN978-4-263-45869-3
20. 中島純子 (分担執筆)：治せる？治せない？ 摂食嚥下障害への視点と対応 II-16 口腔癌術後で食べにくい、医歯薬出版、東京、2022
21. 西井康、新井一仁、小野卓史、須田正人、他 (分担執筆)：歯科矯正学エッセンシャルテキスト、永末書店、京都、2023
22. 沼部幸博、齋藤淳、梅田誠、山本松男、岩田隆紀 (編著)：「歯周基本治療とは」「歯周組織再生療法」、ザ・ペリオドントロジー第4版 永末書店、京都、2023 pp 104-107、156-165、2023.
23. 野村武史、樺沢勇司、菅野亜紀、他 (分担執筆)：歯科衛生学シリーズ 臨床検査. 113-128、医歯薬出版、東京、2023
24. 松永智、阿部伸一、他 (分担執筆)：Crosslink 言語聴覚療法学テキスト『発声発語・摂食嚥下の解剖・生理学』 第1章 発声発語と摂食嚥下に関わる器官 3. 鼻腔・咽頭 4. 喉頭 5. 食道、メジカルレビュー社、東京、2022
25. 松久保隆、佐藤涼一、竹之内茜、大谷悦世：パッと見ておぼえられるまとめテーブル 2023：歯科医師・歯科衛生士国試対策ブック 衛生・公衆衛生・口腔衛生・社会福祉・関係法規、一世出版、東京、2022 (共著)
26. 松久保隆、八重垣健、前野正夫、那須郁夫、小松崎明、杉原直樹、福田雅臣、川戸貴行、齋藤淳、石塚洋一、佐藤涼一、都築民幸、佐藤勉、今井敏夫、本橋正史 (分担執筆)：口腔衛生学 2022、一世出版、東京、2022
27. 溝口利英 (分担執筆)：骨髄間葉系細胞から骨芽細胞への分化、日本臨牀増刊 最新の骨粗鬆症学 (第2版) 一骨粗鬆症の最新知見一、日本臨牀社、東京、2023

g) 解説論文及び報告書等

1. 石川昂、橋本正次、坂英樹、岩脇淳志：法歯学のはなし4「法歯学の基本知識② 歯科的検査」日本歯科評論 No.954 VOL.82(4)、2022.
2. 黄地健仁・澁川義幸：優しく寄り添いたいお口の痛み(7) 歯が原因ではない痛み?：非歯原性歯痛、デンタルハイジーン. 42巻12号 (2022.11) 医歯薬出版
3. 笠原正貴：歯科学報 Q&A ロキソニン等の酸性非ステロイド性抗炎症薬を処方する際、胃腸障害を予防するための注意点や対処法を教えてください、歯科学報, 122:105-107, 2022
4. 國分克寿、松坂賢一：エナメル上皮腫の分子病理学、歯科学報, 122:121-123, 2022.
5. 齋藤淳：歯周病の発症と進行、リスクファクター 連載 本当は怖い「歯周病」 第4回、健康と生活、東京金属事業健康保険組合、東京、2022年3月号 pp12-13.
6. 齋藤淳：レポート. 歯科医療での薬剤耐性 (AMR) のリスク、アプロニア21 341:118-123, 2022.
7. 坂英樹、橋本正次、石川昂、岩脇淳志：法歯学のはなし8「事件、事故および災害における法歯学の実際④ スマトラ沖大地震後の現場作業・歯科所見からの個人識別法」日本歯科評論 No.958 VOL.82(8)、2022.
8. 坂英樹、橋本正次、石川昂、岩脇淳志：法歯学のはなし9「戦没者遺骨収集事業① 遺骨収集の現状と人種鑑別」日本歯科評論 No.959 VOL.82(9)、2022.
9. 櫻井敦朗：チェアサイド Q&A 小児歯科に関する疑問 小児の年齢に応じた歯磨剤のフッ化物濃度を正しく知りたいです、歯科衛生士, 46(11): 19, 2022.
10. 澁川義幸：一度知覚過敏になってしまったら、治ることはないのですか? 読者が本当に聞きたいこと、全部答えます、歯科衛生士, 46 (11) : 62, 2022
11. 西山明宏：治療法の整理とアップデートのために 専門家による私の治療 下歯槽神経麻痺、日本医事新報社、5116、49、2022年5月

12. 橋本正次, 石川昂, 坂英樹, 岩脇淳志: 法歯学のはなし 5 「事件,事故および災害における法歯学の実際① 日航機墜落事故犠牲者の身元確認作業から得た教訓」 *日本歯科評論* No.955 VOL.82(5), 2022.
13. 橋本正次, 石川昂, 坂英樹, 岩脇淳志: 法歯学のはなし 6 「事件,事故および災害における法歯学の実際② 個人識別作業と日本文化」 *日本歯科評論* No.956 VOL.82(6), 2022.
14. 橋本正次, 坂英樹, 石川昂, 岩脇淳志: 法歯学のはなし 7 「事件,事故および災害における法歯学の実際③ 写真画像やコンピューターの個人識別作業への応用」 *日本歯科評論* No.957 VOL.82(7), 2022.
15. 橋本正次, 坂英樹, 石川昂, 岩脇淳志: 法歯学のはなし 10 「戦没者遺骨収集事業② パラオ,サイパン,トラック諸島での遺骨収集」 *日本歯科評論* No.960 VOL.82(10), 2022.
16. 橋本正次, 坂英樹, 石川昂, 岩脇淳志: 法歯学のはなし 11 「虐待事案における歯科の関わり」 *日本歯科評論* No.961 VOL.82(11), 2022
17. 橋本正次, 坂英樹, 石川昂, 岩脇淳志: 法歯学のはなし 12 「法歯学の今後の展望および臨床歯科医との関わりについて (完)」 *日本歯科評論* No.962 VOL.82(12), 2022.
18. 水口俊介、渡邊裕、秋野憲一、伊藤加代子、糸田昌隆、岩崎正則、岩佐康行、内ヶ島伸也、小原由紀、菊谷武、久保山裕子、小玉剛、萱野亜紀、竹内研時、田中志子、恒石美登里、中川量晴、平野浩彦、水谷慎介、本川佳子、吉田光由、渡部芳彦: 令和 4 (2022) 年度老人保健健康増進等事業介護保険施設における歯科専門職による口腔管理に関する調査研究事業報告書, 2023

h) 招待講演・シンポジウム 国際学会

1. Koyachi M, Sugahara K, Katakura A.: Innovation of medical digital transformation in oral and maxillofacial surgery-CAD/CAM, extended reality, Medical Metaverse-. 72nd Kongress & Praxisführungsseminar der Deutschen Gesellschaft für mund-, Kiefer- und Gesichtschirurgie. Japanisch – Deutsches Symposium, 29 June – 2 July 2022, Dresden – Germany
2. Katakura A.: Symposium "Early detection of oral cancer: Screening as a system unique to Japan " IAOO2022 8th World Congress of the International Academy of Oral Oncology 23-26 June 2022 Chicago, USA
3. Watanabe A.: Approach to future of orthognathic surgery in Tokyo Dental College. 15th Asian Congress of Oral and Maxillofacial Surgery 26-27th May 2022, Seoul, Korea, 15th ACOMS, :91, 2022
4. Yamashita A, Atsumi N*, Yasumatsu K*, Takashina Y, Ito C, Yasui N, Margolskee RF.: Chloride ion-binding to the extracellular ligand-binding domain of sweet/umami taste receptors evoke taste sensation. The 19th International symposium on molecular and neural mechanisms of taste and olfactory perception, 2023 年 3 月 18, 19 日, 岡山大学
5. Yasumatsu K.: Neural and behavioral analysis of fatty acid receptors expressed in mouse posterior tongue. The 19th International symposium on molecular and neural mechanisms of taste and olfactory perception, 2023 年 3 月 18, 19 日, 岡山大学

国内学会

1. 石原和幸: 歯周炎とマイクロバイオーーム リカレント教育セミナー「歯周病」をめぐる基礎と臨床の架け橋ー「顎骨プロジェクト」と臨床医との医療情報交換ー、第 314 回東京歯科大学学会・総会 2022.10.15-16 東京
2. 大久保真衣: The 嚥下エコー 超音波診断装置を用いて舌機能を解析する、第 28 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会、2022 年 9 月 23 日、千葉市
3. 片倉朗, 小山 侑, 橋本菜央, 菅原圭亮, 大野啓介, 森川貴迪, 野村武史, 高野正行: シンポジウム「口腔粘膜蛍光観察機器を補助とした舌癌の切除マージンの設定」第 46 回日本頭頸部癌学会 2022 年 6 月 17 日~18 日 奈良県コンベンションセンター
4. 片倉朗: シンポジウム「Oral Cavity・Head and Neck・Prostate・Others」第 60 回日本癌治療学会学術集会 2022 年 10 月 20 日~22 日 神戸国際会議場
5. 片倉朗: 「口腔ケア医療安全管理委員会講演」第 19 回日本口腔ケア学会総会・学術大会 口腔ケア! 次の扉を開けよう! -Next generation Oral Care! Open the next door!- 2022 年 4 月 23 日・24 日
6. 片倉朗: シンポジウム「アカデミアとの連携により進化(深化)する頭頸部癌の診断と治療」第 46 回日本頭頸部癌学会 2022 年 6 月 18 日
7. 片倉朗: シンポジウム「口腔機能低下症を的確に評価してフレイルと低栄養を予防する」 第 76 回 日本口腔科学会学術集会 2022 年 4 月 21 日~23 日 福岡国際会議場

8. 片倉朗：理事長講演/理事長挨拶「口腔科学会のさらなる発展のために、いま行うこと」第 65 回 NPO 法人 日本口腔科学会 中部地方部会学術集会および学術研修会 2022 年 10 月 2 日～10 月 31 日 Web 開催（オンデマンド配信）
9. 河野通良：PPP と口腔内マイクロバイオームとの病態における関連性. 第 74 回日本皮膚科学会西部支部学術大会, 久留米市, 2022,10,23.
10. 河野通良：PPP 患者の口腔内マイクロバイオーム. 第 86 回日本皮膚科学会東京支部学術大会, 東京, 2022,11,19.
11. 小谷地雅秀：成功体験の繰り返し若手口腔外科医のモチベーションをあげる、第 67 回 日本口腔外科学会総会・学術大会, 2022 年 11 月 4～6 日, 幕張メッセ, 抄録集 38 ページ
12. 齋藤淳：塩基性線維芽細胞増殖因子（FGF-2）製剤を使用した歯周組織再生療法, 東京歯科大学リカレント教育セミナー「歯周病」をめぐる基礎と臨床の架け橋 ～「顎骨疾患プロジェクト」と臨床医の医療情報交換～ 7, 第 314 回東京歯科大学学会総会, 2022 年 10 月 15 日, 東京都千代田区, 歯科学報 122:50, 2023.
13. 齋藤淳：歯周組織再生療法の最前線 シンポジウム 1（歯周）歯周病学の不易流行, 日本歯科保存学会 2022 年度春季学術大会（第 156 回）, 2022 年 6 月 16 日～29 日, Web 開催, 日本歯科保存学会 2022 年度春季学術大会（第 156 回）プログラムおよび講演抄録集, p.x, 10.
14. 澁川義幸：「舌」の運動-感覚機能の特殊性、第 10 回 日本病巣疾患研究会 総会・学術大会、令和 4 年 9 月 11 日（東京都）
15. 澁川義幸：高齢者の臨床口腔生理から老年医歯科学を理解する、令和 4 年度 埼玉県歯科医学大会、特別講演 I、令和 5 年 3 月 5 日（深谷市）
16. 澁川義幸：象牙質刺激による感覚情報-象牙質形成機能関連の細胞分子制御 -象牙芽細胞は象牙質形成細胞であると同時に感覚受容細胞である、第 68 回 旭川歯科医師会学術大会、特別講演Ⅲ、令和 4 年 10 月 2 日（旭川市）
17. 澁川義幸：老年医歯科学を理解する高齢者の臨床口腔生理、第 75 回北海道歯科学術大会 特別講演 抄録集、p. 10、令和 4 年 8 月 21 日（札幌市）
18. 新谷誠康：子どもの歯のみかたー行動変容から歯内療法までー、大阪大学歯学部同窓会臨床談話会、2022 年 7 月 24 日、吹田（大阪）
19. 新谷誠康：歯科衛生士が知っておくべき歯の発育とその異常、東京都立心身障害者口腔保健センター 第 2 回歯科衛生士研修会、2022 年 8 月 28 日、新宿区（東京）
20. 新谷誠康：乳歯・幼若永久歯の歯内療法、江戸川区歯科医師会学術講演会、2022 年 7 月 15 日、江戸川区（東京）
21. 新谷誠康：乳歯の歯内療法、市川浦安歯科医師金曜会講演会、2022 年 12 月 17 日、市川（千葉）
22. 高橋有希：「典型的な症状を持たない低ホスファターゼ症を早期診断する意義について」、第 26 回日本病院総合診療医学会学術総会、スポンサードシンポジウム、2023.2.19
23. 田坂彰規：CAD/CAM 技術を応用したパーシャルデンチャーの試み、第 131 回日本補綴歯科学会学術大会・イブニングセッション 5、2022 年 7 月 16 日、グランキューブ大阪
24. 田坂彰規：デジタル技術で製作したダブルクラウンによるオーラルリハビリテーション、第 22 回日本外傷歯学会総会・学術大会・シンポジウム 6、2022 年 7 月 16 日～2022 年 8 月 15 日、横浜（Web 開催）
25. 西井康：Ⅱ級外科症例の安定性について 短期、長期リテンションと不安定要因、第 65 回中・四国矯正歯科学会大会、2022 年 7 月 3 日、広島県民文化センターふくやま
26. 西井康：MTM とアンカースクリュー、東京松風クラブ講演会、2022 年 4 月 20 日、(株)松風 東京支社 8F
27. 西井康：アンカースクリューの安全な運用、第 10 回夏の口唇裂・口蓋裂矯正治療勉強会 特別講演 1、2022 年 8 月 25 日、一橋講堂
28. 西井康：安心・安全な歯科矯正用アンカースクリューの使用 植立、診断、フォースシステムにおける理解とリスクマネジメント、第 81 回日本矯正歯科学会、2022 年 10 月 6 日、大阪国際会議場
29. 西井康：外科的矯正治療から見えてきたもの、大阪大学大学院歯学研究科 大学院特別講義、大阪大学歯学部大講義室、2022 年 10 月 25 日
30. 西井康：外科的矯正治療から見えてきたもの、第 81 回東京矯正歯科学会学術大会、2022 年 7 月 6 日、有楽町朝日ホール
31. 西井康：外科的矯正治療から見えてきたもの、令和 4 年度北海道矯正歯科学会秋期研修会、2022 年 11 月 25 日、北海道歯科医師会館
32. 西井康：外骨格性上顎前突症の外科的矯正治療について臨床から研究へ、第 29 回 JACIDS 特別講演、2022 年 5 月 19 日、オンライン

33. 西井康：骨格性Ⅱ級症例に対する治療戦略 日本人Ⅱ級外科症例の特徴と術後安定性のための方略、第32回日本顎変形症学会シンポジウム、2022年6月10日、朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター
34. 西山明宏：データで見る医原性下歯槽神経・舌神経損傷の実態、神経障害性疼痛関連歯科学会疼痛シンポジウム、2023年3月12日、オンライン
35. 溝口利英：The origin of hard tissue-forming cells: history of research and recent findings、公益法人ときわ会先端医学研究センター (RIIM) 5周年シンポジウム、2022年6月5日、いわき市 (公益財団法人ときわ会 常磐病院)
36. 溝口利英：硬組織形成を司る幹細胞の in vivo 解析、第64回歯科基礎医学会学術大会 メインシンポジウム、2022年9月17日、徳島 (徳島大学)
37. 溝口利英：硬組織形成細胞の供給システム、第7回日本骨免疫学会ウインタースクール BONE シンポジウム、2023年1月31日 飯山市 (斑尾高原ホテル)
38. 溝口利英：骨と歯を調節する間葉系細胞のお話、九州臨床再生歯科研究会、2022年5月11日、(Web開催)
39. 溝口利英：生体内における骨芽細胞供給システムの多様性、広島大学セミナー、2022年11月8日、広島市 (広島大学歯学部)
40. 安松啓子：アンチエイジングと脂肪味、第27回うま味研究助成成果発表会ランチョンレクチャー、2022年1月20日、東京
41. 安松啓子：第六の味覚！脂肪味と健康の関係を知ってアンチエイジング、日本抗加齢医学会「実地医科の為に明日から臨床に役立つ編講習会」、2022年11月23日、日本橋ライフサイエンスハブ、東京
42. 渡邊章：ランチョンセミナー7 我々の顎矯正手術における最新の取り組み、第67回日本口腔外科学会総会・学術大会、2022年11月5日、千葉市 Web, https://jsoms-archives.jp/search/detail_program/id:1773

i) 学会発表 英語発表

1. Aida N, Ohno T, Nakamura T, Saito A, Isram S, Onodera S, Azuma T.: Induction of Hajdu-Cheney syndrome-specific iPS cells to osteoclast. The 74th Annual Meeting of the Japan Society for Cell Biology 2022.6.28.
2. Furusawa Y, Kimura M, Okunishi I, Ouchi T, Kato-Yamada T, Kurashima R, Sugita M, Shibukawa Y, Furusawa M.: Mineralization-promoting ability of Hexaraphane® in human odontoblasts. 2023 AADOCR/CADR Annual Meeting & Exhibition, 2023.3.15-18, Portland, USA. Abstract ID#: 3824195
3. Hisanaga R, Kitamura Y, Yamashita K, Ishihara K, Saito A.: Investigation of a transcriptional-regulator coding gene potentially involved in dentilisin expression. EuroPerio 10, June 15-18, 2022, Copenhagen, Denmark *J Clin Periodontol* 49(S23):144, 2022.
4. Hisanaga R, Kitamura Y, Yamashita K, Ishihara K, Saito A.: Investigation of a transcriptional-regulator coding gene potentially involved in dentilisin expression. 10th Conference of the European Federation of Periodontology, 2022.6.15-18, Copenhagen, *J Clin Periodontol* 49:144, 2022
5. Imamura K, Nakane S, Saito A, Yamano S.: PD-L1 attenuates T cell activation and osteoclast differentiation in periodontitis. EuroPerio 10, June 15-18, 2022, Copenhagen, Denmark *J Clin Periodontol* 49(S23):144, 2022.
6. Ito K, Tasaka A, Nakata S, Yamashita S.: Accuracy of Pure Titanium RPD Frameworks Using Various CAD/CAM Techniques. PER-IADR Oral Health Congress 2022 in Marseille
7. Iwasaki R, Ouchi T, Kimura M, Nishiyama A, Kuroda H, Shibukawa Y, Katakura A.: Intercellular communication between trigeminal ganglion neurons and vascular endothelial cells via Gs coupled receptor axis, 日本生理学会第100回記念大会, 2023年3月14日-16日, 京都市, 日本生理学会第100回記念大会プログラム集, 189, 2023
8. Kaneko R, Ouchi T, Kimura M, Shibukawa Y, Ichinohe T.: Effect of pregabalin on the Merkel cell-neurite complex. 2023 AADOCR/CADR Annual Meeting & Exhibition, 2023.3.15-18, Portland, USA. Abstract Control ID#: 3824284
9. Kasahara M, Someya T, Kagoura H, Hattori M.: Analysis of biological apatite crystal orientation in cortical bone of human hyoid bone using microbeam X-ray diffractometry. International Dental Materials Congress 2022.11.4-5
10. Kato Y, Tasaka A, Uzawa S, Yamashita S.: Evaluation of the Shape Accuracy of Pre-Sintered Co-Cr Alloy Clasps. PER-IADR Oral Health Congress 2022 in Marseille
11. Kimura M and Shibukawa Y.: Intracellular cAMP and Ca²⁺ signaling induced by activation of adenylyl cyclase in human odontoblasts. Neuro2022, 2022.6.30-7.3, 宜野湾市

12. Kimura M, Ouchi T, Kurashima R, Kuroda H, Shibukawa Y: Cyclic-AMP signaling activates $\text{Zn}^{2+}/\text{Gd}^{3+}$ -sensitive Ca^{2+} channels in odontoblasts. 2023 AADOCR/CADR Annual Meeting & Exhibition, 2023.3.15-18, Portland, USA. Abstract ID#: 3822357
13. Kimura M, Shibukawa Y: Intracellular cAMP and Ca^{2+} signaling induced by activation of adenylyl cyclase in human odontoblasts. Neuro2022, 2022 年 6 月 30 日ー7 月 3 日, 宜野湾市, Neuro2022 プログラム集, 1237
14. Kojima K, Akashi Y, Nakajima K, Kokubun K, Shintani S, Matsuzaka K.: Effects of TN-C on Dental Pulp and DPSCs. 52nd AADOCR (American Association for Dental, Oral, and Craniofacial Research)/CADR (Canadian Association for Dental Research) 2023 March 15-18, Portland, USA.
15. Kouno M, Inada J, Minabe M, Akiyama Y, Higa K, Tachikawa T, Nomura T, Takahashi S.: Desmoglein 3 changes gene expression profiles in oral squamous cell carcinoma between anchorage-dependent and -independent conditions. 47th Annual Meeting of Japanese Society for Investigative Dermatology, Nagasaki, Japan. 2022, 12. 3.
16. Kurashima R, Kimura M, Ouchi T, Shibukawa Y.: Functional Coupling Among Piezo1, TRPV1, and TRPA1 in Rat Odontoblasts, 2023 AADOCR/CADR Annual Meeting & Exhibition, Abstract ID#: 3822325, March 15-18, 2023, Portland, USA
17. Kwon S, Ouchi T, Kimura M, Nakamura S, Inoue T, Shibukawa Y, Ichinohe T.: Expression of mechanosensitive ion channels in mesencephalic trigeminal nucleus neurons. 2023 AADOCR/CADR Annual Meeting & Exhibition, 2023.3.15-18, Portland, USA. Abstract ID# 3824158
18. Murakami T, Miyata N, Matsugami D, Bizenjima T, Imamura K, Seshima F, Saito A.: Combined effects of FGF-2+DBBM on periodontal healing of poorly-contained defects. The 108th Annual Meeting of the American Academy of Periodontology in collaboration with the the Japanese Academy of Clinical Periodontology and Japanese Society of Periodontology Oct. 27-30, Phoenix, AZ, USA, Abstracts of JACP/JSP Poster Session, 日歯周誌
19. Nakane-Koyachi S, Imamura K, Murakami T, Hisanaga R, Ishihara K, Saito A.: The potential mechanism of CTLA-4-Ig-mediated osteoclast differentiation. The 108th Annual Meeting of the American Academy of Periodontology in collaboration with the the Japanese Academy of Clinical Periodontology and Japanese Society of Periodontology Oct. 27-30, Phoenix, AZ, USA, Abstracts of JACP/JSP Poster Session, 日歯周誌
20. Ogawa Y., Maekawa S., Imamura K., Ishikawa T.: Supra alveolar periodontal tissue reconstruction in case with severe periodontitis in maxillary anterior teeth: A 1 year follow-up of case report. 10th Conference of the European Federation of Periodontology, 2022.6.15-18, Copenhagen. *J Clin Periodontol* 49:303,2022
21. Rather S, Tasaka A, Schwindling FS, Rammelsberg P, Yamashita S, Zenthöfer A, Rues S.: Bonding of Composite to Fiber-Reinforced Resin – Effect of Fiber Orientation. PER-IADR Oral Health Congress 2022 in Marseille
22. Sakamoto T, Okayasu M, Sasaki A, Tsuchimochi T, Nagahama R, Kondo S, Yamamoto Oonishi Y, Mori H, Morishita T, Takahashi I, Ishii T, Miyazaki H, Suda N, Susami T, Saito I. Survey of orthodontic and surgical treatment in team care for patients with hemifacial microsomia. 14th International Cleft Congress. Onsite Only, July 13, 2022. Edinburgh.
23. Seshima F, Hayashi T, Saito A.: Periodontal regenerative therapy using FGF-2: a 3-year follow-up case report. The 108th Annual Meeting of the American Academy of Periodontology in collaboration with the the Japanese Academy of Clinical Periodontology and Japanese Society of Periodontology Oct. 27-30, Phoenix, AZ, USA, Abstracts of JACP/JSP Poster Session, 日歯周誌
24. Shibukawa Y, Kimura M, Ouchi T, Kurashima R, Kuroda H.: Plasma membrane Ca^{2+} -ATPase in odontoblasts mediates dentinogenesis. 2023 AADOCR/CADR Annual Meeting & Exhibition, Abstract ID# 3822350, March 15-18, 2023, Portland, USA
25. Watanabe A: Aesthetic procedures in orthognathic surgery. International Bone Research Association (IBRA) Basic-Intermediate/ Fellow Course, Orthognathic Surgery, 3-4th Dec, 2022 Yokohama, Japan, International Bone Research Association Basic,;9, 2022
26. Watanabe A: Precautions when selecting the material to be fixed in mandible (Ti or Absorb) International Bone Research Association (IBRA) Basic- Intermediate/ Fellow Course Orthognathic Surgery, 3-4th Dec, 2022, Yokohama, Japan, International Bone Research Association Basic,;5, 2022
27. Watanabe A: Surgery first – surgical aspects. International Bone Research Association (IBRA) Basic- Intermediate/ Fellow Course. Orthognathic Surgery, 3-4th Dec, 2022, Yokohama, Japan, International Bone Research Association Basic,;4, 2022
28. Yamashita K, Kitamura Y, Hisanaga R, Kikuchi Y, Kokubu E, Namba T, Ishihara K, Saito A.: Characterization of the genes associated with stress response in *Treponema denticola*. The 108th Annual Meeting of the American Academy of Periodontology in collaboration with the the Japanese Academy of Clinical Periodontology and

Japanese Society of Periodontology Oct. 27-30, Phoenix, AZ, USA, Abstracts of JACP/JSP Poster Session, 日歯周誌

29. Yoshida A, Ariizumi T, Kogou T, Kato H, Ohno K, Watanabe A, Takano M.: A case of myoepithelioma in the upper lip. 15th Asian Congress of Oral and Maxillofacial Surgery, 2022.5.26. ハイブリッド開催.
30. Zhifeng H, Mizoguchi T, Hiraga T, Nakamichi Y, Yamashita T, Koide M, Udagawa N, Kobayashi Y.: Macrophages promote bone regeneration through the activation of LepR (+) cells、第 64 回歯科基礎医学学会学術大会、2022 年 9 月 17-19 日 徳島 (徳島大学)

日本語発表

1. 間奈津子、大野建州、中村貴、齋藤 暁子、小野寺晶子、加藤宏、青木栄人、東俊文 : Hajdu-Cheney 症候群疾患特異的 iPS 細胞を用いた破骨細胞分化誘導. 第 54 回日本臨床分子形態学会総会・学術集会, 2022.11.4-5
2. 青木栄人 : Periodontal surgery using rhFGF-2 with deproteinized bovine bone mineral or rhFGF-2 alone : 2-year follow-up of a randomized controlled trial. (学長奨励研究賞講演) 第 313 回東京歯科学会・例会, 2022 年 6 月 4 日, 東京都, 歯科学報, 122:224, 2022
3. 青木理佐, 中島純子, 鈴木美紅, 財津愛, 大屋朋子, 酒井克彦, 松浦信幸 : 入院期間の長期化による二次性サルコペニアと口腔機能低下に関する検討. 日本歯科衛生士学会第 17 回学術大会 2022.9.18-10.31 Web 開催
4. 明石良彦, 山本圭, 中島啓, 國分克寿, 下尾嘉昭, 松坂賢一 : ジルコニアのエキシマ紫外線処理が L929 の初期接着に及ぼす影響(Effect of excimer ultraviolet treatment of zirconia on initial attachment of L929). 第 64 回歯科基礎医学学会学術大会, 2022 年 9 月 17 日～19 日, 徳島市
5. 明石良彦, 松坂賢一, 伊藤由美, 坂本啓, 佐藤由紀子, 石川文隆, 河内洋, 藤井誠志, 辺見卓男, 道泰之, 野村武史, 八木原一博, 蒔生田整治, 館原誠晃, 関川翔一, 相馬智也, 里見貴史, 猪俣徹, 山城正司, 柳下寿郎 : 「口腔表在癌取扱い指針」の作成を目指して—舌表在性病変の臨床病理学的検討—, 第 41 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会、2023 年 1 月 26 日～2 月 28 日、WEB 開催 Live & On-demand
6. 秋山友理恵, 稲田潤一郎, 三邊正樹, 野村武史 : 掌蹠膿疱症患者の臨床経過と唾液マイクロバイオームとの関連、第 76 回 NPO 法人日本口腔科学会、2022 年 4 月 21 日～23 日、福岡国際会議場・オンデマンド
7. 明由理亜, 秋山友理恵, 三邊正樹, 有川風雅, 西原孝博, 渡邊奈和, 坂部茉奈, 鶴見惇, 橋本和彦, 松浦信幸, 高橋慎一, 河野通良, 野村武史 : 乳酸菌 EF-2001 により潰瘍性大腸炎と口腔扁平苔癬が改善した 1 例、第 35 回日本口腔診断学会・第 32 回日本口腔内科学会・第 33 回日本臨床口腔病理学会 3 学会合同学術大会、2022 年 9 月 23 日～24 日、札幌市教育文化会館
8. 東俊文, 齋藤暁子, 間奈津子, 岡田寛之, 北條宏典, 大庭伸介, 長山和亮, Islam Shajedul, 中村貴 : 骨芽細胞核膜 LaminA と Linc タンパク質発現を Runx2 が制御シクロマチン動態と骨芽細胞分化を制御する—鎖骨頭蓋骨異形成症のラミノパチーとしての新規病態メカニズム. 第 40 回日本骨代謝学会学術集会, 2022.7.22-23
9. 東俊文, 齋藤 暁子, 間奈津子, 岡田寛之, 北條宏典, 大庭伸介, 長山和亮, Islam Shajedul, 中村貴 : 骨芽細胞 核膜 LaminA と Linc タンパク質発現を骨芽細胞特異的転写因子 Runx2 が制御シクロマチン動態と骨芽細胞分化を制御する, 第 74 回日本細胞生物学会大会, 2022.06.28-30.
10. 阿部江美子, 大野啓介, 有泉高晴, 村松健太郎, 脇田一郎, 片倉朗, 高野正行 : 第 23 回日本口腔顎顔面外傷学会総会・学術大会 2022 年 7 月 22 日～23 日 立川市
11. 雨宮剛, 黄地健仁, 木村洋朗, 岩本卓士, 名越慈人, 芝田晋介, 中村雅也 : NCAM 陽性ヒト iPS 細胞由来純化神経堤様細胞移植による末梢神経再生の可能性. 第 33 回日本末梢神経学会学術集会、2022 年 9 月 9 日 (金)、10 日 (土). 第 33 回日本末梢神経学会学術集会プログラム・抄録集、45
12. 新居由紀, 今井裕樹, 新谷誠康 : 2 歳女兒の口腔内にみられた乳歯過剰歯の 1 例. 第 37 回日本小児歯科学会関東地方会、2022.10.16、取手 (茨城)
13. 有川風雅, 鶴見惇, 秋山友理恵, 明由理亜, 坂部茉奈, 三邊正樹, 橋本和彦, 河野通良, 高橋慎一, 野村武史 : 口腔扁平苔癬に合併した膿毒性肉芽腫の 2 例、第 67 回(公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会、2022 年 11 月 4 日～6 日、幕張メッセ・オンデマンド
14. 有川風雅, 平賀智豊, 小松万純, 齋藤大幹, 亀本滉樹, 吉田佳史, 飯村慈朗, 中島庸也, 松浦信幸, 野村武史 : 東京歯科大学市川総合病院における閉塞性睡眠時無呼吸患者の臨床統計的検討、第 21 回日本睡眠歯科学会総会・学術集会、2022 年 11 月 18 日～20 日、万国津梁館

15. 安藤雄太郎, 塚崎雅之, 山口朗, 石原和幸, 高柳広: 免疫—血管—骨の他臓器システム関連を基軸とした血管石灰化の病態解明.第 313 回東京歯科大学学会・例会 2022.6.4, web 開催
16. 飯田雄太, 亀田行雄, 田坂彰規, 山下秀一郎: デジタルパーシャルデンチャー —口腔内スキャニングとオルタードキャスト法の応用—, 日本補綴歯科学会第 131 回学術大会、2022 年 7 月 17 日、大阪府
17. 飯干由茉, 竜正大, 山下秀一郎, 上田貴之: 患者のモチベーション向上を中心とした歯科衛生士のアプローチが口腔機能管理の継続につながった症例. 日本老年歯科医学会第 33 回学術大会 2022 年 6 月 12 日, 新潟市
18. 五十嵐章智, 駒田朋昭, 三友啓介, 村松敬: 歯髄血管再生療法の治癒過程における Type H 毛細血管の変化、第 156 回日本歯科保存学会、令和 4 年 6 月 16-29 日、Web
19. 池谷侑, 小郷直之, 渡邊 章, 吉田秀児, 大野啓介, 加藤宏, 有泉高晴, 高野正行, 片倉朗: 顔面非対称患者に 3D デバイスを利用し生体内吸収性プレートで骨接合を施行した 1 例、第 32 日本顎変形症学会総会・学術大会、2022 年 6 月 9 日-10 日, 新潟市, ハイブリッド開催
20. 石井沙也加、秋山友理恵、宮崎彩椰、青木理佐、財津愛、大屋朋子、野村武史、松浦信幸、中島隆裕、小坂橋俊哉: 当院呼吸サポートチームにおける歯科衛生士の活動報告および客観的指標を用いた口腔衛生管理の有効性に関する検討、第 313 回東京歯科大学学会・例会、2022 年 6 月 4 日、血脇ホール
21. 石井武展、坂本好昭、大城貴史、坂本輝雄、有泉大、森川泰紀、西井康、貴志和生: 成長期片側顔面単純性血管腫を有する患者の矯正歯科治療について、第 40 回日本顎蓋顎顔面外科学会学術集会、2022.11.17-18、名古屋市
22. 石川昂, 中村安孝, 三浦優奈, 小野魁星, 橋本正次: 咬傷部の唾液を用いた DNA 型鑑定の信頼性に関する検討、第 106 次日本法医学会学術全国集会、2022, 愛知県
23. 石川早紀、三邊正樹、西原孝博、明由里亜、鶴見惇、坂部茉奈、秋山友理恵、橋本和彦、松浦信幸、河野通良、野村武史: COVID-19 ワクチン接種後に Orofacial granulomatosis の症状増悪をきたした 1 例、第 214 回日本口腔外科学会関東支部学術集会、2022 年 12 月 10 日、フクラシア八重洲・ハイブリッド
24. 石川文隆、伊藤由美、坂本啓、佐藤由紀子、明石良彦、松坂賢一、河内洋、藤井誠志、辺見卓男、道泰之、野村武史、八木原一博、蒔生田整治、館原誠晃、関川翔一、相馬智也、里見貴史、猪俣徹、山城正司、柳下寿郎: 口腔表在癌の病理組織診断の現状と問題点について、第 41 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会、2023 年 1 月 26 日～2 月 28 日、WEB 開催 Live & On-demand
25. 石川曉美, 栗林伸之, 辻吉純, 梅原一浩, 木村峻輔, 椎貝誠, 四ツ谷護, 関根秀志: 上顎大臼歯 1 歯中間欠損に熱可塑性樹脂材アバットメントを用いて上部構造を製作した 1 症例 熱可塑性樹脂材アバットメントの有用性について、日本口腔インプラント学会 第 42 回東北・北海道支部学術大会 弘前 2022 年 11 月 12 日-13 日.
26. 石口恭子、和田大岳、松元秀樹、井上綾、佐藤仁美、高際睦、阿部修、田邊宏樹、後藤多津子: 塩味における高齢者と若年者の認知の違いについて-官能評価及び脳活動- NPO 法人日本歯科放射線学会 第 235 回 関東地方会 2023.2.18, web 開催
27. 市原有美, 山本圭, 明石良彦, 中島啓, 國分克寿, 音成実佳, 高野正行, 松坂賢一: 下顎右側前歯部に認められた Regional odontodysplasia 周囲組織の組織学的検討. 第 32 回日本口腔内科学会・第 33 回日本臨床口腔病理学会・第 35 回日本口腔診断学会合同学術大会、2022 年 9 月 23 日～24 日, 札幌市
28. 伊東紘世、小林裕、田坂彰規、仲田誠一、橋本匡史、山下秀一郎: CAD/CAM 純チタン局部床義歯フレームワークの製作法が金属結晶構造に及ぼす影響、日本補綴歯科学会東京支部総会・第 26 回学術大会、2022 年 12 月 18 日、東京都
29. 伊東紘世、田坂彰規、小林裕、仲田誠一、山下秀一郎: CAD/CAM 製法の違いが純チタン局部床義歯フレームの形状と表面粗さに及ぼす影響、日本補綴歯科学会第 131 回学術大会、2022 年 7 月 16 日、大阪府
30. 伊藤慎一郎、笠原典夫、北村啓、松永智、溝口利英、笠原正貴、山口朗: 抜歯窩と大腿骨骨欠損の骨治癒過程における病理学的差異、第 64 回歯科基礎医学会学術大会、2022 年 9 月 17-19 日 徳島 (徳島大学)
31. 伊藤太一、小田由香里、安岡はるか、高村仁嘉、古川丈博、古谷義隆、佐々木穂高、関根秀志: 術者可撤式フルアーチテレスコープ固定性上部構造によるインプラント治療長期症例、第 52 回日本口腔インプラント学会学術大会、2022 年 9 月 23-25 日, 名古屋市
32. 伊藤真麻、浦本佳奈、海老澤朋宏、安村敏彦、末石研二、西井康: 東京歯科大学水道橋病院矯正歯科への転院患者における現状と問題点、第 81 回日本矯正歯科学会、2022.10.5-7
33. 五十嵐章智, 駒田朋昭, 増山絢子, 田代憲太朗, 三友啓介, 村松敬: 歯髄血管再生療法の治癒過程での神経組織の変化、第 157 回日本歯科保存学会、令和 4 年 11 月 10,11 日、岡山

34. 今井琴子、山本将仁、橋本圭史、高木貴博、山本悠太郎、廣内英智、松永智、北村 啓、阿部伸一：下咽頭・食道接合部における筋束の構成に関する組織学的検索、第 314 回東京歯科大学学会（総会）、2022 年 10 月 15 日、東京歯科大学水道橋校舎新館
35. 今村健太郎、青木栄人、稲垣寛、齋藤淳：歯肉のバイオタイプが薄い患者における複数歯に及ぶ歯肉退縮に対して根面被覆術を行った一症例、第 65 回秋季日本歯周病学会学術大会、2022 年 9 月 2 日、仙台市、日本歯周病学会誌、64 (秋季特別号) :50, 137, 2022
36. 今村健太郎、吉田航、中根咲、吉川幸輝、齋藤淳：ヒト胎盤由来羊膜・絨毛膜メンブレン (HACM) の応用が歯周組織再生に及ぼす影響、第 313 回東京歯科大学学会例会、2022 年 6 月 4 日 (Web 開催)、東京都千代田区、歯科学報 122:235, 2022.
37. 今村健太郎、小谷地 (中根) 咲、村上侑、齋藤淳：歯周炎における PD-1/PD-L1 機構を介した破骨細胞分化調節機構の解明、日本歯科保存学会 2022 年度秋季学術大会 (第 157 回)、2022 年 11 月 10 日～11 日、岡山県、日本歯科保存学会 2022 年度秋季学術大会 (第 157 回) プログラムおよび講演抄録集、p.59.
38. 色川大輔、備前島崇浩、今村健太郎、渡邊直子、浅井裕之、富田幸代、齋藤淳：薬物性歯肉増殖症を伴う歯周炎に対し歯槽骨切除を含むフラップ手術を行った 5 年経過症例、第 65 回春季日本歯周病学会学術大会、2022 年 6 月 4 日、東京都新宿区、日歯周誌 64 (春季特別号) : 56, 145, 2022.
39. 岩崎亮、黄地健仁、西山明宏、木村麻記、黒田英孝、澁川義幸、片倉朗：血管内皮細胞のカルシトニン受容体様受容体を介した細胞内 cAMP レベルの活性化と軸索反射メカニズム解明への取り組み、東京歯科大学学会、2022 年 6 月 4 日、オンライン
40. 岩崎亮、西山明宏、音成実佳、有泉高晴、田中斉、佐藤仁美、中島啓、菅原圭亮、松坂賢一、高野正行、片倉朗：神経修復術から得た外傷性神経腫の超音波の 1 例、第 26 回口腔顔面神経機能学会プログラム、2023 年 3 月 20 日、オンライン
41. 岩崎美友、佐藤涼一、杉原直樹：アパタイトコーティングによる象牙質耐酸性強化法の検討。第 71 回日本口腔衛生学会・総会、2022.5.13-27, ハイブリット開催
42. 岩崎美友、佐藤涼一、杉原直樹：アパタイトコーティングによる象牙質耐酸性向上の検討。第 30 回硬組織再生生物学会・総会、2022.8.26-27, ハイブリット開催
43. 岩崎美友、佐藤涼一、杉原直樹：バイオアパタイト歯面塗布法による象牙質耐酸性の検討 (Effect of dentin acid resistance by topical fluoride application with nano-sized alpha-tricalcium phosphate.) 第 64 回歯科基礎医学会学術大会、2022.09.17-19, ハイブリット開催
44. 岩崎亮、黄地健仁、西山明宏、木村麻記、黒田英孝、澁川義幸、片倉朗：血管内皮細胞における CGRP 受容体の発現と受容体活性化による細胞内 cAMP レベルの動態解析。第 64 回歯科基礎医学会学術大会、2022 年 9 月 17 日～19 日、徳島市。Journal of Oral Bioscience Supplement, 195, 2022
45. 岩崎亮、黄地健仁、西山明宏、木村麻記、黒田英孝、澁川義幸、片倉朗：血管内皮細胞のカルシトニン受容体様受容体を介した細胞内 cAMP レベルの活性化と軸索反射メカニズム解明への取り組み。第 313 回東京歯科大学学会・例会、2022 年 6 月 4 日、東京 (Web 開催)
46. 岩崎亮、黄地健仁、木村麻記、西山明宏、黒田英孝、澁川義幸、片倉朗：三叉神経節ニューロン-血管内皮細胞シグナル伝達系：cAMP 動態解析。Intercellular communication between trigeminal ganglion neurons and vascular endothelial cells via G_s coupled receptor axis。日本生理学会第 100 回記念大会、2023 年 3 月 14 日～16 日、京都市。日本生理学会第 100 回記念大会プログラム集、189, 2023
47. 岩崎亮、西山明宏、音成実佳、有泉高晴、田中斉、佐藤仁美、中島啓、菅原圭亮、松坂賢一、高野正行、片倉朗：神経修復術から得た外傷性神経腫の超音波所見の 1 例 第 25 回口腔顔面神経機能学会総会・学術大会、2023 年 3 月 4 日 オンデマンド開催
48. 岩澤弘樹、江澤奈穂、倉持仁、山本圭、明石良彦、中條貴俊、中島啓、國分克寿、古澤成博、松坂賢一：BMP-7 によるヒト歯根膜線維芽細胞のセメント芽細胞への分化制御。第 313 回東京歯科大学学会・例会、2022 年 6 月 4 日、Web 開催
49. 上野紗璃、齋藤寛一、小松万純、平賀智豊、三邊正樹、鈴木大貴、吉田佳史、森川貴迪、酒井克彦、山本雅絵、成田真人、中島純子、松浦信幸、野村武史：東京歯科大学市川総合病院歯科・口腔外科における過去 5 年間の全身麻酔手術症例の調査、第 314 回 東京歯科大学学会 (総会)、2022 年 10 月 15 日・16 日、血協ホール
50. 潮美沙子、中野遼太郎、小笠原龍一、林祥太、法月良江、古谷義隆、伊藤太一、佐々木穂高：埋入済みインプラントと新規埋入インプラントとの連結固定による補綴処置の長期経過症例、第 42 回日本口腔インプラント学会関東・甲信越支部学術大会 2023 年 2 月 18 日、19 日、松本市
51. 浦本佳奈、伊藤真麻、安村敏彦、海老澤朋宏、末石研二、西井康：東京歯科大学水道橋病院矯正歯科における新規来院患者の動向について、第 81 回日本矯正歯科学会、2022.10.5-7

52. 江口貴子、岩澤菜々恵、高倉枝里子、中田悠、多田美穂子、永井由美子、白鳥たかみ、菅野亜紀、片田英憲、安松啓子、杉戸博記、佐藤亨、鳥山佳則：東京歯科大学短期大学におけるオープンキャンパスの現状と今後の展望、第314回東京歯科大学学会（総会）、2022年10月15日、東京歯科大学
53. 江澤奈穂、明石良彦、中島啓、國分克寿、松坂賢一、古澤成博：髄床底穿孔部におけるケイ酸カルシウムセメント(Biodentine)の歯根膜組織の骨形成能に関する in vitro、in vivo 的探索(Mineralization ability of calcium silicate cement (Biodentine) on periodontal ligament tissue in perforated floor of pulp chamber). 第64回歯科基礎医学会学術大会、2022年9月17日～19日、徳島市
54. 江澤明穂、小松万純、青木勇介、森川貴迪、橋本和彦、吉田佳史、中島純子、酒井克彦、野村武史、松浦信幸：頬粘膜に生じた孤立性線維性腫瘍の2例、第213回（公社）日本口腔外科学会関東支部学術集会 2022年5月21日、CrossTransit 航空会館・WEB
55. 黄地健仁、倉島竜哉、木村麻記、溝口利英、澁川義幸：Regulatory mechanism of the ER-stress sensor proteins in odontoblast regeneration、歯の発生と再生に関する国際セミナー、2023年3月7日～8日、花巻市、International Seminar on Tooth Development and Regeneration プログラム集2
56. 黄地健仁、倉島竜哉、木村麻記、溝口利英、澁川義幸：歯髄における NG2 陽性細胞の同定と象牙芽細胞への運命移行。第313回東京歯科大学学会・例会、2022年6月4日、東京（Web 開催）
57. 黄地健仁、倉島竜哉、木村麻記、黒田英孝、溝口利英、澁川義幸：歯の発生期と象牙芽細胞再生時における NG2 陽性細胞の挙動。第64回歯科基礎医学会学術大会、2022年9月17日～19日、徳島市。Journal of Oral Bioscience Supplement, 300, 2022
58. 黄地健仁、倉島竜哉、木村麻記、澁川義幸：Pericyte 由来 Piezo1 陽性象牙芽細胞の同定。第76回日本口腔科学会学術集会、2022年4月21日～23日、福岡市。第76回日本口腔科学会学術集会プログラム抄録集、p222
59. 大川敬介、松永智、笠原典夫、笠原正彰、西井康：プラズマ表面処理を行った歯科矯正用アンカースクリューに側方応力を加えた際の骨反応の解析：第314回東京歯科大学学会・例会 2022.10.15-16、東京。
60. 大川啓介、松永智、阿部伸一、西村達郎、岡林宏樹、西井康：プラズマ表面処理を行った歯科矯正用アンカースクリューに側方応力を加えた際の骨反応の解析、第81回東京矯正歯科学会学術大会、2022.7.6-7
61. 大久保真衣、杉山哲也、柴原孝彦、石田瞭：摂食嚥下機能障害患者に対し訪問診療で抜歯を行った症例、第33回日本老年歯科医学会総会・学術大会、2022年6月11～12日、新潟市
62. 大久保真衣：連携病院への摂食嚥下リハビリテーション訪問診療の臨床統計、第33回日本老年歯科医学会総会・学術大会、2022年6月11～12日、新潟市
63. 太田慧、小田由香里、三浦直、平野友基、佐々木穂高、伊藤太一、飯島俊一、関根秀志：インプラント-アバットメント間の細菌漏洩における新規エクスターナルテーパーロックシステムの評価、第52回日本口腔インプラント学会学術大会、2022年9月23-25日、名古屋市
64. 太田慧、小田由香里、三浦直、平野友基、佐々木穂高、伊藤太一、飯島俊一、関根秀志：新規エクスターナルテーパーロックシステムを用いた細菌漏洩の評価、第42回日本口腔インプラント学会関東・甲信越支部学術大会 2023年2月18日、19日、松本市
65. 太田大聖、櫻井敦朗、本間宏実、永井宜子、樺澤由佳李、新谷誠康：小児齲蝕リスクの高い口腔内細菌叢は、歯科治療や指導を通じて改善できるのか？ 第60回日本小児歯科学会、2022年5月19日、千葉県。
66. 太田緑、竜正大、高野智史、堀部耕広、石田晃裕、齋藤壮、上田貴之：健常若年者の口腔機能検査結果と過去の報告との比較。第313回東京歯科大学学会・例会、2022年6月4日、web 開催
67. 太田健太郎、森瑞貴、立木千恵、飯島由貴、山本雅絵、高木多加志、高野正行、片倉朗、西井康：骨格性上顎前突症に対する外科的矯正治療の長期的変化。第32回日本顎変形症学会 総会・学術大会 2022年6月9日～10日 新潟市 ハイブリット開催
68. 太田健太郎、立木千恵、森瑞貴、飯島由貴、山本雅絵、高木多加志、高野正行、片倉朗、西井康：骨格性上顎前突の外科的矯正治療後の10年以上の長期変化、第81回日本矯正歯科学会、2022.10.5-7
69. 大塚景子、鈴木智美、佐藤雄大、梅原一浩、黒田政道、黒田政俊、四ツ谷護、関根秀志：咬合音測定器および咬合力測定器を用いてジルコニア製上部構造装着した1症例、日本口腔インプラント学会 第42回東北・北海道支部学術大会 弘前 2022年11月12日-13日。
70. 大鶴光信、長谷川巧実、明石昌也、山川延宏、桐田忠昭、大倉正也、山田慎一、栗田浩、平井英治、山本晃三、猪俣徹、里見貴史、齋藤寛一、野村武史、三浦桂一郎、古川浩平、鳴瀬智史、柳本惣市、梅田正博：多施設後向き試験による早期舌癌における手術断端距離の検討、第67回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会、2022年11月4日～6日、幕張メッセ・オンデマンド

71. 大野建州、東俊文：Translocator Protein (TSPO)は接触過敏症病態を抑制的に制御する．第 74 回日本細胞生物学会大会 2022.6.28-30, 東京都
72. 大平真理子、田坂彰規、加藤芳実、鎌田聡仁、岡野日奈、和達重郎、山下秀一郎：顔面スキャニングを応用した局部床義歯設計実習改善の試み、第 314 回東京歯科大学学会総会、2022 年 10 月 16 日、東京都
73. 岡弘貢、伊藤慎一郎、松永智、森田純晴、野口拓、笠原典夫、西田大輔、佐々木穂高、矢島安朝、溝口利英：歯根膜に存在するレプチン受容体陽性細胞の性状解析について、第 313 回東京歯科大学学会（総会）、2022 年 6 月 4 日、東京歯科大学水道橋校舎新館（オンライン）
74. 岡野日奈、田坂彰規、松永智、和達重郎、服部雅之、山下秀一郎：金属積層造形で付与した内部構造がコバルトクロム合金の機械的特性に及ぼす影響、日本補綴歯科学会第 131 回学術大会、2022 年 7 月 16 日、大阪府
75. 岡本雄紀、大野啓介、有泉高晴、小郷直之、加藤宏、本間宏実、吉田秀児、渡邊章、片倉朗、高野正行：下顎大臼歯部に発生した孤立性歯原性嚢胞の感染による外歯瘻の 1 例、第 34 回日本小児口腔外科学会総会・学術大会、2022 年 10 月 21 日、東京都、小児口腔外科、32:194, 2022
76. 岡林宏樹、松永智、笠原典夫、立木千恵、西村達郎、大川敬介、阿部伸一、西井康：側方応力を加えた歯科矯正用アンカースクリュー周囲骨のミクロ構造特性、第 81 回日本矯正歯科学会、2022.10.5-7
77. 小川千春、菅原圭亮、小山侑、栗原智尋、橋本菜央、品川翔太、岡崎寛弥、片倉朗：扁平上皮癌患者における PD - L1 の発現は他の予測マーカーと関連するか 第 41 回日本口腔腫瘍学会総会学術大会 2023 年 1 月 26 日～2 月 28 日 ハイブリッド開催
78. 小川拓洋、西山明宏、小川内香帆、品川翔太、片倉朗：アロディニアを併発した急性下顎骨骨髓炎の 1 例 第 32 回日本口腔内科学会 第 33 回日本臨床口腔病理学会 第 35 回日本口腔診断学会 3 学会合同学術大会 2022 年 9 月 23 日～24 日 札幌市
79. 小川内香帆、小谷地雅秀、加藤彬禎、小山拓洋、栗原智尋、片倉朗：習慣性顎関節症脱臼に対し患者背景を考慮して頬骨突起形成術を施行した一例 第 23 回日本口腔顎顔面外傷学会総会・学術大会 2022 年 7 月 22 日～23 日、立川市
80. 奥村知里、大久保真衣、山本将仁、杉山哲也、石田瞭、阿部伸一：超音波診断装置を用いた口輪筋辺縁形態の評価および口唇の測定、第 314 回東京歯科大学学会（総会）2022 年 10 月 16 日、千代田区
81. 奥山喬介、塩飽由香利、濱井瞭、溝口利英、土屋香織、鈴木治：骨髓由来間葉系幹細胞の分化と骨再生に及ぼすリン酸八カルシウムの効果、第 44 回日本バイオマテリアル学会大会、2022 年 11 月 21-22 日 東京都（タワーホール船堀）
82. 小倉基、田中俊昭、野村武史：当院における骨吸収抑制薬関連顎骨壊死の治療法と治療成績に関する検討、第 67 回(公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会、2022 年 11 月 4 日～6 日 幕張メッセ・オンデマンド
83. 小田由香里、牧野将大、四ツ谷護、武田孝之、関根秀志：インプラント支持型固定性補綴装置の対合歯の喪失傾向分析 追跡期間 10-15 年、日本補綴歯科学会 第 131 回学術大会 大阪 2022 年 7 月 16-17 日、
84. 小野岳人、傳田良亮、塚原悠太、中村貴、岡本一男、高柳広、中島友紀：運動模倣薬 LAMZ による筋と骨の強化。第 8 回日本筋学会学術集会 2022.8.6, 東京都
85. 笠原正彰、染屋智子、籠浦弘城、棟方里花、服部雅之：異なる接着性レジンセメントと表面処理が PEKK-根管象牙質間の接着強さに及ぼす影響、第 79 回日本歯科理工学会 2022.5.21-22
86. 片倉朗、小山侑、橋本菜央、菅原圭亮、大野啓介、森川貴迪、野村武史、高野正行：アカデミアとの連携により進化(深化)する頭頸部癌の診断と治療 口腔粘膜蛍光観察機器を補助とした舌癌の切除マージンの決定、第 46 回日本頭頸部癌学会、2022 年 6 月 18 日～19 日、奈良県コンベンションセンター・オンデマンド開催
87. 片山正輝、酒井克彦、小松万純、中島純子、稲野朝実、伊藤陽子、小倉麻栄、松本宣子、酒井未央、林瑤子、松田弘美：脳卒中患者に対する栄養療法の工夫 口腔機能管理と嚥下評価 嚥下訓練、オーダメイド栄養療法。第 37 回日本臨床栄養代謝学会学術大会 2022.5.31-6.1 横浜 ハイブリッド
88. 片山正輝、小松万純、中島純子、酒井克彦：急性期脳卒中患者における摂食嚥下機能と側頭筋萎縮の関連性の検討。第 37 回日本臨床栄養代謝学会学術大会 2022.5.31-6.1 横浜 ハイブリッド
89. 勝田真央、立木千恵、小鹿模子、山本雅絵、高木多加志、片倉朗、高野正行、西井康：骨格性下顎前突症患者の外科的矯正治療における OQLQ の長期的変化。第 32 回日本顎変形症学会 総会・学術大会 2022 年 6 月 9 日～10 日 新潟市 ハイブリッド開催
90. 加藤禎彬、西山明宏、立澤孝太郎、小山侑、小谷地雅秀、山本圭、國分克寿、片倉朗：カッティングデバイスを用いて上顎に発生した kissing molars class3 を抜歯した 1 例、第 67 回 日本口腔外科学会総会・学術大会、2022 年 11 月 4～6 日、幕張メッセ、抄録集 91 ページ

91. 加藤雄人、田坂彰規、鶴澤忍、山下秀一郎：半焼結コバルトクロム合金ディスクを用いて製作したクラスプの精確さの検証、日本補綴歯科学会第131回学術大会、2022年7月17日、大阪府
92. 角田航、松永智、大津雄人、佐々木穂高、阿部伸一、関根秀志、矢島安朝：ラットの抜歯窩および歯槽骨周辺における知覚神経枝の再生：第40回日本口腔インプラント学会九州支部学術大会、2023年1月21、22日、福岡市
93. 角田航、松永智、大津雄人、北村啓、佐々木穂高、阿部伸一、関根秀志、矢島安朝：抜歯窩および歯槽骨周辺における知覚神経枝の再生、第52回日本口腔インプラント学会、2022年09月23～25日、愛知県名古屋
94. 金子瑠実、黄地健仁、木村麻記、澁川義幸、一戸達也：ヒトMerkel細胞におけるPiezo1チャネルの機能的発現、第64回歯科基礎医学会学術大会、2022年9月17日～19日、徳島市、Journal of Oral Bioscience Supplement, 186, 2022
95. 金平智恵美、谷口修一郎、杉山雄紀、関谷紗世、渡辺元次、高木貴博、廣内英智、山本将仁、松永智、比嘉一成、阿部伸一：外眼筋起始部の組織形態学的検索ー共通の基点となる腱性環状組織についてー、第313回東京歯科大学学会（総会）、2022年6月4日、東京歯科大学水道橋校舎新館（オンライン）
96. 上川床俊彦、四ツ谷護、黒田祥太、川崎貴裕、石束勲、山本将仁、阿部伸一、関根秀志：関節円板部分切除によるマウス下顎頭軟骨の初期変化、日本補綴歯科学会第131回学術大会大阪2022年7月16-17日.
97. 上川床俊彦、四ツ谷護、大和田碧、関根秀志：関節円板部分切除を施したマウス下顎頭軟骨におけるアスプリン初期変化、日本顎関節学会第35回学術学会札幌2022年7月2-3日.
98. 上川床俊彦、四ツ谷護、大和田碧、石束勲、笠原正貴、山本将仁、阿部伸一、関根秀志：変形性顎関節症モデルマウスにおける下顎頭形態およびAsporinの初期変化、東京歯科大学学会第314回学術大会・総会東京2022年10月15日.
99. 亀本滉樹、小松万純、深田美緒、有川風雅、齋藤大幹、平賀智豊、吉田佳史、塚本裕介、野村武史、松浦信幸：多数歯欠損の閉塞性睡眠時無呼吸症例に対し咬合床を用いて作製した口腔内装置治療の取り組み、第21回日本睡眠歯科学会総会・学術集会、2022年11月18日～20日、万国津梁館
100. 北山えり、木村麻記、黄地健仁、澁川義幸、古澤成博：ヒト象牙芽細胞におけるIP₃, 5-HT₄, D₁, A_{2A}, VIP受容体の機能的発現. 第313回東京歯科大学学会・例会, 2022年6月4日, 東京（Web開催）
101. 木村麻記、黄地健仁、倉島竜哉、黒田英孝、安藤正之、河野恭佑、野村幸恵、澁川義幸：象牙芽細胞のアデニル酸シクラーゼ活性化はZn²⁺感受性Ca²⁺チャネルを介したCa²⁺流入を誘発する. 第64回歯科基礎医学会学術大会、2022年9月17日～19日、徳島市. Journal of Oral Bioscience Supplement, 338, 2022
102. 木村麻記、黄地健仁、澁川義幸：ヒト象牙芽細胞におけるcyclic AMP誘発性Ca²⁺流入経路の検討. 第76回日本口腔科学会学術集会、2022年4月21日～23日、福岡市. 第76回日本口腔科学会学術集会プログラム抄録集, p206
103. 倉島竜哉、黄地健仁、木村麻記、澁川義幸：Piezo1 modulates TRPV1/TRPA1 activations in odontoblasts、歯の発生と再生に関する国際セミナー、2023年3月7日～8日、花巻市、International Seminar on Tooth Development and Regeneration プログラム集2
104. 倉島竜哉、黄地健仁、木村麻記、澁川義幸：象牙芽細胞においてPiezo1チャネルの活性化はTRPV1チャネルを介した細胞内カルシウムレベルを増加する. 第313回東京歯科大学学会・例会, 2022年6月4日, 東京（Web開催）
105. 倉島竜哉、黄地健仁、木村麻記、澁川義幸：象牙芽細胞においてPiezo1活性化はTRPV1/TRPA1活性化を調節する、2022年度生理学研究所研究会 痛み研究会 2022ー痛みの統合的理解とその制御に向けてー、2023年1月19日～20日、岡崎市 岡崎コンファレンスセンター（オンラインとのハイブリッド開催）、痛み研究会 2022ー痛みの統合的理解とその制御に向けてー プログラム・要旨集、16
106. 倉島竜哉、黄地健仁、木村麻記、澁川義幸：象牙芽細胞におけるPiezo1 channelとTRPV1 channelの機能連関、第16回トランスポーター研究会年会、2022年7月30日、徳島（ハイブリッド開催）、第16回トランスポーター研究会年会プログラム・抄録集、30
107. 倉島竜哉、木村麻記、黄地健仁、黒田英孝、澁川義幸：象牙芽細胞におけるPiezo1-TRPV1クロストークの検討、第64回歯科基礎医学会学術大会、2022年9月17日～19日、徳島、Journal of Oral Bioscience Supplement, 338, 2022
108. 栗原智尋、加藤禎彬、星野照秀、片倉朗：上顎総義歯の新製後に生じた乳頭状唾液腺線腫の1例 第33回日本老年歯科医学会学術大会 2022年6月10日～12日（現地開催）6月17日～7月9日（オンデマンド配信）新潟市

109. 榎洗眞, 黄地健仁, 木村麻記, 中村史朗, 井上富雄, 澁川義幸, 一戸達也: 歯根膜固有感覚を支配する三叉神経中脳路核ニューロンの機械感受性の検討、第 64 回歯科基礎医学会学術大会, 2022 年 9 月 17 日-19 日, 徳島市, Journal of Oral Bioscience Supplement, 183, 2022
110. 河野通良, 青木理佐, 栗原佑佳, 三邊正樹, 秋山友理恵, 松浦信幸, 野村武史, 石井健: 粘膜類天疱瘡および尋常性天疱瘡の口腔粘膜症状に対する局所外用療法と口腔衛生管理の効果. 第 44 回水疱症研究会, 東京, 2023, 1, 14.
111. 小郷直之, 山本雅絵, 高木多加志, 渡邊章, 吉田秀児, 大野啓介, 加藤宏, 有泉高晴, 高野正行, 片倉朗, 立木千恵, 西井康: 多分割 Le Fort I 型骨切り術を併用した上顎歯列弓幅径の過大を伴う骨格性上顎前突の 1 例、第 32 日本顎変形症学会総会・学術大会, 2022 年 6 月 9 日-10 日, 新潟市, ハイブリッド開催
112. 小島健太郎, 田中亜生, 木村基善, 新谷誠康: 歯髓幹細胞の象牙芽細胞への分化における tenascin-C の影響. 第 37 回日本小児歯科学会関東地方会, 2022.10.16、取手 (茨城)
113. 小西李奈, 小田由香里, 飯島典子, 平野友基, 古谷義隆, 佐々木穂高, 伊藤太一, 関根秀志: 口腔インプラント科における先天性欠如を有する患者の動向調査、第 313 回東京歯科大学学会, 2022 年 6 月 4 日, Web
114. 小西李奈, 小田由香里, 飯島典子, 平野友基, 松崎文頼, 佐々木穂高, 伊藤太一, 関根秀志: 先天性欠如に対しインプラント治療を必要とする患者特性の調査、第 52 回日本口腔インプラント学会学術大会, 2022 年 9 月 23-25 日, 名古屋市
115. 小林嵩史, 竜正大, 佐々木眞澄, 隈倉慎介, 石原和幸, 上田貴之: CAD/CAM 法で製作した義歯床用レジジンへの S.sanguinis 付着性の検討. 令和 4 年度日本補綴歯科学会東京支部学術大会 2023 年 12 月 18 日, 千代田区
116. 小松万純, 片倉朗: 口腔内出血を契機に特発性血小板減少性紫斑病と診断された高齢者の一例. 日本老年歯科医学会 第 33 回学術大会 2022 年 6 月 10 日~12 日 (現地開催) 6 月 17 日~7 月 9 日 (オンデマンド配信) 新潟市
117. 小松万純, 酒井克彦, 鈴木美紅, 松田弘美, 彦田真彦, 中島純子, 片山正輝, 松浦信幸: 脳卒中を発症し緊急手術を受けた患者の摂食嚥下機能と口腔環境についての検討. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 2022.9.23-9.24 千葉
118. 小松万純, 酒井克彦, 鈴木美紅, 大屋朋子, 中島純子, 片山正輝, 野村武史, 松浦信幸: 急性期脳卒中緊急手術後の口腔環境と関連因子の検討. 第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2022.11.4-6 千葉
119. 小谷地雅秀, 菅原圭亮, 小高研人, 松永智, 小山侑, 後藤多津子, 片倉朗: 下顎骨を基準とした下顎後静脈の走行パターンと位置-下顎枝矢状分割術を中心に-, 第 67 回 日本口腔外科学会総会・学術大会, 2022 年 11 月 4~6 日, 幕張メッセ, 抄録集 61 ページ
120. 小谷地雅秀, 菅原圭亮, 立澤孝太郎, 小高研人, 片倉朗: Extended Reality(XR)技術・CAD/CAM 技術を併用した LeFortI 型骨切り術の精度検証 第 56 回日本口腔科学会関東地方部会 2022 年 9 月 10 日 オンライン
121. 小山拓洋, 小山 侑, 栗原智尋, 橋本菜央, 豊田智章, 品川翔太, 岡崎寛弥, 菅原圭亮, 高野正行, 片倉朗: 口腔扁平上皮癌患者における PD-L1 の発現予測マーカーに関する検討 第 46 回日本頭頸部癌学会 2022 年 6 月 17 日~18 日 奈良市
122. 小山侑, 菅原圭亮, 大野啓介, 小川千晴, 品川翔太, 橋本菜央, 栗原智尋, 高野 正行, 片倉朗: 早期舌癌の DOI 評価に対する各種モダリティの有用性における臨床的検討 第 56 回日本口腔科学会関東地方部会 2022 年 9 月 10 日 オンライン
123. 清藤友介, 中島純子, 酒井克彦, 森川貴迪, 片山正輝, 井上賢, 松浦信幸, 野村武史: 下顎骨骨髓炎により脳膿瘍を生じた大理石骨病の 1 例、第 214 回日本口腔外科学会関東支部学術集会, 2022 年 12 月 10 日、フクラシア八重洲・ハイブリッド
124. 齋藤寛一, 石川早紀, 関川翔一, 鈴木大貴, 高野正行, 片倉朗, 野村武史: 東京歯科大学口腔がんセンターにおける免疫チェックポイント阻害薬の免疫関連有害事象に関する検討、第 41 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 2023 年 1 月 26 日~2 月 28 日、WEB 開催 Live & On-demand
125. 齋藤暁子, 中村貴, 小野寺晶子, 間奈津子, 岡田寛之, 北條宏徳, 長山和亮, 東俊文: RUNX2 による核膜関連タンパク質の発現調節を介した骨芽細胞分化制御機構. 第 45 回日本分子生物学会年会, 2022.11.30-12.2
126. 齋藤暁子, 中村貴, 小野寺晶子, 間奈津子, 岡田寛之, 北條宏徳, 長山和亮, 東俊文: RUNX2 による核膜関連タンパク質の発現調節を介した骨芽細胞分化制御機構. 第 95 回日本生化学会大会, 2022.11.9-11.

127. 齋藤菜月, 黄地健仁, 木村麻記, 倉島竜哉, 一戸達也, 澁川義幸: 象牙芽細胞におけるリガンド依存性石灰化駆動、第 64 回歯科基礎医学会学術大会, 2022 年 9 月 17 日-19 日, 徳島市, Journal of Oral Bioscience Supplement, 192, 2022
128. 齋藤菜月, 木村麻記, 黄地健仁, 澁川義幸, 一戸達也: 三叉神経節ニューロンへの機械刺激による象牙芽細胞内 cAMP シグナルの検討. 第 313 回東京歯科大学学会・例会, 2022 年 6 月 4 日, 東京 (Web 開催)
129. 齋藤壮, 眞田知基, 堀部耕広, 山田淳, 富山雅史, 竜正大, 上田貴之: 口腔機能低下症と天然歯による臼歯部の咬合支持との関係. 日本補綴歯科学会第 131 回学術大会 2022 年 7 月 15-17 日, ハイブリッド開催
130. 齋藤大幹, 吉田佳史, 亀本滉樹, 有川風雅, 小松万純, 平賀智豊, 関川翔一, 鈴木大貴, 松浦信幸, 野村武史: 下顎歯肉癌に対する下顎区域切除前後の咽頭腔形態の評価、第 21 回日本睡眠歯科学会総会・学術集会、2022 年 11 月 18 日~20 日、万国津梁館
131. 佐々木徳高, 平野友基, 小笠原龍一, 古谷義隆, 飯島俊一, 矢島安朝: インプラント治療過程での抜歯で腐骨形成を伴った 1 例、第 26 回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, 2022 年 11 月 26, 27 日, 東京都
132. 佐藤瑞樹, 熊井鈴子, 鈴木奈穂, 福島圭子, 久木留宏和, 星野立樹, 五味暁憲, 斉藤崇, 辻野啓一郎, 新谷誠康, 一戸達也: 歯科衛生士学生が持つ障害者歯科臨床に対する印象の分析-人材育成に向けた講義および臨床実習の検討-. 第 39 回日本障害者歯科学会、2022.11.04-06、倉敷、ハイブリッド開催
133. 佐藤涼一, 岩崎美友, 杉原直樹, 上條英之: 酸性モノフルオロリン酸ナトリウム (AP-MFP) による酸蝕症予防. 第 30 回硬組織再生生物学会・総会, 2022.8.26-27, ハイブリット開催
134. 佐藤涼一, 岩崎美友, 杉原直樹: りん酸酸性モノフルオロリン酸ナトリウム溶液 (AP-MFP) によるエナメル質耐酸性の向上. 第 71 回日本口腔衛生学会・総会, 2022.5.13-27, ハイブリット開催
135. 佐藤涼一, 岩崎美友, 杉原直樹: 酸性モノフルオロリン酸ナトリウム(AP-MFP)によるフッ化物歯面塗布法の開発. 第 313 回東京歯科大学学会例会, 2022.06.04, ハイブリット開催
136. 佐藤涼一, 岩崎美友, 杉原直樹: 酸性モノフルオロリン酸ナトリウム歯面塗布法による歯質耐酸性の向上 (Improvement of acid resistance of enamel by acid monofluorophosphate sodium fluoride application.) 第 64 回歯科基礎医学会学術大会, 2022.09.17-19, ハイブリット開催
137. 重野健一郎, 高木多加志, 新行内恵, 山本雅絵, 成田真人, 高野正行, 片倉朗: 顎変形症患者の顎矯正手術前後における顎関節症状の変化についての検討.第 32 回日本顎変形症学会 総会・学術大会 2022 年 6 月 9 日~10 日 新潟市 ハイブリット開催
138. 島村唯, 立木千恵, 高木多加志, 西井康: 顔面写真からセファロ分析基準点を推定する、第 314 回東京歯科大学学会、2022.10.15-16
139. 清水廷浩, 田坂彰規, 和達重郎, 山下秀一郎: 部分欠損歯列顎堤に対する口腔内スキャンの精確さ向上を図る新提案、日本補綴歯科学会第 131 回学術大会、2022 年 7 月 16 日、大阪府
140. 下山圭太, 市川江里佳, 岡林宏樹, 戒田直紀, 小林奈菜美, 島村唯, 高橋諒, 林優希, 原瑞紗, 原崎ひとみ, 沈圭利, 飯島由貴, 坂本輝雄, 西井康: 卒後基本研修課程第 45 期生による症例展示、第 314 回東京歯科大学学会、2022.10.15-16
141. 下山圭太, 市川江里佳, 岡林宏樹, 戒田直紀, 小林奈菜美, 島村唯, 高橋諒, 林優希, 原瑞紗, 原崎ひとみ, 沈圭利, 飯島由貴, 坂本輝雄, 西井康: 卒後基本研修課程第 45 期生による症例展示、第 81 回日本矯正歯科学会、2022.10.5-7
142. 白井弘三, 今井裕樹, 櫻井敦朗, 松浦信幸, 菊田高行, 内田博之, 戸坂清二, 原田達也, 桜井真理, 丸山清孝, 横田達哉, 新井嘩子, 宮川慎二郎, 新谷誠康, 一戸達也: COVID-19 の感染対策によって非協力となった Down 症候群患者の一例. 第 39 回日本障害者歯科学会、2022.11.04-06、倉敷、ハイブリッド開催
143. 辛麻由, 星野照秀, 小山侑, 高野正行, 片倉朗: 当科における全身麻酔下での上顎正中過剰埋伏歯 81 例の臨床的検討 第 34 回一般社団法人日本小児口腔外科学会総会・学術大会, 2022 年 10 月 21 日, 22 日 ハイブリッド開催 港区
144. 新行地恵, 森川貴迪, 岩本昌士, 柴原孝彦, 片倉朗, 高野正行: 下唇に発生した血管内乳頭状内皮過形成の 1 例 第 76 回 日本口腔科学会学術集会 2022 年 4 月 21 日~23 日 福岡市
145. 清藤友介, 中島純子, 酒井克彦, 森川貴迪, 片山正輝, 松浦信幸, 野村武史: 下顎骨骨髓炎により脳膿瘍を生じた大理石骨病の 1 例. 第 214 回日本口腔外科学会関東支部学術大会 2022.12.10 東京
146. 菅原圭亮, 小谷地雅秀, 立澤孝太郎, 岩崎亮, 二階堂純彦, 小川内香帆, 小高研人, 西井康, 片倉朗: Floating maxilla に対し CAD/CAM および MR 技術を応用し再手術を施行した 1 例.第 32 回日本顎変形症学会 総会・学術大会 2022 年 6 月 9 日~10 日 新潟市ハイブリット開催

147. 菅原圭亮, 小谷地雅秀, 立澤孝太郎, 小高研人, 片倉朗: 下顎骨を基準とした下顎後静脈の走行パターンと位置 - 下顎枝矢状分割術を中心に - 第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 2022 年 11 月 4 日～6 日 ハイブリッド開催 千葉市
148. 菅原圭亮, 小谷地雅秀, 立澤孝太郎, 小高研人, 片倉朗: Extended Reality(XR)技術・CAD/CAM 技術を併用した Le Fort I 型骨切り術の精度検証、第 56 回 日本口腔科学会関東地方部会, 2022 年 9 月 10 日, オンライン開催, 抄録集 41 ページ
149. 杉山哲也, 大久保真衣, 石田瞭: 舌癌術後嚥下障害患者の長期治療経過報告, 第 33 回日本老年歯科医学会総会・学術大会, 2022 年 6 月 11～12 日, 新潟
150. 鈴木航, 小田由香里, 四ツ谷護, 平野友基, 古谷義隆, 佐々木徳高, 伊藤太一, 関根秀志: 新規来院患者におけるインプラント合併症発症率の変化(観察期間:2011-2020 年)、第 42 回日本口腔インプラント学会東北・北海道支部学術大会, 2022 年 11 月 12～17 日, Web
151. 鈴木大貴, 小坂井絢子, 齋藤寛一, 大金覚, 高野正行, 片倉朗, 野村武史: ペムプロリズマブ投与後のセツキシマブ投与により重症薬剤性肺障害を生じた歯肉癌の 1 例、第 46 回日本頭頸部癌学会、2022 年 6 月 18 日～19 日、奈良県コンベンションセンター・オンデマンド開催
152. 鈴木大貴, 関川翔一, 齋藤寛一, 橋本和彦, 高野正行, 片倉朗, 野村武史: 歯原性癌 (Odontogenic carcinomas) の 5 例、第 214 回日本口腔外科学会関東支部学術集会、2022 年 12 月 10 日、フクラシア八重洲・ハイブリッド
153. 鈴木大貴, 勝又敏明, 松本祐介, 小松万純, 大村雄介, 岡村将宏, 野村武史: 続発性骨粗鬆症患者における下顎下縁皮質骨形態分類(MCI)と皮質骨厚さ(MCW)の解析、第 76 回 NPO 法人日本口腔科学会、2022 年 4 月 21 日～23 日、福岡国際会議場・オンデマンド
154. 鈴木大貴, 松本祐介, 小松万純, 大村雄介, 岡村将宏, 水野早希子, 勝又敏明, 野村武史, 穴澤卯圭: 骨粗鬆症における医科歯科連携と下顎皮質骨形態の解析、第 35 回日本口腔診断学会・第 32 回日本口腔内科学会・第 33 回日本臨床口腔病理学会 3 学会合同学術大会、2022 年 9 月 23 日～24 日、札幌市教育文化会館
155. 鈴木大貴, 渡邊逸央, 野村武史, 片倉朗, 穴澤卯圭: 骨転移外来における歯科口腔外科介入に関する検討、第 60 回日本癌治療学会学術集会、2022 年 10 月 20 日～22 日、神戸コンベンションセンター・ハイブリッド開催
156. 鈴木美紅, 中島純子, 酒井克彦, 財津愛, 青木理佐, 大屋朋子, 小松万純, 本田健太郎, 野村武史, 松浦信幸: 急性期病院入院患者における経口摂取再開と口腔機能の関連性の検討、日本老年歯科医学会第 33 回学術大会、2022 年 6 月 10 日～12 日、りゅーとぴあ
157. 関川翔一, 鈴木大貴, 山崎雅恵, 高野正行, 片倉朗, 野村武史: 口腔扁平上皮癌の術後補助療法に伴う有害事象は予後に影響を与えるか、第 41 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会、2023 年 1 月 26 日～2 月 28 日、WEB 開催 Live & On-demand
158. 関真都佳, 小鹿恭太郎, 姜祐奈, 矢島圭奈子, 清水康太郎, 千代侑香, 松浦信孝, 津谷瑠理, 江里口麻子, 吉田香織, 半田俊之, 片倉朗, 一戸達也: 「東京歯科大学水道橋病院歯科麻酔科におけるインシデント報告の分析」第 314 回東京歯科大学学会 (総会) 2022 年 10 月 15 日・16 日 千代田区
159. 曾根嘉人, 加藤宏, 有泉高晴, 小郷直之, 西山明宏, 大野啓介, 吉田秀児, 渡邊章, 片倉朗, 高野正行: 当科で対応した下顎埋伏智歯の口腔低迷入歯に関する臨床的検討 第 32 回日本口腔内科学会 第 33 回日本臨床口腔病理学会 第 35 回日本口腔診断学会 3 学会合同学術大会 2022 年 9 月 23 日～24 日 札幌市
160. 高木貴博, 山本将仁, 金平智恵美, 杉山雄紀, 廣内英智, 松永智, 阿部伸一: 上顎前歯欠損後の上唇粘膜に生じる形態変化の一端とその機能変化に関する考察、第 128 回日本解剖学会総会・学術大会, 2023 年 3 月 20 日、東北大学川内北キャンパス, 第 128 回日本解剖学会総会・全国学術集会講演抄録集 p215
161. 高木貴博, 山本将仁, 金平智恵美, 杉山雄紀, 廣内英智, 松永智, 阿部伸一: 損傷修復時に発現する Sox9 の役割解明、第 128 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2023, 3 月 18 日, 仙台市、第 128 回日本解剖学会総会・全国学術集会講演抄録集, 215, 2022
162. 高階友博, 国分栄仁, 菊池有一郎, 米澤英雄, 石原和幸: *Treponema denticola* の酸素ストレス応答遺伝子の解析、第 314 回東京歯科大学学会、2022.10.15-16, 歯科学報 (0037-3710)122 巻 4 号 Page 456 (2023.01)
163. 高橋明寛, 谷口修一朗, 杉山雄紀, 山中基, 山本悠太郎, 廣内英智, 山本将仁, 松永智, 小川雄大, 阿部伸一: 視神経および周囲組織の組織学的検索、第 313 回東京歯科大学学会 (総会), 2022 年 6 月 4 日、東京歯科大学水道橋校舎新館 (オンライン)

164. 高橋有希、平井研吾、石束叡、新谷誠康、笠原正貴：ビスホスホネート製剤の投与は、軽症低ホスファターゼ症において変性軟骨の異常増殖を誘発する。第313回東京歯科大学学会例会、2022.6.4、東京、WEB開催
165. 高橋有希、平井研吾、松永智、笠原典夫、阿部伸一、新谷誠康、笠原正貴：ビスホスホネート製剤の投与が、軽症低ホスファターゼ症の大腿骨に与える影響、第64回歯科基礎医学会学術大会、2022.9.18
166. 高橋有希、平井研吾、石束叡、新谷誠康、笠原正貴：軽症低ホスファターゼ症におけるビスホスホネート製剤の投与が硬組織に与える影響、第146回日本薬理学会関東部会、2022.6.18
167. 高濱暁、関有里、佐藤幸平、建部廣明、溝口利英、八若保孝、細矢明宏：Gli1陽性歯髓細胞の象牙質再生過程における機能解析、第64回歯科基礎医学会学術大会、2022年9月17-19日 徳島(徳島大学)
168. 高久勇一郎、高橋光、市川雄二、片倉朗：口腔白板症に対する早期口腔がんに向けた治療戦略 第46回日本頭頸部癌学会 2022年6月17日～18日 奈良市
169. 田上聖章、黄地健仁、木村麻記、倉島竜哉、石井武展、中村史郎、井上富雄、澁川義幸、西井康：三叉神経中脳路核の末梢ニューロンマーカー・イオンチャネル発現。第64回歯科基礎医学会学術大会、2022年9月17日-19日、徳島市。Journal of Oral Bioscience Supplement, 187, 2022
170. 田上聖章、黄地健仁、木村麻記、倉島竜哉、澁川義幸、西井康：三叉神経中脳路核ニューロンの細胞膜タンパク質発現、第314回東京歯科大学学会(総会)、2022年10月15・16日、千代田区、第314回東京歯科大学学会(総会)プログラム、p17, No.7
171. 瀧沢寛律、巽綾香、田中詩織、齋藤大幹、小松万純、吉田佳史、松浦信幸、飯村慈朗、野村武史：東京歯科大学市川総合病院 歯科・口腔外科と耳鼻咽喉科合同で行っている歯性上顎洞炎診療、第314回東京歯科大学学会(総会)、2022年10月15日・16日、血脇ホール
172. 田代憲太朗、五十嵐章智、駒田朋昭、三友啓介、村松敬：歯髓血管再生療法の治療過程におけるType H毛細血管の変化、第314回東京歯科大学学会、令和4年10月15,16日、東京
173. 立木千恵、勝田真央、山本雅絵、高木多加志、西井康：骨格性下顎前突患者と顔面非対称患者の外科的矯正治療におけるOQLQの長期変化、第81回日本矯正歯科学会、2022.10.5-7
174. 立澤孝太郎、小谷地雅秀、菅原圭亮、小高研人、高野正行、片倉朗：Extended reality (XR) 技術を用いた3D解剖学教材の有用性の検討 第67回日本口腔外科学会総会・学術大会、2022年11月4日～6日 ハイブリッド開催 千葉市
175. 田中亜生、棚瀬稔貴、堀川早苗、小島健太郎、本間宏実、櫻井敦朗、辻野啓一郎、新谷誠康：萌出後速やかに根尖性歯周炎を発症した歯内歯の組織学的解析。第60回日本小児歯科学会、2022.5.19-20、千葉、ハイブリッド開催
176. 田中亜生、田村梨恵、本間宏実、櫻井敦朗、辻野啓一郎、新谷誠康：若年者に発症した粘膜優位型尋常性天疱瘡の1例。第34回日本小児口腔外科学会、2022.10.21-22、東京、ハイブリッド開催
177. 田中亜生、渡辺麻衣子、平井研吾、小島健太郎、丹羽佳世子、本田貴子、安部晴美、荒井亮、今井裕樹、本間宏実、辻野啓一郎、櫻井敦朗、新谷誠康：診療室の改築による環境変化に伴う自閉スペクトラム症患者の受診レディネスの変化。第39回日本障害者歯科学会、2022.11.04-06、倉敷、ハイブリッド開催
178. 千代侑香、一戸達也、東俊文、大野建州：18-kDa Translocator protein (TSPO)のT細胞依存的免疫応答における役割解析。第64回歯科基礎医学会学術大会 2022.9.17-19、徳島市
179. 塚田裕樹、加藤宏、岡崎寛弥、有泉高晴、小郷直之、大野啓介、吉田秀児、渡邊章、片倉朗、高野正行：臼歯後三角部に生じた診断に苦慮した脂肪腫の1例、第35回日本口腔診断学会学術大会、2022年9月22日、札幌市、日本口腔診断学会雑誌、35:91-92, 2022
180. 辻直紀、坂本朋昭、中村貴、星和人、疋田温彦：破骨細胞のアポトーシスによる骨リモデリング制御機構のin vitro解析。第22回日本再生医療学会総会 2023.3.23-25、京都
181. 鶴見惇、三邊正樹、明由理亜、坂部茉奈、秋山友理恵、橋本和彦、松浦信幸、河野通良、野村武史：Good症候群に合併した口腔扁平苔癬の1例、第214回日本口腔外科学会関東支部学術集会、2022年12月10日、フクラシア八重洲・ハイブリッド
182. 富田幸代、色川大輔、備前島崇浩、浅井裕之、松本恭宜、齋藤淳：垂直性骨欠損および根分岐部病変を有する慢性歯周炎患者に対して歯周組織再生療法を行った5年経過症例、第65回秋季日本歯周病学会学術大会、2022年月9月2日、仙台市青葉区、日歯周誌64(秋季特別号)：53, 141, 2022.
183. 戸村拓真、石井武展、笠原典夫、西井康：テストステロン由来のエストロゲンによる変形性顎関節症への影響、第81回日本矯正歯科学会学術大会&第9回日韓ジョイントシンポジウム、2022.10.5-7. 大阪府
184. 戸村拓真、石井武展、西井康：テストステロン由来のエストロゲンによる顎関節保護効果について、第313回東京歯科大学学会・例会、2022.6.4

185. 戸村拓真、石井武展、西井康：変形性顎関節症に対するテストステロン由来の 17 β エストラジオールによる顎関節への影響、第 81 回東京矯正歯科学会学術大会、2022.7.6-7
186. 永井由美子、中田悠、安松啓子：マウス二瓶選択法による舌咽神経領域に発現する脂肪酸受容体の機能解析、日本歯科衛生学会第 17 回学術大会、2022 年 9 月 18-10 月 31 日、オンライン
187. 中内彩乃、長岡悠、兼元妙子、櫻井敦朗、新谷誠康：当院における口腔機能発達不全症に関する実態調査、第 37 回日本小児歯科学会関東地方会、2022 年 10 月 16 日、茨城県。
188. 中澤和真、中島純子、上田貴之：上顎全摘後に長期弾性裏層材と processed record base technique を併用した顎義歯により機能回復が得られた一例、第 39 回日本顎顔面補綴学会総会・学術大会 2022.6.24-25 宮崎
189. 中島克真、黄地健仁、木村麻記、古澤誉彰、澁川義幸、古澤成博：間葉系幹細胞関連プロテオグリカンの象牙質再生における役割、第 64 回歯科基礎医学学術大会、2022 年 9 月 17-19 日、徳島市、Journal of Oral Bioscience Supplement, 194, 2022
190. 中島純子、酒井克彦、鈴木美紅、財津愛、青木理佐、大屋朋子、本田健太郎、小松万純、野村武史、松浦信幸：2 種類の口唇閉鎖力測定器による口唇閉鎖力の比較と関連因子の検討、日本老年歯科医学会第 33 回学術大会、2022 年 6 月 10 日～12 日、りゅーとぴあ
191. 中田悠、府馬亮介、奥村知里、三浦慶奈、大久保真衣：神経筋電気刺激訓練による咀嚼筋増強効果の検討、第 28 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会 2022 年 9 月 23～24 日、千葉市
192. 中西将大、小山侑、小谷地雅秀、星野照秀、加藤宏、西山明宏、高野正行、片倉朗：東京歯科大学水道橋病院における COVID-19 感染拡大状況下での入院全身麻酔手術症例に関する検討、第 31 回 日本有病者歯科医療学会学術大会、2022 年 4 月 30 日～5 月 1 日、沖縄コンベンションセンター、抄録集 128 ページ
193. 中根咲、今村健太郎、石原和幸、齋藤淳：細胞傷害性 T リンパ球抗原-4(CTLA-4)-Ig が歯周炎による歯槽骨吸収に与える影響とそのメカニズムの検討、第 313 回東京歯科大学学会例会、2022 年 6 月 4 日 (Web 開催)、東京都千代田区、歯科学報 122:233, 2022.
194. 中野岳志、半場秀典、村松敬：有機ホウ素化合物による歯髄細胞の増殖、硬組織形成と NaBC1 の関連性、第 314 回東京歯科大学学会、令和 4 年 10 月 15,16 日、東京
195. 中久喜藍、吉田香織、金子瑠実、権洗眞、塩谷麻衣、島津幸平、鈴木真理子、辻 優人、森井雅子、江里口麻子、小鹿恭太郎、半田俊之、片倉朗、一戸達也：「全身麻酔後に陰圧性肺水腫を発生したと思われる一例」第 314 回東京歯科大学学会（総会）2022 年 10 月 15 日・16 日 千代田区
196. 中村ゆり子、小野寺晶子、秀島樹、高野正行、片倉朗、野村武史、東俊文：Gorlin 症候群の遺伝子変異における Hedgehog シグナル活性の解明、第 313 回東京歯科大学学会・例会、2022 年 6 月 4 日、血脇ホール
197. 南里綾乃、四ツ谷護、佐藤亨、野本俊太郎、黒田祥太、平野瑞穂、上川床俊彦、関根秀志：ブリッジ中間支台歯の有無が光学印象の精確度に及ぼす影響、日本デジタル歯科学会 第 13 回学術大会 江戸川区 2022 年 4 月 24 日。
198. 新井田張、星沙弥佳、森川泰紀、坂本輝雄、石井武展、西井康、成田真人、渡邊 章、渡邊美貴：東京歯科大学千葉歯科医療センターにおける口唇裂・口蓋裂患者の顎裂部犬歯萌出に関する実態調査、第 46 回日本口蓋裂学会総会・学術集会、2022.5.26-27.鹿児島市
199. 二階堂純彦、星野照秀、吉田秀児、栗原智尋、片倉朗：眼窩下縁に移動した異所性埋伏犬歯の一例 第 56 回日本口腔科学会関東地方部会 2022 年 9 月 10 日 オンライン
200. 西根万純、小林裕、伊東紘世、和達重郎、田坂彰規、山下秀一郎：噛みしめ強度が口腔内スキャナーを用いた顎間関係記録に及ぼす影響、日本補綴歯科学会第 131 回学術大会、2022 年 7 月 17 日、大阪府
201. 西原孝博、坂部茉奈、三邊正樹、明由理亜、小松万純、秋山友理恵、橋本和彦、松浦信幸、河野通良、野村武史：歯の萌出遅延を伴う鎖骨頭蓋骨異形成症の患児に生じた Orofacial granulomatosis の 1 例、第 67 回(公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会、2022 年 11 月 4 日～6 日、幕張メッセ・オンデマンド
202. 西村仁希、西山明宏、有泉高晴、田中斉、小原身知子、岩崎亮、山本裕義、山崎 梓、村山雅人、加藤栄助、佐々木研一、柴原孝彦、福田謙一、片倉朗、高野正行：「急性期神経機能修復外来の過去 10 年間における臨床的検討」第 314 回東京歯科大学学会（総会）2022 年 10 月 15 日・16 日 千代田区
203. 根本研吾、長門慶、岡田紗弥佳、中内彩乃、荒井亮、今井裕樹、新谷誠康：千葉県下の歯科大学附属小児歯科診療所における初診患者実態調査、第 37 回日本小児歯科学会関東地方会、2022.10.16、取手（茨城）
204. 野口唯、小島沙織、大屋朋子、鈴木大貴、大金覚、松浦信幸、野村武史、小坂橋俊哉：歯科衛生士と言語聴覚士が合同で取り組んだ摂食機能療法により少量の経口摂取が可能となった口底癌の 1 例、第 313 回東京歯科大学学会・例会、2022 年 6 月 4 日、血脇ホール

205. 野村周平、鈴木穂、笠原典夫、松永智、山田雅司、阿部伸一、古澤成博：上顎第一大臼歯の歯髓腔におけるマイクロ CT を用いた年齢による相違の調査、第 314 回東京歯科大学学会・例会 2022.10.15-16、東京。
206. 野村武史、大金寛、鈴木大貴、中島絢子：蛍光光学機器は早期舌癌においてヨード生体染色法と同等の描出能を有する、第 46 回日本頭頸部癌学会、2022 年 6 月 18 日～19 日、奈良県コンベンションセンター・オンデマンド開催
207. 橋本菜央、山本圭、明石良彦、中條貴俊、中島啓、國分克寿、菅原圭亮、片倉朗、松坂賢一：舌癌におけるコリントランスポーターの局在および増殖細胞との関連、第 313 回東京歯科大学学会・例会、2022 年 6 月 4 日、Web 開催
208. 橋本菜央、中島啓、明石良彦、國分克寿、菅原圭亮、松坂賢一、片倉朗：口腔癌細胞における cholinetransporter like protein 1 (CTL1) の局在と細胞増殖能、第 32 回日本口腔内科学会・第 33 回日本臨床口腔病理学会・第 35 回日本口腔診断学会合同学術大会、2022 年 9 月 23 日～24 日、札幌市
209. 橋本菜央、有泉高晴、小山 侑、大野啓介、明石良彦、音成実佳、松坂 賢一、高野正行、片倉朗：下顎第一大臼歯部歯肉に生じた周辺型エナメル上皮腫の一例 第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会、2022 年 11 月 4 日～6 日 ハイブリッド開催 幕張メッセ
210. 花澤清俊、平野友基、浅見洋佑、原田惇朗、宮崎創太、佐々木穂高：糖尿病モデルラットに対するボーンコンデンス法の効果について、第 314 回東京歯科大学学会（総会）、2022 年 10 月 15, 16 日、東京都
211. 花澤清俊、平野友基、浅見洋佑、原田惇朗、宮崎創太、佐々木穂高：糖尿病ラットに対するボーンコンデンス法を応用したインプラント埋入の効果について、第 26 回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会、2022 年 11 月 26, 27 日、東京都
212. 半場秀典、中村圭喜、春山亜貴子、三友啓介、石塚久子、杉戸博記、平田創一郎、村松敬：保存修復学臨床基礎実習への歯科用ルーペの導入による教育効果の検討、第 313 回東京歯科大学学会、令和 4 年 6 月 4 日、Web
213. 半場秀典、中野岳志、五十嵐章智、春山亜貴子、杉戸博記、村松敬：唾液 ATP 検査を利用した根面う蝕発生リスク評価法の構築、第 157 回日本歯科保存学会、令和 4 年 11 月 10,11 日、岡山
214. 半場秀典、中野岳志、五十嵐章智、石塚久子、春山亜貴子、杉戸博記、村松敬：生物発光 ATP 検出を利用した唾液検査による齲蝕リスク評価の検討：クロスオーバー比較試験、第 314 回東京歯科大学学会、令和 4 年 10 月 15,16 日、東京
215. 久永理央、山下慶子、石原和幸、齋藤淳：Treponema denticola の病原性発現における HxIR family transcriptional regulator の役割の解明、日本歯科保存学会 2022 年度秋季学術大会（第 157 回）、2022 年 11 月 10 日、11 日、岡山市（+Web 開催）、日本歯科保存学会 2022 年度秋季学術大会（第 157 回）プログラムおよび講演抄録集、50, 173.
216. 久永理央、北村友里恵、山下慶子、石原和幸、齋藤淳：Treponema denticola の病原性発現における新規転写調節因子の役割の解明、第 65 回秋季日本歯周病学会学術大会、2022 年 9 月 2 日、仙台市青葉区、日歯周誌 64（秋季特別号）：32, 120, 2022.
217. 久永理央、北村友里恵、山下慶子、齋藤淳、石原和幸：Treponema denticola の病原性発現における transcriptional regulator 様遺伝子の役割の解明、第 313 回東京歯科大学学会例会、2022 年 6 月 4 日（Web 開催）、東京都千代田区、歯科学報 122:233, 2022.
218. 秀島樹、中村ゆり子、小野寺晶子、野村武史、高野正行、片倉朗、東俊文：歯原性角化嚢胞における分子遺伝学的検討、第 54 回日本臨床分子形態学会総会・学術集会、2022.11.4-5
219. 秀島樹、中村ゆり子、小野寺晶子、野村武史、東俊文、片倉朗：歯原性角化嚢胞における分子遺伝学的検討、第 313 回東京歯科大学学会・例会、2022 年 6 月 4 日、血協ホール
220. 平賀智豊、小松万純、齋藤大幹、有川風雅、亀本滉樹、吉田佳史、飯村慈朗、中島庸也、松浦信幸、野村武史：閉塞性睡眠時無呼吸に対する口腔内装置による治療の中断症例の検討、第 21 回日本睡眠歯科学会総会・学術集会、2022 年 11 月 18 日～20 日、万国津梁館
221. 平賀智豊、片倉朗、野村武史：差分遠心法を用いた口腔扁平上皮癌患者由来の唾液含有細胞外小胞の解析、第 46 回日本頭頸部癌学会、2022 年 6 月 18 日～19 日、奈良県コンベンションセンター・オンデマンド開催
222. 平賀徹、溝口利英：顆粒球コロニー刺激因子は乳がん骨転移の開始と進展に対し相反する作用を示す、第 40 回日本骨代謝学会学術集会、2022 年、7 月 22-23 日 岐阜市（岐阜都ホテル）
223. 平野瑞穂、野本俊太郎、川崎貴裕、酒井貴徳、四ツ谷護、関根秀志：積層型ディスクにおける垂直的加工領域が 4 ユニットジルコニアブリッジの焼結ひずみに及ぼす影響、日本歯科審美学会 第 33 回学術大会新潟 2022 年 10 月 15-16 日。

224. 平野瑞穂, 野本俊太郎, 露木悠, 酒井貴徳, 四ツ谷護, 関根秀志: 混合組成積層型ジルコニアブリッジの焼結ひずみ〜積層構成と垂直的加工領域の影響〜, 日本補綴歯科学会 第 131 回学術大会 大阪 2022 年 7 月 16-17 日.
225. 平野友基, 鈴木航, 花澤清俊, 浅見洋佑, 飯島典子, 野本冬歌, 小田由香里, 佐々木穂高, 関根秀志: 日本人における 6mm, 8mm, 10mm インプラントの 7 年間の累積残存率, 第 26 回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, 2022 年 11 月 26, 27 日, 東京都
226. 藤井亜理沙, 酒井克彦, 鈴木大貴, 松浦信幸, 片倉朗, 野村武史: 口腔癌患者における第 12 胸椎骨格筋面積から測定した骨格筋量低下と術後合併症, 第 41 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 2023 年 1 月 26 日〜2 月 28 日、WEB 開催 Live & On-demand
227. 藤川秋, 加藤宏, 小山侑, 小谷地雅秀, 有泉高晴, 星野照秀, 小郷直之, 西山明宏, 大野啓介, 吉田秀児, 菅原圭亮, 渡邊章, 笠原清弘, 片倉朗, 高野正行: 東京歯科大学水道橋病院口腔外科における全身麻酔下での手術症例の COVID-19 による影響の調査, 第 314 回東京歯科大学学会 (総会) 2022 年 10 月 15 日・16 日 千代田区
228. 藤関元也, 藤関雅嗣, 四ツ谷護, 栗澤重樹, 野村貴生, 梅原一浩, 関根秀志: 3D プリント模型を用いた上部構造製作時におけるキャリブレーションの提案, 日本口腔インプラント学会 第 42 回東北・北海道支部学術大会 弘前 2022 年 11 月 12 日-13 日.
229. 府馬亮介, 大久保真衣, 三浦慶奈, 杉山哲也, 石田瞭: 超音波診断装置を用いた神経筋電気刺激による顎二腹筋前腹の形状および硬さの評価, 第 33 回日本老年歯科医学会総会・学術大会, 2022 年 6 月 11〜12 日, 新潟市
230. 古川紗都, 田坂彰規, 森亮太, 平林剛, 伊東紘世, 和達重郎, 山下秀一郎: CAD/CAM 技術を応用したレジン床局部床義歯の製作ワークフローに関する新提案, 日本補綴歯科学会東京支部総会・第 26 回学術大会, 2022 年 12 月 18 日、東京都
231. 古澤誉彰, 木村麻記, 黄地健仁, 中島克真, 杉田誠, 奥西勲, 澁川義幸, 古澤成博, 加藤朋恵: Wasabi sulfanyl 誘導体ヘキサラファンはヒト象牙芽細胞の石灰化を誘導する. 第 64 回歯科基礎医学会学術大会, 2022 年 9 月 17 日-19 日, 徳島市. Journal of Oral Bioscience Supplement, 193, 2022
232. 古澤誉彰, 木村麻記, 黄地健仁, 中島克真, 倉島竜哉, 奥西勲, 加藤朋恵, 杉田誠, 澁川義幸, 古澤成博: Wasabi sulfanyl 誘導体「ヘキサラファン」によるヒト象牙芽細胞の石灰化促進. 特定非営利活動法人日本歯科保存学会 2022 年度秋季学術大会 (第 157 回)、第 24 回日韓歯科保存学会学術大会, 2022 年 11 月 10 日、11 日、岡山コンベンションセンター. 特定非営利活動法人 日本歯科保存学会 2022 年度秋季学術大会 (第 157 回)、第 24 回日韓歯科保存学会学術大会 プログラムおよび講演抄録集 P135
233. 星野照秀, 吉田秀児, 栗原智尋, 立澤孝太郎, 小谷地雅秀, 菅原圭亮, 小高研人, 片倉朗: 顎矯正関連手術後に迷入した軟組織内異物を CAD/CAM 技術を応用して除去した経験, 第 32 回日本顎変形症学会 総会・学術大会 2022 年 6 月 9 日〜10 日 新潟市 ハイブリット開催
234. 堀綾夏, 堀部耕広, 太田緑, 清水崇雪, 竜正大, 上田貴之: 口腔機能低下症患者に対する 3 か月間の口腔機能管理の効果. 令和 4 年度日本補綴歯科学会東京支部学術大会 2023 年 12 月 18 日, 千代田区
235. 堀綾夏, 堀部耕広, 竜正大, 上田貴之: 口腔機能低下症患者に対する 1.5 ヶ月の口腔機能管理の成果. 日本老年歯科医学会第 33 回学術大会 2022 年 6 月 12 日, 新潟市
236. 堀内彬代, 野村真弓, 竹内史江, 茂木悦子, 宮崎晴代, 高松ユミ, 平井基之, 西井康, 高根宏: 8020 達成者と 4 歯以上欠損を有する有床義歯患者の咬合力の比較検討, 第 81 回日本矯正歯科学会, 2022.10.5-7
237. 堀部耕広, 堀綾夏, 柳澤光一郎, 竜正大, 上田貴之: 口腔機能低下患者に対する半年間の口腔機能管理の実施効果. 日本老年歯科医学会第 33 回学術大会 2022 年 6 月 12 日, 新潟市
238. 増山絢子, 五十嵐章智, 駒田朋昭, 三友啓介, 村松敬: 歯髄血管再生療法の治癒過程での神経組織の局在, 第 314 回東京歯科大学学会, 令和 4 年 10 月 15, 16 日、東京
239. 松永智, 野口拓, 森田純晴, 小川雄大, 阿部伸一: 歯科インプラント手術のための顎舌骨筋の構造解析および位置分類, 第 52 回日本口腔インプラント学会, 2022 年 09 月 23〜25 日、愛知県名古屋市中
240. 松永智, 野口拓, 森田純晴, 廣内英智, 小川雄大, 北村啓, 笠原典夫, 山本仁, 阿部伸一: 口腔隔膜として機能する顎舌骨筋の構造解析および位置分類, 第 128 回日本解剖学会総会・学術大会, 2023 年 3 月 20 日, 仙台.
241. 松本祐介, 大村雄介, 岡村将宏, 鈴木大貴, 野村武史: Cadaver を用いた骨粗鬆症患者の下顎骨、大腿骨の骨強度解析, 第 24 回日本骨粗鬆症学会, 2022 年 9 月 2 日〜9 月 4 日、大阪国際会議場

242. 松本祐介、大村雄介、岡村将宏、鈴木大貴、野村武史：Cadaverを用いた骨粗鬆症患者の下顎骨と大腿骨の骨強度解析、第76回NPO法人日本口腔科学会、2022年4月21日～23日、福岡国際会議場・オンデマンド
243. 松元秀樹、和田大岳、後藤多津子：アルツハイマー病患者の口腔機能について、第313回東京歯科大学学会・例会、2022.6.4、東京都
244. 三浦優奈、石川昂、中村安孝、橋本正次：セメント質単独でのDNAプロファイリング法の検討、第91回日本法医学会学術関東地方集会、2022、千葉県
245. 溝口利英：象牙芽細胞の細胞死は未分化前駆細胞の象牙芽細胞分化と石灰化を誘導する、第74回日本細胞生物学会 2022年6月28-30日 東京都(タワーホール船堀)
246. 三邊正樹、秦加純、明由理亜、秋山友理恵、坂部茉奈、鶴見惇、齋藤寛一、酒井克彦、高橋慎一、松浦信幸、河野通良、野村武史：口腔内科疾患30例における乳酸菌EF-2001サプリメントの質問票調査、第35回日本口腔診断学会・第32回日本口腔内科学会・第33回日本臨床口腔病理学会 3学会合同学術大会、2022年9月23日～24日、札幌市教育文化会館
247. 宮田直樹、村上侑、松上大亮、吉田航、備前島崇浩、勢島典、齋藤淳：塩基性線維芽細胞増殖因子(FGF-2)と炭酸アパタイト(CO₃Ap)の併用が骨芽細胞分化に及ぼす影響、第65回秋季日本歯周病学会学術大会、2022年月9月2日、仙台市青葉区、日歯周誌64(秋季特別号)：35, 123, 2022.
248. 村上侑、松上大亮、今村健太郎、勢島典、齋藤淳：FGF-2とDBBMの併用がpoorly-contained型歯周組織欠損の治癒に及ぼす影響、日本歯科保存学会2022年度秋季学術大会(第157回)、2022年11月10日、11日、岡山市(+Web開催)、日本歯科保存学会2022年度秋季学術大会(第157回)プログラムおよび講演抄録集、51, 180.
249. 茂木将、平野友基、鈴木航、浅見洋佑、飯島典子、小田由香里、佐々木穂高、関根秀志：日本人における6mmインプラントの有効性、第42回日本口腔インプラント学会関東・甲信越支部学術大会 2023年2月18日、19日、松本市
250. 森瑞貴、立木千恵、太田健太郎、大澤雄一郎、都丸宏実、飯島由貴、野嶋邦彦、山本雅絵、高木多加志、片倉朗、西井康：東京歯科大学千葉歯科医療センターにおける歯科矯正用アンカースクリューに関する臨床統計調査、第81回日本矯正歯科学会、2022.10.5-7
251. 森川貴迪、柴原孝彦、高野正行、野村武史、片倉朗：地域と本学で連携した口腔がん検診の成果、第76回NPO法人日本口腔科学会、2022年4月21日～23日、福岡国際会議場・オンデマンド
252. 森川貴迪、新行内恵、岩本昌士、大野啓介、柴原孝彦、三邊正樹、野村武史、松浦信幸、片倉朗、高野正行：白板症における蛍光観察法を用いた上皮性異形成症の検出、第67回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会、2022年11月4日～6日、幕張メッセ・オンデマンド
253. 森川泰紀、坂本輝雄、石井武展、西井康：先天性筋強直性ジストロフィーによる骨格性開咬症に対する矯正治療単独での治療例 5年フォローアップ、第46回日本口蓋裂学会総会・学術集会、2022.5.26-27、鹿児島市
254. 安松啓子、永井由美子：マウスの舌後方に発現する脂肪酸受容体の機能解析、日本生理学会第100回記念大会、2023年3月14-16日、京都
255. 安松啓子：マウスの舌後方に発現する脂肪酸受容体の嗜好性への関与、第64回歯科基礎医学会学術大会、2022年9月17-19日、徳島大学
256. 山崎雅恵、鈴木大貴、大金覚、高野正行、片倉朗、野村武史：早期舌癌の後発頸部リンパ節転移に対するRac1異常発現の臨床的意義、第46回日本頭頸部癌学会、2022年6月18日～19日、奈良県コンベンションセンター・オンデマンド開催
257. 山本雅絵、成田真人、高木多加志、片倉朗：骨格性下顎後退症の患者における顎矯正手術と術後安定性に関する検討、第32回日本顎変形症学会 総会・学術大会 2022年6月9日～10日 新潟市 ハイブリット開催
258. 山本雅絵、秋山友理恵、齋藤大幹、岩本昌士、成田真人、高木多加志、高野正行、野村武史、片倉朗：骨格性下顎後退症の患者における顎矯正手術と術後安定性に関する検討、第67回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会、2022年11月4日～6日、幕張メッセ・オンデマンド
259. 山本圭、市原有美、明石良彦、中島啓、國分克寿、松坂賢一：口腔扁平苔癬と口腔上皮性異形成におけるリンパ球の局在の検索、第32回日本口腔内科学会・第33回日本臨床口腔病理学会・第35回日本口腔診断学会合同学術大会、2022年9月23日～24日、札幌市
260. 山本将仁、渡辺元次、関谷紗世、谷口修一朗、阿部伸一：“線維型 Enthesis”の包括的な理解、110回解剖学会関東支部学術集会、2022.

261. 山本悠太郎、渡辺元次、高木貴博、廣内英智、山本将仁、松永智、阿部伸一：コラゲナーゼ注入による筋腱接合部の再生・形態変化と筋機能への影響、第 64 回歯科基礎医学会学術大会、2022 年 9 月 17～19 日、徳島県徳島市
262. 山本裕義、片倉朗：当院における末梢三叉神経障害症例に対する神経修復術の予後について 第 25 回口腔顔面神経機能学会総会・学術大会、2023 年 3 月 4 日 オンデマンド開催
263. 吉川幸輝、国分栄仁、北村友里恵、久永理央、山下慶子、齋藤淳、石原和幸：*Porphyromonas gingivalis* Hgp44 の付着ドメインが *Treponema denticola* とのバイオフィルム形成に与える影響、第 313 回東京歯科大学学会例会、2022 年 6 月 4 日 (Web 開催)、東京都千代田区、歯科学報 122:236, 2022.
264. 吉田佳史、有川風雅、亀本滉樹、齋藤大幹、小松万純、平賀智豊、野村武史、松浦信幸：新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行下における歯学部学生を対象とした睡眠歯科医学オンライン実習、第 21 回日本睡眠歯科学会総会・学術集会、2022 年 11 月 18 日～20 日、万国津梁館
265. 吉田奈央子、立木千、西井康：下顎第二大臼歯萌出障害の要因に関する検討、第 314 回東京歯科大学学会、2022.10.15-16
266. 四ツ谷護、上川床俊彦、大和田碧、関根秀志：変形性顎関節症に対して FGP テクニックを用いて咬合回復した症例、日本顎関節学会 第 35 回学術学会 札幌 2022 年 7 月 2-3 日.
267. 四ツ谷護、大和田碧、黒田祥太、川崎貴裕、露木悠、酒井貴徳、野本俊太郎、久永竜一、菊地香、関根秀志：3D プリント模型を用いた支台歯形成実習時の教育効果、日本補綴歯科学会東京支部学術大会 千代田区 2022 年 12 月 17 日.
268. 四ツ谷護、鈴木智美、大塚景子、梅原一浩、石川曉美、木村峻輔、黒田祥太、関根秀志：ジルコニア上部構造製作時における顎運動解析の必要性について、日本口腔インプラント学会 第 42 回東北・北海道支部学術大会 弘前 2022 年 11 月 12 日-13 日.
269. 四ツ谷護、小高研人、大和田碧、黒田祥太、川崎貴裕、露木悠、酒井貴徳、野本俊太郎、久永竜一、関根秀志：支台歯形成実習における 3D プリント模型のフィードバック教材としての活用、第 314 回東京歯科大学学会・総会、2022.10.15、東京都
270. 米澤英雄、国分栄仁、菊池有一郎、三戸部治郎、石原和幸：*Streptococcus mutans* ロイテリサイクリン産生の発現メカニズムの解析、第 96 回日本細菌学会総会、2023.3.16-18,日本細菌学会雑誌 (0021-4930)78 巻 1 号 Page130 (2023.02)
271. 米山萌、小松万純、本田健太郎、平賀智豊、三邊正樹、鈴木大貴、森川貴迪、吉田佳史、齋藤寛一、酒井克彦、山本雅絵、成田真人、中島純子、野村武史、松浦信幸：東京歯科大学市川総合病院歯科・口腔外科における 5 年間の外来初診患者の臨床統計、第 314 回 東京歯科大学学会 (総会)、2022 年 10 月 15 日・16 日、血協ホール
272. 竜正太、小林嵩史、柳澤光一郎、上田貴之：複製義歯を応用して積層造形法による総義歯製作を行った一症例. 日本補綴歯科学会第 131 回学術大会 2022 年 7 月 15-17 日、ハイブリッド開催
273. 脇田一郎、小山侑、立澤孝太郎、小谷地雅秀、菅原圭亮、笠原清弘、高野正行、片倉朗：*Mixed Reality* 技術を用いた上顎正中過剰埋伏歯抜歯術、第 76 回日本口腔科学会学術集会、2022 年 4 月 21 日～4 月 23 日、オンライン開催、抄録集 41 ページ
274. 脇田一郎、星野照秀、小山侑、小谷地雅秀、有泉高晴、小郷直之、加藤宏、西山明宏、大野啓介、吉田秀児、渡邊章、菅原圭亮、笠原清弘、高野正行、片倉朗：東京歯科大学水道橋病院口腔外科の初診患者の現状調査、第 314 回東京歯科大学学会 (総会) 2022 年 10 月 15 日・16 日 千代田区
275. 渡辺元次、山本将仁、山本悠太郎、関谷紗世、谷口修一郎、廣内英智、松永智、阿部伸一：腱損傷修復時に発現する Sox9 の役割解明、第 128 回日本解剖学会総会・学術大会、2023 年 3 月 20 日、東北大学川内北キャンパス、第 128 回日本解剖学会総会・全国学術集会講演抄録集 p215
276. 渡邊奈和、齋藤大幹、吉田茂緒、平賀智豊、山本雅絵、野村武史：3D シミュレーションソフトを用いて顎骨内に迷入した抜歯器具片を摘出した 1 例、第 213 回 (公社) 日本口腔外科学会関東支部学術集会 2022 年 5 月 21 日、CrossTransit 航空会館・WEB
277. 渡邊美貴、渡邊章、吉田秀児、成田真人、中野洋子、高野正行、伊藤亜希、田中潤一：唇顎口蓋裂における鋤骨の解剖学的評価 骨形態および顔面形態の関係性について、第 47 回日本口蓋裂学会、2022.5.25-26. ハイブリッド開催.

2. 顎骨疾患プロジェクト共催セミナー

1. 第 477 回大学院セミナー (2022 年 4 月 14 日 WEB 開催)
【キャリアアップシリーズ】

演題：研究を楽しむ

講師：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 小守 壽文 先生

2. 第 478 回大学院セミナー（2022 年 5 月 31 日 WEB 開催）

演題：基礎—臨床のトランスレーショナルリサーチ —免疫に魅せられて—

講師：東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科分子免疫学分野 教授
東 みゆき 先生

3. 第 479 回大学院セミナー（2022 年 6 月 14 日 WEB 開催）

演題：超えていくための、プレゼンテーションスキル

講師：WaShPresso COMPANY 代表 小川 修功 先生

4. 第 480 回大学院セミナー（2022 年 7 月 15 日 WEB 開催）

【若手サイエンスアカデミー企画】

演題：RANKL の発見、その研究の現状と未来

講師：オリエンタル酵母工業（株）バイオ事業本部・本部長付 保田 尚孝 先生

5. 第 481 回大学院セミナー（2022 年 7 月 27 日 WEB 開催）

【若手サイエンスアカデミー企画】

演題：頭蓋骨の維持・再生を担う成体幹細胞（Adult Stem Cell）の同定と解析

講師：Forsyth Institute, Assistant member of staff (Tenure Track, PI)
丸山 顕潤 先生

6. 第 482 回大学院セミナー（2022 年 9 月 16 日 WEB 開催）

演題：歯を取り囲む細胞性ネットワークと周囲骨基質から探るメカニカルストレス応答について

講師：岡山大学学術研究院医歯薬学領域歯科矯正学分野 教授 上岡 寛 先生

7. SD（スタッフ・ディベロップメント）セミナー（2022 年 11 月 1 日開催）

演題：「育児の共有」で豊かな社会に ～画期的な我が国の育児休業制度から考える～

講師：伊藤 瑞子 医師

8. 第 484 回大学院セミナー（2023 年 1 月 26 日 WEB 開催）

演題：腸でおこる歯周病の発症と重症化の仕組み

～病原体に应答する免疫細胞が腸内細菌の影響を受けて腸から歯肉へ～

講師：福岡歯科大学口腔歯学部感染生物学分野 教授
田中 芳彦 先生

9. 第 485 回大学院セミナー（2023 年 2 月 27 日 WEB 開催）

演題：長期海外出張報告

講師：東京歯科大学 菅原 圭亮 准教授

10. 第 204 回歯科医学教育セミナー（2023 年 3 月 29 日開催）

演題：「聞かされる」から「聞きたい」へー広告的講義術

講師：WaShPresso COMPANY 代表 小川 修功 先生

3. 若手サイエンスアカデミー参加者リスト

コアメンバー：9名（五十音順）

参加メンバー：40名（五十音順）

石井武展	歯科矯正学講座・准教授	間奈津子	生化学講座・講師	川上真奈	口腔病態外科学講座・診療助教	田代憲太郎	保存修復学講座・大学院生
大野建州	口腔科学センター・講師	明由理亜	口腔腫瘍外科学講座・大学院生	倉島竜哉	生理学講座・大学院生	徳山彰秀	薬理学講座・大学院生
小野寺晶子	生化学講座・講師	五十嵐章智	保存修復学講座・大学院生	北村啓	組織・発生学講座・講師	二宮諒	日本大学歯学部解剖学第1講座・准教授
菊池有一郎	微生物学講座・講師	石川部	法歯学・法人類学講座・准教授	菊池布恵	組織・発生学講座・リサーチレジデント	橋本菜央	口腔病態外科学講座・大学院生
櫻井敦朗	小児歯科学講座・講師	石東聡	薬理学講座・助教	国分米仁	微生物学講座・講師	半場秀典	保存修復学講座・講師
菅原圭亮	口腔病態外科学講座・准教授	伊丹尚子	口腔病態外科学講座・大学院生	小山南	口腔病態外科学講座・助教	松浦信孝	歯科麻酔学講座・大学院生
中村貴	生化学講座・講師	伊藤慎一郎	薬理学講座・助教	佐々木穂高	口腔インプラント学講座・准教授	三友啓介	保存修復学講座・助教
松永智	解剖学講座・准教授	今村健太郎	歯周病学講座・講師	佐藤涼一	衛生学講座・講師	南重莉沙	口腔腫瘍外科学講座・大学院生
満口利英：連絡責任者	口腔科学センター・教授	黄地健仁	生理学講座・助教	重松正樹	口腔インプラント学講座・大学院生	山本将仁	解剖学講座・講師
監事：1名		大和田碧	クラウンブリッジ補綴学講座・大学院生	設楽沙月	歯科矯正学講座・大学院生	山本悠太郎	解剖学講座・大学院生
笠原正真	薬理学講座・教授	岡弘真	口腔インプラント学講座・大学院生	進正史	福岡歯科大学細胞生物学分野・講師	四ツ谷護	クラウンブリッジ補綴学講座・講師
		小川雄大	組織・発生学講座・助教	鈴木穂	歯内療法学講座・助教	渡辺元次	解剖学講座・大学院生
		笠原典夫	組織・発生学講座・講師	千代侑香	歯科麻酔学講座・大学院生		
		笠原正彰	歯科理工学講座・講師	高橋有希	薬理学講座・講師		

*所属・職名は2023年3月31日現在

4. TDC Journal Club（紹介論文リスト）

【目的】様々な研究分野の論文紹介を通して世の中の研究の流れ、手法および論文のまとめ方を学

ぶことを目的とする。専門もしくはそれ以外の研究領域の知識を広げて現状を把握することにより、論文および研究費申請書作成の向上に繋げる。

- 2022 年 4 月 13 日 WEB 開催
論文題名：Damaged brain accelerates bone healing by releasing small extracellular vesicles that target osteoprogenitors
(損傷した脳は、骨芽細胞前駆細胞を標的とした小型細胞外小胞を放出することにより骨折治癒を促進する)
掲載雑誌名：Nat Commun 12(1):6043, 2021
論文紹介者：東京歯科大学 口腔科学研究センター 溝口利英 准教授
- 2022 年 4 月 27 日 (WEB 開催)
論文原題：Fibrin is a critical regulator of neutrophil effector function at the oral mucosal barrier
(フィブリンは口腔粘膜における重要な好中球機能制御因子である)
掲載雑誌名：Science 374(6575):eabl5450, 2021
論文紹介者：東京歯科大学 口腔科学研究センター 大野建州 講師
- 2022 年 5 月 11 日 (WEB 開催)
論文題名：Identification of Dental Stem Cells Similar to Skeletal Stem Cells
(骨格幹細胞に類似した歯科領域における幹細胞の同定)
掲載雑誌名：J Dent Res 2022 DOI: 10.1177/00220345221084199
論文紹介者：東京歯科大学 口腔インプラント学講座 岡弘貢 大学院 4 年生
- 2022 年 5 月 25 日 (WEB 開催)
論文題名：Aged skeletal stem cells generate an inflammatory degenerative niche
(老化した骨格幹細胞は炎症性変性ニッチを形成する)
掲載雑誌名：Nature 597(7875):256-262, 2021
論文紹介者：東京歯科大学 薬理学講座 伊藤慎一郎 助教
- 2022 年 6 月 8 日 (WEB 開催)
論文題名：Circular RNA circStag1 promotes bone regeneration by interacting with HuR
(環状 RNA の circStag1 は、HuR と相互作用することにより骨の再生を促進する) 掲載雑誌名：Bone Res. 31;10(1):32, 2022
論文紹介者：東京歯科大学 薬理学講座 高橋有希 講師
- 2022 年 6 月 22 日 (WEB 開催)
論文題名：Impact of antibiotics on off-target infant gut microbiota and resistance genes in cohort studies
(乳児期の抗菌薬投与が腸内細菌叢や抗菌薬耐性遺伝子にもたらす影響)
掲載雑誌名：Pediatr Res, 2022. doi: 10.1038/s41390-022-02104-w.
論文紹介者：東京歯科大学 小児歯科学講座 櫻井敦朗 講師
- 2022 年 7 月 6 日 (WEB 開催)
論文題名：Mechanical feedback defines organizing centers to drive digit emergence
(メカニカルフィードバックが指発生の形成中心を規定する)
掲載雑誌名：Dev Cell. 11;57(7):854-866, 2022
論文紹介者：福岡歯科大学 細胞生理学分野 進正史 講師
- 2022 年 7 月 20 日 (WEB 開催)
論文題名：Engineering immunomodulatory and osteoinductive implant surfaces via mussel adhesion-mediated ion coordination and molecular clicking
イガイ接着タンパク質を介したイオン配位と生体直行型反応による免疫・骨伝導性インプラント表面の創成
掲載雑誌名：Nat Commun 13(1):160, 2022
論文紹介者：東京歯科大学 口腔インプラント学講座 重松正樹 大学院 4 年生
- 2022 年 8 月 3 日 (WEB 開催)
論文題名：Primary cilia as the nexus of biophysical and hedgehog signaling at the tendon enthesis
(エンテシスの Primary cilia が起点となる機械的負荷とヘッジホッグシグナルのつながり)
掲載雑誌名：Sci. Adv 6(44):eabc1799, 2020
論文紹介者：東京歯科大学 解剖学講座 山本将仁 講師
- 2022 年 8 月 24 日 (WEB 開催)

- 論文題名 : The collagen-binding protein of *Streptococcus mutans* is involved in haemorrhagic stroke
(*Streptococcus mutans* のコラーゲン結合タンパク質は出血性脳卒中に關与する)
掲載雑誌名 : Nat Commun 27(2):485, 2011
論文紹介者 : 東京歯科大学 組織・発生学講座 小川雄大 助教
- 2022 年 9 月 7 日 (WEB 開催)
論文題名 : Arid1a-Plagl1-Hh signaling is indispensable for differentiation-associated cell cycle arrest of tooth root progenitors
(細胞周期停止により誘発される歯根形成前駆細胞の分化には、Arid1a-Plagl1-Hh シグナルの活性化が必要である)
掲載雑誌名 : Cell Rep. 6;35(1): 2021
論文紹介者 : 東京歯科大学 薬理学講座 徳山彰秀 大学院 3 年生
 - 2022 年 9 月 21 日 (WEB 開催)
論文題名 : Bone marrow imaging reveals the migration dynamics of neonatal hematopoietic stem cells
(生体内イメージングによる新生児造血幹細胞が AGM 領域→骨髓内に移動する仕組み解明)
掲載雑誌名 : Commun Biol 5(1):776, 2022
論文紹介者 : 東京歯科大学 解剖学講座 松永智 准教授
 - 2022 年 10 月 5 日 (WEB 開催)
論文題名 : Mesoderm-derived PDGFRA+ cells regulate the emergence of hematopoietic stem cells in the dorsal aorta
(中胚葉由来の PDGFRA +細胞は背側大動脈で造血幹細胞の発生を調節する)
掲載雑誌名 : Nat Cell Biol 4(8):1211-1225, 2022
論文紹介者 : 東京歯科大学 生理学講座 黄地健仁 助教
 - 2022 年 10 月 19 日 (WEB 開催)
論文題名 : Modulation of fracture healing by the transient accumulation of senescent cells
老化細胞の蓄積による骨折治癒への影響
掲載雑誌名 : eLife 10:e69958, 2021
論文紹介者 : 東京歯科大学 薬理学講座 伊藤慎一郎 助教
 - 2022 年 11 月 2 日 (WEB 開催)
論文題名 : Single-cell analysis identifies a key role for Hhip in murine coronal suture development
シングルセル解析により、マウス冠状縫合の形成に Hhip が重要な役割を果たすことが明らかになった
掲載雑誌名 : Nat Commun 8;12(1):7132, 2021
論文紹介者 : 東京歯科大学 歯科矯正学講座 石井武展 准教授
 - 2022 年 11 月 16 日 (WEB 開催)
論文題名 : Bone marrow and periosteal skeletal stem/progenitor cells make distinct contributions to bone maintenance and repair
(骨髓および骨膜に存在する骨格幹/前駆細胞は、骨の維持と修復にそれぞれ異なる経路で貢献する)
掲載雑誌名 : Cell Stem Cell 29(11):1547, 2022
論文紹介者 : 東京歯科大学 口腔科学研究センター 溝口利英 教授
 - 2022 年 11 月 30 日 (WEB 開催)
論文題名 : Macrophages in epididymal adipose tissue secrete osteopontin to regulate bone homeostasis
(精巣上体脂肪組織のマクロファージはオステオポンチンを分泌して骨の恒常性を調節する)
掲載雑誌名 : Nat Commun 13(1):427, 2022
論文紹介者 : 東京歯科大学 歯科麻酔学講座 松浦信孝 大学院 3 年生
 - 2022 年 12 月 14 日 (WEB 開催)
論文題名 : Commensal oral microbiota induces osteoimmunomodulatory effects separate from systemic microbiome in mice
(口腔内常在細菌叢は骨免疫応答を増強する)
掲載雑誌名 : JCI Insight 7(4):e140738, 2022
論文紹介者 : 東京歯科大学 口腔科学研究センター 大野建州 講師
 - 2023 年 1 月 11 日 (WEB 開催)
論文題名 : Estrogen enforces the integrity of blood vessels in the bone during pregnancy and menopause

- 妊娠および閉経期におけるエストロゲンが骨の血管恒常性を制御する
 掲載雑誌名：Nat Cardiovasc Res 918, 2022
 論文紹介者：東京歯科大学 保存修復学講座 五十嵐章智 大学院 2 年生
- 2023 年 1 月 25 日 (WEB 開催)
 論文題名：Improved Enamel Acid Resistance Using Biocompatible Nano-Hydroxyapatite Coating Method
 (卵殻由来バイオアパタイトと高濃度フッ化物歯面塗布の併用はエナメル質の耐酸性を高める)
 掲載雑誌名：Materials 15(20), 7171, 2022
 論文紹介者：東京歯科大学 衛生学講座 佐藤涼一 講師
 - 2023 年 2 月 8 日 (WEB 開催)
 論文題名：Suppression of heterotopic ossification in fibrodysplasia ossificans progressiva using AAV gene delivery
 (アデノ随伴ウイルス (AAV) 遺伝子導入を用いた進行性骨化性線維異形成症の異所性骨化抑制)
 掲載雑誌名：Nat Commun. 13(1):6175, 2022
 論文紹介者：東京歯科大学 薬理学講座 高橋有希 講師
 - 2023 年 2 月 22 日 (WEB 開催)
 論文題名：Defining the spatial-molecular map of fibrotic tendon healing and the drivers of Scleraxis-lineage cell fate and function
 (腱再生における空間的な分子マップと Scleraxis 系統細胞の運命と機能)
 掲載雑誌名：Cell Rep, 41(8):111706, 2022
 論文紹介者：東京歯科大学 解剖学講座 山本将仁 講師
 - 2023 年 3 月 8 日 (WEB 開催)
 論文題名：Cellular shape reinforces niche to stem cell signaling in the small intestine
 小腸において細胞形態が幹細胞ニッチに重要である
 掲載雑誌名：Sci Adv 14;8(41):eabm1847, 2022
 論文紹介者：福岡歯科大学 細胞生理学分野 進正史 講師
 - 2023 年 3 月 22 日 (WEB 開催)
 論文題名：Expansion of the osteocytic lacunar-canalicular system involved in pharmacological action of PTH revealed by AI-driven fluorescence morphometry in female rabbits
 (AI を駆使した蛍光骨形態計測による骨小腔－骨細管拡大の新しい定量評価法の確立 ～メスウサギに PTH を間欠投与した際に骨細胞性骨融解が起きている可能性について～)
 掲載雑誌名：Sci Rep, 12:16799, 2022
 論文紹介者：東京歯科大学 解剖学講座 松永智 准教授